

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

資料1

(第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画)

進捗管理表(令和5年度～令和7年度)

目次

進捗管理表の見方

評価基準一覧

評価結果一覧

第3次茅ヶ崎市食育推進計画(施策1、施策2、施策3)

	通し番号
施策1 ■ 食の生産、流通、安全への理解	… 1～14
施策2 ■ 食文化の体験と継承、共食の推進	… 15～追加3
施策3 ■ 生きる力としての食生活の基礎づくり	… 34～追加1

第2次茅ヶ崎市健康増進計画(施策1、施策2)

	通し番号
施策1 ■ 【一次予防】生活習慣の改善、心身機の維持・向上	… 1～追加7
施策2 ■ 【二次予防】生活習慣病の早期発見・早期治療と重症化予防の推進	… 60～追加3

第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画(施策1、施策2)

	通し番号
施策1 ■ 【一次予防】生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進	… 1～追加3
施策2 ■ 【二次予防】歯科口腔保健対策の推進	… 14～21

【施策1】食の生産、流通、安全への理解

【行政の主な取組】

- ・食の生産、流通、安全への理解に関するイベントや教室、体験を通した普及啓発
- ・学校・保育所での食の生産、流通、安全への理解に関する取組

各計画の施策ごとに
同じ表を作成します。

進捗管理表の見方

事業を計画していたが天候やその他の事態により中止した場合の理由、実施内容に記載しきれないデータ参照元等は、「備考」欄に記載いただきます。今後の対応・対策等があれば「課題及び翌年度へ向けた改善点」欄に記載いただきます。

指標の達成状況に対する評価

取組内容に対する評価

取組評価点

通し
番号

取組
※リストから選択
(該当しない場合は
その他)

取組の分類
※リストから選択
(該当しない場合は
その他)

担当課

事業名と内容

年度

指標の達成状況に対する評価

指標

目標値

実績値

指標の
達成状況
(%)

評価点
①

参加者意見の有
無
※「有」の場合は意見
を踏まえて評価
を記入
※「無」の場合は実
施者の評価を記入

各計画の施策を進める取組として成果が
あったかを評価

事業の実施過程や実施結果の評価
(工夫・改善した点等を記入)

評価点
②

取組
評価点
①+②

課題及び翌年度へ向けた
改善点

実施場所

備考

1

食品ロス

普及啓発

健康増進課

事業名:食品ロス削減の啓
発
内容:広報紙やサイネージ、
Twitterなどを活用し、普及啓
発を実施する。

R5

実施回数

1

1

100

4

無

実施内容:広報紙とサイネージ(ロビー、エレベータ)を活用し、普及啓発を実施した。
評価:食品ロス削減のために家庭でできることについて、周知することができ、啓発につながった。

4

8

普及啓発の手段について検討が必要である。若い世代にも関心を持ってもらえるよう、SNSを活用した普及啓発に力を入れていく。

目標値に対する「実績値」を記載します。

評価点①は、指標の達成状況(%)を評価基準一覧により出した点数です。実績値を入力すると、指標の達成状況(%)と評価点①(1～4)が自動で入力されます。

※事業内容等を実施前に変更した場合は、実施予定だった事業の評価は全て「－」表記とします。変更後の事業について評価点を入力してください。
※目標値設定後に事業を中止した場合は、評価点を入力してください。

目標値に対する実績を記載しています。

評価点①は、指標の達成状況(%)を評価基準一覧により出した点数です。実績値を入力すると、指標の達成状況(%)と評価点①(1～4)が自動で入力されます。

※事業内容等を実施前に変更した場合は、実施予定だった事業の評価は全て「－」表記とします。変更後の事業について評価点を入力してください。
※目標値設定後に事業を中止した場合は、評価点を入力してください。

参加者意見は、アンケート結果や参加者の声を指します。

評価点②は、令和5年度の取り組み内容について、参加者の意見や実施者の評価を踏まえ、各計画の施策を進める取組として成果があったか評価基準一覧の1～4の点数をプルダウンから選択します。

※事業内容等を実施前に変更した場合は、実施予定だった事業の評価は全て「－」表記とします。変更後の事業について評価点を入力してください。
※目標値設定後に事業を中止した場合は、評価点を入力してください。

令和5年度の指標の達成状況に対する評価点①(実績に対する評価)と、取組内容に対する評価点②(内容・成果に対する評価)の合計が自動で計算されます。

※事業内容等を実施前に変更した場合は、実施予定だった事業の評価は全て「－」表記とします。変更後の事業について評価点を入力してください。
※目標値設定後に事業を中止した場合は、評価点を入力してください。

指標の達成状況に対する評価

取組内容に対する評価

取組評価点

通し
番号

取組
※リストから選択
(該当しない場合は
その他)

取組の分類
※リストから選択
(該当しない場合は
その他)

担当課

事業名と内容

年度

指標の達成状況に対する評価

指標

目標値

実績値

指標の
達成状況
(%)

評価点
①

参加者意見の有
無
※「有」の場合は意見
を踏まえて評価
を記入
※「無」の場合は実
施者の評価を記入

各計画の施策を進める取組として成果が
あったかを評価

事業の実施過程や実施結果の評価
(工夫・改善した点等を記入)

評価点
②

取組
評価点
①+②

課題及び翌年度へ向けた
改善点

実施場所

備考

1

食品ロス

普及啓発

健康増進課

事業名:食品ロス削減の啓
発
内容:広報紙やサイネージ、
Twitterなどを活用し、普及啓
発を実施する。

R5

実施回数

1

1

100

4

無

実施内容:広報紙とサイネージ(ロビー、エレベータ)を活用し、普及啓発を実施した。
評価:食品ロス削減のために家庭でできることについて、周知することができ、啓発につながった。

4

8

普及啓発の手段について検討が必要である。若い世代にも関心を持ってもらえるよう、SNSを活用した普及啓発に力を入れていく。

目標値に対する「実績値」を記載します。

評価点①は、指標の達成状況(%)を評価基準一覧により出した点数です。実績値を入力すると、指標の達成状況(%)と評価点①(1～4)が自動で入力されます。

※事業内容等を実施前に変更した場合は、実施予定だった事業の評価は全て「－」表記とします。変更後の事業について評価点を入力してください。
※目標値設定後に事業を中止した場合は、評価点を入力してください。

目標値に対する実績を記載しています。

評価点①は、指標の達成状況(%)を評価基準一覧により出した点数です。実績値を入力すると、指標の達成状況(%)と評価点①(1～4)が自動で入力されます。

※事業内容等を実施前に変更した場合は、実施予定だった事業の評価は全て「－」表記とします。変更後の事業について評価点を入力してください。
※目標値設定後に事業を中止した場合は、評価点を入力してください。

参加者意見は、アンケート結果や参加者の声を指します。

評価点②は、令和5年度の取り組み内容について、参加者の意見や実施者の評価を踏まえ、各計画の施策を進める取組として成果があったか評価基準一覧の1～4の点数をプルダウンから選択します。

※事業内容等を実施前に変更した場合は、実施予定だった事業の評価は全て「－」表記とします。変更後の事業について評価点を入力してください。
※目標値設定後に事業を中止した場合は、評価点を入力してください。

令和5年度の指標の達成状況に対する評価点①(実績に対する評価)と、取組内容に対する評価点②(内容・成果に対する評価)の合計が自動で計算されます。

※事業内容等を実施前に変更した場合は、実施予定だった事業の評価は全て「－」表記とします。変更後の事業について評価点を入力してください。
※目標値設定後に事業を中止した場合は、評価点を入力してください。

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

(第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画)

進捗管理表の評価基準一覧

指標の達成状況に対する評価

指標の達成状況	評価点
各事業の目標値に対し90%以上の達成	4
各事業の目標値に対し70%以上90%未満の達成	3
各事業の目標値に対し50%以上70%未満の達成	2
各事業の目標値に対し50%未満の達成	1

実施内容に対する評価

達成度	評価点
各計画の施策を進める取組として約90%以上の成果があった	4
各計画の施策を進める取組としておおむね(約70%以上90%未満の)成果があった	3
各計画の施策を進める取組としての成果があがらなかったが、今後調整することで成果が見込める	2
各計画の施策を進める取組としての成果があがらなかったため、今後取組の見直し・大幅改変が必要である	1

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画 (第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、 第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画) 令和6年度事業 評価結果一覧

評価点①は、指標の達成状況に対する評価(施策ごとの評価点総数を事業数で割った平均値)

評価点②は、実施内容に対する評価(施策ごとの評価点総数を事業数で割った平均値)

取組評価点は、施策ごとの取組評価点の総数を事業数で割った平均値

計画名	施策 ()内は、事業の通し番号	評価点① (4点満点)	評価点② (4点満点)	取組評価点 (8点満点)	まとめ	評価 (計画の指標及び目標に対する評価)
第3次茅ヶ崎市食育推進計画	【施策1】 食の生産、流通、安全への理解 事業数:14※ (No. 1～14)	3.6 R5 3.7 評価点計 ／事業数 47／13	3.7 R5 3.7 評価点計 ／事業数 48／13	7.3 R5 7.4 評価点計 ／事業数 95／13	SNSやデジタルサイネージなどを活用した食品ロス削減、茅産茅消、食の安全に関する啓発が効果的に行われ、概ねどの事業も計画的に進められました。 給食での農作物の提供、収穫体験等の事業における天候の影響で計画どおりに実施できない課題に対し、事業者との連携強化や事業内容の変更など工夫を行い対処していく方針です。	栽培・収穫体験や地元産食材を活用した給食提供を通して、市民の食育意識が高まりました。生産・流通・安全に対する理解の深化は、食の循環への関心を高める効果があり、茅産茅消の推進にも寄与しています。 次世代の食育を支える取組として、家庭・地域・教育の連携によって、特に青年期や食への関心が高まる子育て世代に向けた親子イベントの推進が必要と推察されます。
	【施策2】 食文化の体験と継承、共食の推進 事業数:22※ (No. 15～追加3)	3.7 R5 3.9 評価点計 ／事業数 66／18	3.6 R5 3.7 評価点計 ／事業数 65／18	7.3 R5 7.6 評価点計 ／事業数 131／18	食文化や料理体験を通じて新たな学びと楽しさを提供し、コミュニケーションの場を創出することができました。 身近な食材の加工や料理を通じてこどもたちの豊かな心を育むとともに、給食の献立の共有や家庭で実践可能なレシピの紹介等保護者も含め、食に関する知識や楽しさを広げる取組が行われました。 概ね計画どおりに実施され、内容に対する評価も高くなりました。 食文化関連の教室では、適切な対象年齢層の設定や設備・材料の確保、また対象者に合わせた広報手段の工夫と周知を強化してまいります。	公民館での味噌づくりや日本茶教室、学校での米作り体験は、子どもたちが食の大切さや日本の伝統文化を実体験を通じて学ぶ貴重な機会となりました。また、保育所における共食の推進は、家庭と連携した食育の実践であり、保護者の意識啓発にもつながりました。 今後は、食品の安全に関する知識保有率、農業・漁業体験率の向上に向け、継続的な教室開催や地域連携の強化をしてまいります。
	【施策3】 生きる力としての食生活の基礎づくり 事業数:19※ (No. 34～追加1)	3.8 R5 3.9 評価点計 ／事業数 69／18	3.7 R5 3.9 評価点計 ／事業数 66／18	7.5 R5 7.8 評価点計 ／事業数 135／18	相談事業や教室開催など、こどもから高齢者まで対象者に合わせた内容での取組を展開しました。 保育所や小学校では生きる力としての食生活の基礎づくりが重視され、調理員等による食育活動、ポスター等による啓発活動が行われました。 また、中学校では安全な給食提供が整備され、市内6校で給食が開始されました。給食の導入により、食育への関心が下がる中学生に対して継続的な取組が可能となりました。 一部の事業で目標に届かなかった結果もありましたが、総合的には計画どおりに実施することができました。 食に関する知識を市民が継続して得ることができるよう、開催回数やキャンセル対策、講座内容を見直し、より多くの方が利用できるように努めます。	様々な媒体を活用した普及啓発や相談事業、学校・保育所での食育活動、選択制給食の導入など多面的なアプローチができました。給食の献立や食材等を題材とした授業や給食指導を通じて、幅広く食に関する指導を実施しました。 全ての世代において、適正体重の維持や減塩など、生活習慣病の予防につながる食生活の実践が可能となるよう、情報及び機会の提供に取組めます。

計画名	施策 ()内は、事業の通し番号	評価点① (4点満点)	評価点② (4点満点)	取組評価点 (8点満点)	まとめ	評価 (計画の指標及び目標に対する評価)
第2次茅ヶ崎市健康増進計画	【施策1】 【一次予防】生活習慣の改善、心身機能の維持向上 事業数:66 ※ (No. 1～追加7)	3.6 R5 3.7 評価点計 ／事業数 192／53	3.7 R5 3.7 評価点計 ／事業数 195／53	7.3 R5 7.3 評価点計 ／事業数 387／53	健康に関する様々なイベントや教室、ホームページ等を通じて、ライフステージに合わせた健康づくりを推進しました。 こどもから高齢者までの幅広い健康相談体制を整備し、生活習慣病、こころの健康、悩みごと等に対して適切な支援に繋げ、不安や課題の軽減ができました。 概ねどの事業も評価が高く、計画どおりに事業を実施することができました。 引き続き健康づくりに関する事業を継続し、市民のニーズに合った取組を展開していきます。 参加者の固定化や新規参加者の不足等の課題に対して、講座内容及び募集方法の見直しや改善、周知活動の強化により、事業の効果をさらに高めてまいります。	令和6年度においては、妊娠期や乳幼児の教室を充実させ、子育ての知識の普及と悩みごとの解決に導くことが出来ました。 成人・働き世代向けには11件、高齢者向けに14件のイベントや教室を展開しました。各事業の評価は高いですが、成人・働き世代向けのイベントでは、対象となる層の参加者が少ない傾向が見られます。若い世代からの生活習慣の改善や心身機能の維持・向上を目的とした事業の充実を図るとともに、参加しやすい開催方法の工夫や見直しが課題と考えています。
	【施策2】 【二次予防】生活習慣病の早期発見・早期治療と重症化予防対策の推進 事業数:12 (No. 60～追加3)	3.5 R5 3.6 評価点計 ／事業数 42／12	3.7 R5 3.8 評価点計 ／事業数 44／12	7.2 R5 7.4 評価点計 ／事業数 86／12	病気の早期発見・治療、重症化予防のために受診勧奨や検診を実施し、かかりつけ医の普及を図りました。 SNSやパネル展示、案内チラシの発送等、さまざまな媒体を活用し普及啓発を行いました。 検診事業等、一部の事業が目標を下回りましたが、その他の事業は概ね評価が高く、計画どおりに実施することができました。 対象者に合わせた普及啓発方法を検討し、さらなる受診率向上やかかりつけ医の推進を目指します。	成果目標である健診受診率はそれぞれ1歳6か月児健康診査:96.8%(目標96%以上)、3歳6か月児健康診査:91.2%(目標96%以上)、特定健康診査:33.5%(目標41%)、健康診査:40.0%(目標49%)、胃がん:5.0%(目標10%)、肺がん:17.4%(目標24%)、大腸がん:15.1(目標22%)、子宮がん:8.7(目標14%)、乳がん:9.6%(目標14%)、目標達成出来ているのは1歳6か月健康診査のみであり、いずれも受診率向上に向けた取組が必要な状況です。

計画名	施策 ()内は、事業の通し番号	評価点① (4点満点)	評価点② (4点満点)	取組評価点 (8点満点)	まとめ	評価 (計画の指標及び目標に対する評価)
第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画	【施策1】 【一次予防】生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進 事業数:16※ (No. 1～追加3)	3.6 R5 3.9 評価点計 ／事業数 40／11	3.7 R5 3.7 評価点計 ／事業数 41／11	7.4 R5 7.6 評価点計 ／事業数 81／11	歯周病や生活習慣病の関連性、飲み込む力・噛む力の大切さ等を啓発する取組を実施しました。さらに、転倒予防教室や心と歯の健康関連の講演会、歯っぴいデー等様々なイベントで歯と口の健康の普及啓発を行いました。また、保育園等において歯磨き習慣を身につける等、幅広い年代に歯と口の健康づくりを推進しました。広報紙や展示、ラジオ放送でも歯間部清掃用具などに関する普及啓発を行いました。 概ねどの事業も目標値を達成することができ、実施内容に対する評価も高くなっています。 市民の関心・課題に応じて、普及啓発する内容を検討し取組を進めます。 開催頻度や定員、時間帯等を調整するとともに、参加者にとって魅力的な要素を強化し効果的な事業の開催を目指します。	高齢者への歯と口の健康づくり、オーラルフレイルについての普及啓発は様々な事業を通じて実施できています。 全ての世代が歯と口の健康に関心を持ち、口腔機能を保つ取組を広げていくため、特に平日のイベントや教室に参加しにくい働き世代に対しては、時間や場所に制約されないよう、多様な媒体(例:SNS、動画、Webサイト、職場での啓発資料など)を活用した普及啓発の充実が必要です。
	【施策2】 【二次予防】歯科口腔保健対策の推進 事業数:8 (No. 14～21)	3.8 R5 3.5 評価点計 ／事業数 30／8	3.9 R5 3.8 評価点計 ／事業数 31／8	7.6 R5 7.3 評価点計 ／事業数 61／8	幼児から成人まで幅広い層を対象に歯科検診を展開しました。 また、市町の歯科保健担当部署との連携を強化し、情報共有や意見交換を通じて地域全体での歯科保健の向上に努めました。 概ねどの事業も目標値を達成することができ、実施内容に対する評価も高くなっています。 受診率向上や適切な治療への結びつきを強化するため、対象者の年齢に応じた周知方法を用いて、総合的な歯科保健を推進してまいります。	各種健診は昨年度と同様に安定して実施できています。中でも乳幼児歯科健康診査の受診率は94%と高く、むし歯の早期発見や予防に効果を上げている状況です。 教室やイベントに加えて、広報紙・SNS・地域メディアなど多様な媒体を活用し、健診や定期的な歯科医院受診の必要性を市民に広く伝えていく取組が必要です。

【※】

<評価点①><評価点②>及び<取組評価>

- ・食育推進計画(施策1):No.1の事業は令和6年度に関しては実施予定がなく指標設定がないため、評価点の平均値を算出する際には含みません。
- ・食育推進計画(施策2):No.15.24.27.28の事業は令和6年度に関しては実施予定がなく指標設定がないため、評価点の平均値を算出する際には含みません。
- ・食育推進計画(施策3):No.追加1の事業は令和7年度新規事業のため、評価点の平均値を算出する際には含みません。
- ・健康増進計画(施策1):No.10.12.15.20.23.28.29.30.52の事業は令和6年度に関しては実施予定がなく指標設定がないもの、No.47.48の事業は【健増】施策2通し番号追加2.追加3の健康診断等の実施の取組として変更するもの、No.追加6.追加7は令和7年度新規事業のため、評価点の平均値を算出する際には含みません。
- ・歯及び口腔の健康づくり推進計画(施策1):No.4.5.6の事業は令和6年度に関しては実施予定がなく指標設定がないもの、No.追加2.3は令和7年度新規事業のため、評価点の平均値を算出する際には含みません。

【施策1】食の生産、流通、安全への理解

【行政の主な取組】

- ・食の生産、流通、安全への理解に関するイベントや教室、体験を通じた普及啓発
- ・学校・保育所での食の生産、流通、安全への理解に関する取組

指標の達成状況に対する評価						3. 6 / 4					取組内容に対する評価					3. 7 / 4					7. 3 / 8				
通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考								
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②												
1	食の生産	イベント	体験学習センター	事業名: タケノコ掘り体験	R5	実施回数	1	2	100	4	有	実施内容: 親子でふれあいながら、竹林で普段できない体験を通して、五感で野外活動の楽しさを感じ自然の恵みをいただく。 評価: 参加者は夢中に掘っていたが最初はなかなかとることができずとまどっていたが、コツを掴むと親子で4本以上収穫でき、収穫の喜びを感じており成果はあった。	4	8	事業計画をたて募集をして、今回は天候にも恵まれよくできたが、タケノコはほかの野菜などに比べて発育が異常に早く安定して収穫日(事業日)を読むことが難しい。	行谷の竹林	令和6年度は、指定管理者が実施主体となる。								
				実施内容: 雑木林でタケノコ掘り体験を行う。	R6													施設の指定管理制度導入のため実施なし							
				R7																					
2	食の生産	教室	南湖公民館	事業名: 子どもの広場～さつまいもを掘って焼いもを食べよう！～	R5	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容: 自分で掘ったさつまいもを焼き芋にして食べる。 評価: 作物の栽培や収穫する喜びを体験する。	4	8	建物内の床を汚してしまうことが多い。令和6年度は、内容を変更して焼き芋ではない事業で実施予定。	南湖公民館									
				実施内容: 公民館の畑に植えたさつまいもの収穫体験をする。収穫したさつまいもを焼き芋にして食す。	R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 小学生を対象に、自分たちで2月にじゃがいもを南湖公民館の畑に植え付けを行い、6月に育ったじゃがいもを収穫してカレーを調理、実食。 評価: 作物の栽培や収穫を体験する喜びを体験することができた。 食に関する興味を持ち、今後自ら野菜を育てたり料理をしたいという気持ちを育むことができた。	4	8	以前は1班10人×3班＝計30人定員だったものを、1班4人×3班＝定員12人としたことで、調理中の怪我等子どもの様子を見ながら丁寧に実施することができたため、翌年度も同じように実施することが望ましい。	南湖公民館	事業名: 子どもの広場～じゃがいもを育ててカレーを作ろう！～に変更となりました。昨年度の反省を生かし食材と料理が変更となったものの、事業の目的や実施方法等に大きな変更はありません。								
				R7	実施回数	1																			
3	食の生産	その他	農業水産課	事業名: 援農ボランティア制度	R5	活動人数	32	34	100	4	無	実施内容: 高齢化や人手不足を感じている農家のため、農業に興味のあるボランティアに農作業の手伝いをしていただく制度を実施した。 評価: 農家の人手不足の解消、農業に興味を持つ市民の活動の場とすることができた。	3	7	コロナ禍以降、ボランティア希望者に対し、受け入れ希望が少ない状況となっている。登録農家へのヒアリングを行い、需要と供給を考慮しつつ事業を継続する必要がある。	市内全域									
				実施内容: 高齢化や人手不足を感じている農家のため、農業に興味のあるボランティアに農作業の手伝いをして頂くマッチング制度を実施した。 評価: 農家の人手不足の解消、農業に興味を持つ市民の活動の場とすることができた。	R6	活動人数	35	37	100	4	無		4	8	コロナ禍以降、ボランティア希望者に対し、受け入れ希望が少ない状況となっている。登録農家へのヒアリングを行い、需要と供給を考慮しつつ今後の事業の継続について検討する必要がある。	市内全域									
				R7	活動人数	35																			

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
4	食の生産	その他	保育課	事業名:野菜等の栽培 実施内容:園のプランターな どで野菜等を栽培し、収穫ま でを行う。	R5	実施施設数	59	68	100	4	無	実施内容:5歳児が秋にサツマイモを栽培。収穫してス イートポテトにして食べた。 評価:栽培から収穫までの一連の過程を知ることが出 来た。自分たちで調理まで出来行ったことで、食を身近 に感じることができ、通常より良く食べた。	4	8	・限られた敷地の中で、畑やプランター の置き場をどこにするのか。 ・気候の変化等で収穫ができない食材 もあり、栽培する食材選定について工 夫する。	保育所、幼稚園	
					R6	実施施設数	59	64	100	4	無	実施内容:3歳児はナス・ピーマンを栽培しナポリタンづ くりを、4歳児はじゃがいもといんげんを栽培しカレー作 りを、 5歳児もじゃがいもを栽培しポテトグラタンづくりをして食 べた。給食の食材としてだけでなく、家庭にもおすそ分 けした。 評価:栽培から収穫までの一連の過程を知るだけでな く、どんな料理に野菜を使うかのイメージができ、保育 所のみの活動だけでなく家庭への食育に一部つながれ た。	4	8	・年間食育計画どおりに、各クラスわ いをたてて栽培・収穫・調理をできると よいと考える。 ・プランターなどの場所の確保、家庭へ のおすそわけなどさらに拡大できると よいと考える。	保育所、幼稚園	
					R7	実施施設数	65										
5	食の流通	イベント	農業水産課	事業名:地産地消に関するイ ベント(果樹持ち寄り品評会、 農産物直売会、フラワーマル シェ、ちがさきSeaSideマル シェ等) 実施内容:茅産茅消に関す るイベントを開催することで、 茅産茅消の啓蒙を実施す る。	R5	実施回数	36	29	81	3	無	実施内容:メール配信のタイミングを工夫したり、広報 誌などを活用して開催周知を行った。 評価:多くの方に茅ヶ崎産の農水産物に対する関心 を持っていただくことができ、茅産茅消の啓蒙につな がった。	3	6	農業・漁業とも天候の影響を受けやす く、 特に夏場の開催については検討を要 する。	市役所 イオン茅ヶ崎中央店 茅ヶ崎漁港駐車場多 目的広場 藤沢市長久保公園	中止(台風、豪雨、猛 暑、雪で開催が中止に なった回がそれぞれ あった)
					R6	実施回数	32	27	84	3	無	実施内容:ポスター、広報紙、HP、SNS、デジタルサイ ネージ等を活用し、広く開催周知を行った。 評価:多くの方に茅ヶ崎産の農畜水産物の対する関心 を持っていただくことができ、茅産茅消の啓蒙につな がった。	3	6	イベント周知について、開催当日の天 候のみでなく、継続的な気候が作物の 生育に影響するため、イベント開催の 日程や実施の可否が直前にならないと 分らないイベントもある。そういった 場合紙媒体での開催周知は難しいた め、効果的な電子媒体の活用を検討 する。	市役所、茅ヶ崎漁港駐車 場多目的広場、さがみ農 業協同組合茅ヶ崎ビル、 イオン茅ヶ崎中央店、藤 沢市長久保公園、小学校	中止(悪天候、作物の 生育不良で開催が中止 になった回があった)
					R7	実施回数	30										
6	食の流通	教室	青少年会館	事業名:チリメンモンスターを 探せ 実施内容:チリメンジャコに混 じる小さなエビやカニ・稚魚な ど様々なものを選別し、チリ メン図鑑パンフレットを参考 に標本を作る。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:講座で使うチリメンジャコが食べているものと 異なり、小さなエビやカニ・稚魚など様々なものが混じっ ていることを理解し、それらを選別し、チリメン図鑑パン フレットを参考に標本を作った。 評価:チリメンジャコ(しらす干し)を利用して海の生きもの の生態を学び、私たちの暮らしとのつながりを考える ことで、自然環境と食の流通の大切さを伝えられた。	4	8	選別に夢中になりやすい参加者へ、口 にするチリメンジャコの違いや、新鮮 な食べ物流通により手に入りやす くなったことなど食育につながる内容に、 興味を持ってもらえる工夫が必要と考 えている。	青少年会館	
					R6	実施回数	1	16	100	4	有	実施内容:チリメンジャコに混じった小さなエビやカニ、 稚魚などをピンセットで探自分だけの標本づくりを実 施。さらに今回は公益財団法人かながわ海岸美化財団 協力のもと、マイクロプラスチックの展示やパネルを掲 示し、海の自然環境の大切さを学んだ。 評価:チリメンジャコを通して海の生き物の生態を学び、 私たちの暮らしとのつながり考えることで、海の自然 環境と食の流通の大切さを学んだ。	4	8	参加者からのチリメンモンスターの質 問に対して、講師となる会計年度任用 職員の知識習得を向上し、多種多様な 回答ができるようにする。	青少年会館	
					R7	実施回数	1										

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
7	食の安全	教室	健康増進課	事業名:食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション事業 実施内容:神奈川県食の安全・安心協議会と共催で食の安全・安心をテーマとした講座を実施する。 ※要望調査により、実施できない年度が生じることがあるため、その際は展示等で普及啓発を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:8月28日食品表示セミナー「知っておきたい食品表示のルール～健康な食生活のために～」を開催(参加者54名)。その後「食品表示で健康づくり」のリーフレットを作成し、公共施設・公立保育所保護者等に配布した。 評価:セミナー参加者のアンケートから、各表示事項の基準や目的等を学べたことにより、満足度が高かったことが伺えた。	4	8	食に関する安全・安心について継続的に取り上げ、市民に周知していく。	保健所及びオンライン(併用)	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:1月28日食の安全・安心基礎講座「正しく知ろう!食品添加物～その役割と安全性～」を開催(参加者45名)。講師:(一社)日本食品添加物協会。 評価:講座参加者のアンケートからは、講座前と比べて、食品添加物の理解度がとても深まった及びある程度深まった人が合わせて9割。無意味に食品添加物を不安視するのではなく、基本を学び現状を知ること、安全性を自分なりに判断することが大切と思われた参加者が多かった。	4	8	食に関する安全・安心について継続的に取り上げ、市民に周知していく。	保健所及びオンライン(併用)	
					R7	実施回数	1										
8	食の安全	普及啓発	市民相談課	事業名:食の安全・安心講座 実施内容:食材の活用方法等、食の安全・安心について、市民へ周知する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:適正な食品の選択をするための大切な情報源である食品表示の基本と併せて、遺伝子組換え食品や機能性表示食品、添加物の表示などについて学び、食の安全・安心への理解を深める。 評価:食品表示を理解し、商品を選択する際に表示内容を活用出来るよう、情報提供が出来た。	3	7	引き続き、関係団体等との連携を図り、食の安全に関する普及啓発を実施していく。	保健所 オンライン	
					R6	実施回数・ 啓発回数	1	1	100	4	無	実施内容:適正な食品の選択をするための大切な情報源である食品表示の基本と併せて、遺伝子組換え食品や機能性表示食品、添加物の表示などについて学び、食の安全・安心への理解を深める。 評価:食品表示を理解し、商品を選択する際に表示内容を活用出来るよう、チラシ配架等による情報提供が出来た。	3	7	実施方法をチラシ配架等の方法へ変更し、食材の活用方法等、食の安全・安心について市民に周知していく。	市役所	
					R7	実施回数・ 啓発回数	1										
9	食の安全	普及啓発	衛生課	事業名:食品衛生知識の普及啓発 実施内容:食中毒の注意喚起や予防等の食品衛生の知識の普及啓発を実施する。	R5	実施回数	3	3	100	4	無	実施内容:民間団体等に対する食品衛生知識の普及啓発 評価:市民のニーズに応じた資料を作成する等、工夫して実施した。	4	8	特になし	保健所	
					R6	実施回数	3	2	67	2	無	実施内容:民間団体等に対する食品衛生知識の普及啓発 評価:市民のニーズに応じた資料を作成する等、工夫して実施した。	3	5	管内住民及び関係団体への周知方法を見直した。	保健所	
					R7	実施回数	2										

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
10	食の安全	その他	地域保健課	事業名:栄養表示等普及啓 発及び活用推進事業 実施内容:栄養成分表示に 係る相談及び指導、誇大表 示等の禁止に係る表示等適 正化指導を実施する。	R5	実施件数	9	9	100	4	無	実施内容:栄養成分表示に係る相談及び指導、誇大表 示等の禁止に係る表示等適正化指導を実施した。 評価:食品表示法、健康増進法に基づき食品製造・販 売業者に対して適正な栄養成分表示を行うよう指導し、 食の安全につなげることができた。令和5年度について は、誇大表示等に係る相談はなかった。	4	8	引き続き衛生課との情報共有や随時 消費者庁への確認を行い、栄養成分 表示に係る相談及び指導、誇大表 示等の禁止に係る表示等適正化指導を 実施する。	保健所	
					R6	実施件数	10	5	50	2	無	実施内容:栄養成分表示に係る相談及び指導、誇大表 示等の禁止に係る表示等適正化指導を実施した。 評価:食品表示法、健康増進法に基づき食品製造・販 売業者に対して適正な栄養成分表示を行うよう指導し、 食の安全につなげることができた。令和6年度について は、誇大表示等に係る相談が1件、不適正表示に係る 指導が1件あった。	4	6	引き続き衛生課との情報共有や随時 消費者庁への確認を行い、栄養成分 表示に係る相談及び指導、誇大表 示等の禁止に係る表示等適正化指導を 実施する。	保健所	
					R7	実施件数	10										
11	学校・保育 所での食の 生産	その他	学務課	事業名:学校給食における地 場産物の使用促進 実施内容:地産地消の推進 と、児童が地元の農産物に ついて学ぶきっかけとするた め、学校給食の食材に地場 産物を積極的に活用する。	R5	地元農作物 を使用した 給食提供回 数	57	76	100	4	無	実施内容:市内農家の協力のもと、地元農作物(4種 類)を市立小学校19校にて提供することができた。 評価:当初目標としていた回数以上の地元農作物を提 供することが出来、児童たちにも地産地消の取組につ いて周知することができた。	4	8	異常気象が続くと、農作物の収穫量へ 直結するため、学校給食へ提供でき るよう引き続き市内農家と連携を進め たい。	市立小学校19校	
					R6	地元農作物 を使用した 給食提供回 数	57	95	100	4	無	実施内容:市内農家の協力のもと、地元農作物(5種 類)を市立小学校19校にて提供することができた。 評価:当初目標としていた回数以上の地元農作物を提 供することが出来、児童たちにも地産地消の取組につ いて周知することができた。	4	8	異常気象が続くと、農作物の収穫量へ 直結するため、学校給食へ提供でき るよう引き続き市内農家と連携を進め たい。	市立小学校19校	
					R7	地元農作物 を使用した 給食提供回 数	57										
12	学校・保育 所での食の 流通	その他	保育課	事業名:地産地消の推進 実施内容:給食提供する食 材について、地場産野菜を積 極的に活用する。	R5	実施施設数	40	52	100	4	無	実施内容:生産者から野菜を直接仕入れている園や、 地産地消の食育活動として、JAや農家さんから仕入 れるなどして、茅ヶ崎市産の野菜を積極的に給食で提 供した。こうした場所とつながりが無い保育園(新しい保 育園や給食を委託している園)は実施できない園があ った。 評価:地元野菜を使うことで子どもたちも野菜により親 しみを持つことが出来た。	3	7	保育園の地域とのかかわりや、給食を 委託化している保育園は細かな地域 まで把握できていない園も見られた。 まずは、地域の把握を徹底する必要がある。	保育所、幼稚園	
					R6	実施施設数	40	48	100	4	無	実施内容:生産者から野菜を直接仕入れている園や、 地産地消の食育活動として、JAや農家さんから仕入 れるなどして、茅ヶ崎市産・神奈川県産の 野菜を積極的に給食で提供した。給食を委託してい る園や物価高騰で例年より地場産物を発注できなかった 園、また近くの八百屋さんが閉店し 気軽に頼めなくなった等実施できない園があった。 評価:地元野菜を使うことで子どもたちも野菜により親 しみをもつことができた。また農家さんとのつながりや新 しいメニュー開発にもなった。	3	7	地域把握を徹底する必要がある。また 物価高騰が続く、なかなか地場産物が 購入できていないことがわかった。より 地元農家やJAとの関わりを持つ必要 があると考ええる。	保育所、幼稚園	
					R7	実施施設数	50										

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
13	食品ロス	普及啓発	資源循環課	事業名：食品ロス削減の啓 発 実施内容：様々な機会や媒 体を活用し、普及啓発を実施 する。	R5	啓発回数	2	2	100	4	有	実施内容：①環境フェアでの周知啓発、②駅前での周 知啓発 ・ホームページ公表〔③〕 ・庁舎内チラシ掲示〔③〕 ・SNS(Line、Twitter(X)、Facebook)〔③〕 ・広報掲示板〔③〕 ・食品ロス削減月間にあわせた周知活動(駅前でのの ぼり旗の掲出、啓発用ポケットティッシュの配布)〔②〕 評価：食品ロス削減のために家庭や企業でできることに ついて、周知することができ、啓発に繋がった。	4	8	ごみの減量に寄与することとなるため 啓発対象者の拡大を検討する。 (具体的には、子ども向けの食品ロス 対策における啓発・教育や食べ残しな ど食品ロス削減に取り組む飲食店の 登録制度の立ち上げなどを検討す る。)	市役所、オンライン	
					R6	実施回数	2	4	100	4	有	実施内容：市及び民間事業者が主催する各種イベント への参加、食品関連イベントでのフードドライブ実施支 援 ①歯っぴいデーでの啓発 ②イオン茅ヶ崎中央店の食品ロス削減イベントでの啓 発 ③環境フェアでの啓発 ④みんなの消費生活展での啓発 ⑤K1グランプリでのフードドライブ実施支援 評価：食品ロス削減について、様々な機会を活用し周 知啓発することができた。	4	8	今年度策定の「食品ロス削減推進計 画」に基づき、飲食店組合を通じ、 「3010運動」や「ドギーバック」の普及啓 発に取り組んでいく。	市役所、企業、オンライン	
					R7	実施回数	2										
14	食品ロス	普及啓発	健康増進課	事業名：食品ロス削減の啓 発 実施内容：展示やサインエー ジ等を活用し、食品ロス削減に 関する普及啓発を実施する。	R5	実施回数	1	3	100	4	無	実施内容：10月の食品ロス削減月間に合わせ、ロビー やエレベーターサインエーを活用し、周知を実施した。 また、環境政策課の事業(ちがき環境フェアなど)にて ポスターを展示(2回)した。 評価：家庭でできる食品ロスを削減するポイントについ て周知できた。ポスターの展示に合わせ、こどもが家庭 で取り組めるワークシートを配架することができた。	4	8	食育推進の観点から、家庭でできる削 減ポイントを明確に周知することが課 題である。 引き続き、ポイントをおさえた周知を実施 していく。	市役所、図書館	
					R6	実施回数	1	3	100	4	無	実施内容：10月の食品ロス削減月間に合わせ、ロビー やエレベーターサインエーを活用し、周知を実施した。 また、環境政策課の事業(ちがき環境フェアなど)にて ポスターを展示(2回)した。 評価：家庭でできる食品ロスを削減するポイントについ て周知できた。食品ロス量を毎日おにぎり1個分と記載 し、市民が分かりやすい媒体作成を心がけた。ポスター の展示に合わせ、こどもが家庭で取り組むことができる ワークシートを作成し、配架できた。	4	8	食品ロスの問題を身近に捉えてもら う必要がある。引き続き、市民が分 かりやすい媒体を作成し、周知を実施 していく。	市役所、図書館	
					R7	実施回数	3										

【施策2】食文化の体験と継承、共食の推進

【行政の主な取組】

- ・食文化の体験と継承※、共食の推進に関するイベントや教室、体験を通した普及啓発
- ・学校・保育所での食文化の体験と継承、共食の推進に関する取組

※食文化の体験と継承は、食事のマナーを含む。

指標の達成状況に対する評価	3. 7 /4	取組内容に対する評価	3. 6 /4	7. 3 /8
---------------	---------	------------	---------	---------

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当しない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当しない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果 があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②	取組 評価点 ①+②		
15	食文化の体験と継承	教室	小和田公民館	事業名：あづきがゆづくり 実施内容：茅ヶ崎に伝わる民話「一つ目小僧」にちなんだ風習を再現してあづきがゆを作る。	R5	参加者数	8	0	0	1	無	実施内容： 評価：	1	2	5年度の実施無し テーマと講師の選定を再調整する予定	中止(栽培していた小豆が収穫できなかったこと、また講師を予定していた博物館職員の調整がつかなかったため)
					R6	実施予定なし						実施内容： 評価：				削除(他事業実施のため)
					R7	他事業実施のため実施なし	0					実施内容： 評価：				
16	食文化の体験と継承	教室	鶴嶺公民館	事業名：子どもの広場 実施内容：子どもの広場(年5回)の事業の中で、行事食等を作る。	R5	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容：小学生を対象に、9月に「月見だんごを作ろう」、2月に「おやつ作り教室」を行い、一緒に食事を楽しみながら参加者同士の交流を図る事業を実施した。 評価：「家で家族に作ってみたい」という意見をいただいたり、初めて食べた子と話したという参加者もいたり、行事食等の料理体験を通じて、他者とのコミュニケーションの場を作ることができた。	4	8	今後も、行事食の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：小学生を対象に、9月に「月見だんごを作ろう」を行い、一緒に食事を楽しみながら参加者同士の交流を図る事業を実施した。 評価：「ほかにもお団子を家で作ってみたい」という意見をいただいたり、初めて食べた子と話したという参加者もいたり、行事食等の料理体験を通じて、他者とのコミュニケーションの場を作ることができた。	4	8	子どもの広場は、子ども同士の交流を目的とした事業のため、目的に即した内容を、協力団体と検討している。検討のなかで、行事食に関するコンテンツは次年度実施しないこととした。	鶴嶺公民館
					R7	協力団体と相談し実施なし	0					実施内容： 評価：				

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果 があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
17	食文化の体験と継承	教室	鶴嶺公民館	事業名:子育て応援講座 実施内容:子育て世代を対象に、旬の食材を使った料理や伝統的な食文化を体験できる機会を提供する。	R5	実施回数	1	0	0	1	無	実施内容:「子育て応援講座 美味しいだしで汁三菜」を企画したが、参加申込者が少なく、材料費の採算が合わず、最少催行人数に達しなかったため、中止とした。 評価:子育て支援センター等にチラシを配架したが申し込みがなかった。広報の仕方改善を必要とする。	1	2	子育て世代への広報活動として、SNSの活用を力を入れていく。	鶴嶺公民館	中止(最小催行人数に達しなかったため)
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:子育て世代を対象に、子育て応援プログラム「世界のお菓子で旅気分！」を実施した。市内在住のリトアニア出身の方を講師に招き、リトアニアの食文化を学んだ。 評価:「リトアニアの食文化に触れることができてとても楽しかったです。」というリトアニアの食文化を知り、日本の食文化との比較をすることができた。また、これまで公民館を利用したことのない方も参加されており、参加者層の拡大を図ることができた。	4	8	今後も、食文化の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					
18	食文化の体験と継承	教室	鶴嶺公民館	事業名:つるみね健康レストラン 実施内容:管理栄養士による食事と健康に関する講義を受け、伝統食を作る。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:「つるみね健康レストラン 伝えたい!定番おせち料理」と題し、健康増進課の管理栄養士による食事と健康に関する講義の後に、茅ヶ崎市食生活改善推進団体からの指導のもと、おせち料理3品(伊達巻、田作り、ごぼう入りのしし鶏)を作る講座を実施した。 評価:「想像よりも手軽で、すごくおいしいおせち料理が私に作れるなんて感動です。」などの意見をいただき、食文化に関心を持っていた機会を作ることができた。	4	8	今後も、行事食の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:「つるみね健康レストラン 伝えたいおせち 伝統とアレンジ」と題し、健康増進課の管理栄養士による食事と健康に関する講義の後に、茅ヶ崎市食生活改善推進団体からの指導のもと、おせち料理3品(伊達巻、田作り、和風ミートローフ)を作る講座を実施した。 評価:「普段ハードルが高く作らないものをみんなで楽しくできたこと。思ってたより手軽にできて家でも作りたいです。」などの意見をいただき、食文化に関心を持っていた機会を作ることができた。	4	8	今後も、行事食の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果 があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
19	食文化の体験と継承	教室	鶴嶺公民館	事業名：親子でみそ作り講座 実施内容：食に対する理解を深め、食生活を大事にする心を育てることを目的に、親子でみその作り方を学ぶ。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：食に対する理解を深め、食生活を大事にする心を育てることを目的に、親子でみその作り方を学ぶ講座を実施した。 評価：「勉強にもなって、自分ひとりではなかなかチャレンジできなかったことに、先生に教わりながら挑戦できて、親子ともとても楽しかったです。」などの意見をいただき、食育の推進につながった。	4	8	今後も、食文化の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：食に対する理解を深め、食生活を大事にする心を育てることを目的に、親子でみその作り方を学ぶ講座を実施した。 評価：「子どもの食育にもつながり、安心しておいしい味増がたべられるのが楽しみです。」などの意見をいただき、食育の推進につながった。	4	8	今後も、食文化の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R7	実施回数	1					実施内容： 評価：					
20	食文化の体験と継承	教室	鶴嶺公民館	事業名：異文化交流事業 実施内容：外国人の講師を招き、講師の国の料理を作り、食文化を体験する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：「異文化交流講座『知ってみたいな よその国〜ドミニカ共和国〜』を開催し、ドミニカ共和国の郷土料理を作り、同国の文化歴史を学ぶ講座を実施した。 評価：「お料理も全く違い、新しいことを知った感じがす。自分でも少し調べてみようかなと思いました」などの意見をいただき、異国の食文化に関心を持っていただく機会を作ることができた。	4	8	今後も、食文化の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：「異文化交流講座『知ってみたいな よその国〜ペルー〜』を開催し、ペルーの郷土料理を作り、同国の文化歴史を学ぶ講座を実施した。 評価：「ペルーの食材には驚きました。食文化の豊かさに感動です。」などの意見をいただき、異国の食文化に関心を持っていただく機会を作ることができた。	4	8	今後も、食文化の体験に関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R7	実施回数	1					実施内容： 評価：					
21	食文化の体験と継承	教室	松林公民館	事業名：夏休みこどもパン教室 実施内容：こどもたちによる手作りパンづくりへの挑戦。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：保護者のいない環境でこども同士で力を合わせてパン作りをすることで、自分で考えて伝える術を身につける。 評価：食生活の大切さや、自分で作ることの楽しさを学んだ。	4	8	小学1、2年生には少し難しかったため、来年度からは3年生以上を対象とする。	松林公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：保護者のいない環境で、こども同士で力を合わせてパン作りを行うことで、自分で考えて伝える術を身につける。 評価：食生活の大切さや、自分で作ることの楽しさを学んだ。	4	8	小学3年生以上を対象としていたが、1、2年生の申し込みもあった。しかしながら、小学1、2には難しいため今後の課題とする。	松林公民館	
					R7	実施回数	1					実施内容： 評価：					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果 があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
22	食文化の体験と継承	教室	松林公民館	事業名：初めての茶の湯体験 実施内容：茶道の基礎知識やマナー、持ち物などを覚えて実際に体験をする。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：日本の文化の作法を学ぶことにより、日常生活のストレス解消の一助とする。 評価：初めて茶道について学ぶ参加者もあり、日本の伝統的な文化を体験してもらったことがあった。	4	8	送迎用マイクロバスと松下政経塾との日程調整が課題である。	松下政経塾	
					R6	実施回数	1	0	0	1	無	実施内容： 評価：	1	2	中止		中止（会場の都合のため）
					R7	選定されなかったため実施なし	0					実施内容： 評価：					
23	食文化の体験と継承	教室	松林公民館	事業名：美味しいシソ入り梅干しづくり 実施内容：梅と塩とシソを使って梅干しの漬け方を学ぶ。	R5	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容：松林公民館の近隣で取れた赤しそを使って、日本の伝統的な保存食である梅干しを作った。 評価：初めて作る参加者も多く、日本の伝統的な食文化を知ってもらった機会を提供することが出来た。	4	8	地元の材料で作る講座のため、材料確保が今後の課題である。	松林公民館	
					R6	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容：松林公民館の近隣で取れた赤しそを使って、日本の伝統的な保存食である梅干しを作る。 評価：初めて作る参加者も多く、日本の伝統的な食文化を知ってもらった機会を提供することができた。	4	8	地元の材料で作る講座のため、材料確保が今後の課題である。	松林公民館	
					R7	選定されなかったため実施なし	0					実施内容： 評価：					
24	食文化の体験と継承	教室	松林公民館	事業名：季節のお菓子づくり 実施内容：初心者の手軽にできるデザートづくりに挑戦する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：地産地消を促進し、季節のお菓子を作ることで、手作りの大切さ、自分で作る楽しさを学んだ。 評価：季節のお菓子作りに興味を持ち、手作りの大切さを学んだ。	4	8	材料を冷やす時間や、焼く時間の調整が必要であった。	松林公民館	
					R6	実施なし						実施内容： 評価：					削除（開催事業に選定されなかったため）
					R7	選定されなかったため実施なし	0					実施内容： 評価：					
25	食文化の体験と継承	教室	香川公民館	事業名：味噌作り教室 実施内容：通常の味噌作りより多い量の糀を使い味噌の仕込み体験する。保存方法やカビの対処法等を楽しく学ぶ。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：味噌（発酵食品）がなぜ体にいいのか、味噌の作り方や保存方法を学んだ。また、親子で一緒に作ることで食育を進める。 評価：参加者が講座の内容を理解し、味噌を作ることができた。	4	8	参加人数を募集より多く受けてしまった。作業台を追加するなどに対応した。	香川公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：味噌（発酵食品）が体にいいのか、味噌の作り方や保存方法を学んだ。また、親子で一緒に作ることで食育を進める。 評価：参加者が講座の内容を理解し、親子の食育の推進につながった。	4	8	参加者の対象の精査。	香川公民館	
					R7	実施回数	1					実施内容： 評価：					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果 があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
26	食文化の体験と継承	教室	香川公民館	事業名:発酵を学ぼう	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:発酵食品がなぜ体に良いかを学んだ。 評価:参加者が講座の内容を理解し、糀を作ることができた。	4	8	HPでの周知方法の改善。参加人数の精査	香川公民館	
				実施内容:健康のために腸活をすすめる一環として、発酵食を学ぶ。生糀をつかった塩糀や醤油糀の作り方と保存方法などを学ぶ。	R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:醤油・塩・味噌・玉ねぎ糀作ると同時に発酵食がなぜ体に良いのかを学ぶ 評価:参加者が発酵食について理解を深め、発酵食を使った調理法を学ぶことができた。	4	8	参加人数の精査。	香川公民館	
					R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					
27	食文化の体験と継承	教室	体験学習センター	事業名:そば打ち教室	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:講師の直接の指導でそば打ちをし、日本の食文化である「そば」の打ち立て茹でたてを食べる体験をする。自分で調理したそばを食べる喜びを参加者で分かち合う。 評価:講座をきっかけに家庭でもそば打ちをしたいとの声も多く成果はあった	4	8	電話による申し込みのみの為、参加者名、住所、電話番号等の聞き取りが大変だった。また、電話回線が1本のため、申し込みが集中した初日は業務に支障があった。申し込みフォームを使用できない方への配慮をしながら、次回講座からは申し込みフォームを活用したい。	体験学習センター	令和6年度は、指定管理者が実施主体となる。
				実施内容:講師の指導のもとそば打ちをし、自分で調理したそばを食べる体験を行う。	R6												施設の指定管理制度導入のため実施なし
					R7												
-	食文化の体験と継承	教室	体験学習センター	事業名:強力粉を使った料理体験	R5	実施回数	1	0	0	-		実施内容: 評価:	-	-		体験学習センター	変更(食文化の体験として古来からある大豆から発酵食品としてある味噌の方が通じているため、事業名と内容を変更した。(通し番号28:寒仕込み味噌づくり教室))
				実施内容:強力粉を使った料理づくりを行う。	R6												施設の指定管理制度導入のため実施なし
					R7												
28	食文化の体験と継承	教室	体験学習センター	事業名:寒仕込み味噌づくり教室(強力粉を使った料理体験から変更)	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:工程ごと、また豆を漬す器具が無い場合の換通りのやり方、ポイントごとに参加者の手を止め丁寧な説明で、味噌づくりをハードルが高いものと捉えないで気軽に毎年取り組んで欲しい事を伝えた。随所で食の大事さや手作りを楽しむ知恵などが披露され、日々食を大切に家族で食を楽しんで生活するためのヒントとなった。 評価:またやって欲しいと意見が多く成果はあった。	4	8	多くの参加希望が想定される講座は、先着ではなく抽選の方がよいのではとの声があった。	体験学習センター	
				実施内容:味噌作り体験を通して、手間をかけて手作りするの楽しさや美味しくて体に良い発酵食品の魅力を見直すなど、日本の伝統食や身近な食文化について考える。	R6												施設の指定管理制度導入のため実施なし
					R7												

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果 があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
29	食文化の体験と継承	教室	青少年会館	事業名:子どもクッキング 実施内容:食材の旬と食べやすい調理を理解し、自身で作って食べる体験で食文化を学ぶ。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:健康増進課の管理栄養士から、野菜の旬と食べやすい調理を学び、カラフル蒸しパンを仲間と一緒に調理し味わった。 評価:小学生低学年がなじみやすいウイズで旬を学び、グループで協力し合う調理と実食で、食文化を伝えられた。	4	8	たくさんの応募があったが、調理でのサポートを要す低学年を対象とし定員を少なくしたため、参加できない方が多かった。 できるだけ多くの青少年に食文化の体験が可能となるように、内容、対象者、回数などを見直したい。	男女共同参画推進センターいこりあ	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:管理栄養士の指導のもと、食育に関する講和を交えながら、節分が近いことから「大豆」を使ったおとうふマフィンを親子で調理し味わった。 評価:講師考案のレシピを元におとうふマフィンを調理したが、ニンジン、ホウレンソウを苦手とする子どもも多い中、「野菜が甘くて美味しかった」「嫌いな野菜が食べれて嬉しかった」などの声が多数挙がっており、野菜嫌いを克服する機会となった。	4	8	いこりあ調理室を使用した。オープンが3か所故障していた。青少年会館に調理室がないため、来年度も事業実施にあたっては、いこりあ調理室を使用するため、オープン故障の改善を求めたい。	男女共同参画推進センターいこりあ	
					R7	実施回数	1				実施内容: 評価:						
30	共食の推進	教室	多様性社会推進課	事業名:男性の家事・子育て・介護への参画を進めるための講座 実施内容:ワーク・ライフ・バランス(家庭・仕事・地域参加・趣味の充実)の実現に向けて、男性を対象とした料理や子育てに関する講座を実施する。 ※R5は父子クッキングを実施する。R6年度以降は、料理以外の講座を開催する可能性がある。	R5	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容:ワーク・ライフ・バランス(家庭・仕事・地域参加・趣味の充実)の実現に向けて、料理講座に父子で参加することにより、固定的役割分担意識をなくし、男性の家事育児への促進及び父子の触れ合いを目的とし父子で参加できる料理講座を実施した。 評価:男性の家事育児への積極的な参加へのきっかけづくりにつながった。	4	8	本年度は、岡崎市とのゆかりのまち提携協定締結から40周年を迎えたことに合わせ、岡崎市の名産品の八丁味噌を使ったメニューとすることとした。 翌年度以降の啓発手法(講座内容等)については未定。	男女共同参画推進センターいこりあ	
					R6	実施回数	1	0	0	1	無	実施内容: 評価:	1	2	中止	中止 (多様性社会推進課の個別計画である茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画の基本目標2ワーク・ライフ・バランスの促進として、男性の家事・子育て・介護への参画を進めることを目標に定めておりますが、令和6年度は別の基本目標に重点を置いて講座を実施したため、男性を対象とした料理や子育てに関する講座は実施しておりません。)	
					R7	実施回数	1				実施内容: 評価:						

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果 があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
31	共食の推進	その他	こども政策課	事業名:こども食堂事業 実施内容:子どもの孤食を減らし、地域における居場所づくりと子育て支援を目的に、子どもやその保護者へ無償または低額で食事の提供を行う子ども食堂を運営する団体に対し経費を補助する。	R5	実施回数	96	130	100	4	無	実施内容:地域でのこどもの居場所づくりの推進と継続的な活動を支援することを目的に、こどもに対し、地域で食事、地域住民との交流を促した「こどもの居場所づくり」に関する活動を行う団体に対して支援事業を行う。 評価:開設に係る費用を補助する補助金の補助率1/2を削減し、10万円を上限とした事業実施に要した額とした。また、運営に係る補助金についても国の補助金を活用し、10月以降の事業実施分について、補助金の上限を12万円から100万円に引き上げた。	4	8	国庫補助金の継続が不透明なため国の動向を注視する必要がある。こども食堂の拡充及び安定的な運営が可能となるよう支援のあり方を検討する。		
					R6	実施回数	110	252	100	4	無	実施内容:こどもの孤食を減らし、こどもの地域における居場所づくりと子育て支援を目的に、こどもやその保護者に対し無償又は低額で食の提供等を行う団体に対して支援事業を行う。 評価:運営に係る補助金については、昨年度と同様に国庫補助金を活用し、年間100万円を上限に実施団体へ継続的に支援を行った。	4	8	国庫補助金について、国の動向を注視する必要がある。補助金活用する団体が増加していることを踏まえ、多くの団体に事業の効果が行き渡るよう、支援のあり方を検討する。	こども食堂を運営している団体によって実施場所が異なる	
					R7	実施回数	264					実施内容: 評価:					
32	学校・保育所での食文化の体験と継承	その他	学務課	事業名:学校教育活動を通じた食文化の体験と継承 実施内容:地域農業者の協力により近隣の田んぼを間借りし米作りの体験や、そら豆のさやもぎの体験等を実施する。	R5	体験回数	19	19	100	4	無	実施内容:地域農業者の協力を得た米作り体験や、給食で使用する食材(そらめ等)の加工を行うことで、食文化の体験を行った。 評価:米作りやそらめなどのさやむき体験など、地域や家庭で行う機会が減ってきている経験を通して、子どもたちの豊かな心を育むことができた。	4	8	地域就農者の減少や、田んぼの管理など人的要因などが課題である。引き続き、地域関係者の協力を得られるよう良好な関係を築いていく。	市立小学校19校	
					R6	体験回数	19	19	100	4	無	実施内容:地域農業者の協力を得た米作り体験や、給食で使用する食材(そらめ等)の加工を行うことで、食文化の体験を行った。 評価:米作りやそらめなどのさやむき体験など、地域や家庭で行う機会が減ってきている経験を通して、子どもたちの豊かな心を育むことができた。	4	8	地域就農者の減少や、田んぼの管理など人的要因などが課題である。引き続き、地域関係者の協力を得られるよう良好な関係を築いていく。	市立小学校19校	
					R7	体験回数	19					実施内容: 評価:					
33	学校・保育所での共食の推進	普及啓発	保育課	事業名:保護者懇談会や給食だよりによる情報提供 実施内容:保護者懇談会や給食だよりとおして、共食の大切さを保護者に伝える。	R5	実施施設数	79	73	92	4	無	実施内容:毎月保護者へ配布している給食だよりで行事の由来や人気の給食レシピを紹介した。 評価:給食だよりの内容を家庭で話すことで、保護者と園児が食の楽しみを知り、共有することが出来た。	3	7	保護者へ食に対する関心をさらに促すことができるよう、内容を工夫したり、電子データ等でも発信していく。	保育所、幼稚園	
					R6	実施施設数	79	76	96.2	4	無	実施内容:毎月保護者へ配布している給食だよりで行事の由来や配信アプリ(こどもん等)を使用し、人気の給食レシピ等を紹介した。給食試食会も懇談会にて4年ぶりに再開した。 評価:給食だよりの内容を家庭で話すことで、保護者と園児が食の楽しみを知り、共有することができた。	3	7	保護者へ食に対する関心をさらに促すことができるよう電子データ等でも発信していく。	保育所、幼稚園	
					R7	実施施設数	79					実施内容: 評価:					

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

【施策2】食文化の体験と継承、共食の推進

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価を 記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果 があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
追加1	食文化の体験と継承	教室	青少年会館	事業名：お米の教室・お赤飯の食べ比べ 実施内容：五つ星お米マイスターのお米の話を通じて、食についての正しい理解を深め、親子でお赤飯の食べ比べをして、日本のお米を身近に感じる。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：五つ星お米マイスターからのお米の話と赤飯の炊き方の違いを学び、お赤飯の食べ比べをして、親子のコミュニケーションを図った。 評価：お米の生産地ルーツ、うるち米ともち米の比較などお米の知識を学び、炊き方の異なる赤飯の食べ比べが、食文化について興味・関心を持ってもらえる機会となった。	4	8	当日は27名の参加者を予定していたが、急遽不参加となった方が多く、19名での実施となった。体調不良による不参加は仕方ないが、当日の参加率を確保するため、開催日数前にリマインドメールを送るなど工夫したい。	青少年会館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：五つ星お米マイスターからのお米の話と、昔と現代のお米の炊き方を学び実際に食べ比べも行い、親子のコミュニケーションを図った。 評価：昔の炊き方の「煮る、蒸す、焼く、蒸らす」など手法の違うお米の炊き方により、それぞれ味・香り・仕上がりが違うことを実際に食べ比べをして実感することができた。 親子でお米について学び、コミュニケーションを図ることができた。	4	8	試食用の紙皿を講師の好意で準備いただいたが、エコの観点から何度でも使用可能なプラスチック製の皿を使用する参加者自らが持参するよう変更する。	青少年会館	
					R7	実施回数	1					実施内容： 評価：					
追加2	食文化の体験と継承	教室	青少年会館	事業名：親子で手軽に楽しむ日本茶教室 実施内容：日本茶アドバイザーを講師から日本茶を学び、数種類の日本茶の飲み比べで、日本茶の正しい知識を理解し、おいしく淹れる方法を学ぶ。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：日本茶アドバイザーから日本茶を学び、数種類の日本茶の飲み比べをし、自宅で手軽においしく淹れる方法を理解した。 評価：日本茶を、自宅でおいしく淹れる方法を知ること、食文化について興味・関心を持ってもらえる機会となった。	4	8	新規事業ではあったが、集客率が思っていたよりも伸びなかったため、参加対象者について年齢や組み合わせの緩和・拡大、また、内容の再検討を考えた。	青少年会館	
					R6	実施回数	1	33	100	4	有	実施内容：日本茶アドバイザーより身近なお茶の豆知識を学ぶとともに、「煎茶」「ほうじ茶」の飲み比べを実施し、自宅で簡単に美味しいお茶を淹れるコツを学んだ。 評価：急須からお茶を淹れて飲む経験が少ない子ども達にとって、「煎茶」「ほうじ茶」を茶葉から急須に淹れ、飲み比べる経験は大変貴重な経験であった。自宅でもすぐに実践可能な内容であり、食文化に関心を持つ良い機会となった。	4	8	講師が講座慣れしていないこともあり、参加者から出た質問事項を全体に共有することができていなかった。翌年度は講師にその点を共有し、全体で共有できるように改善していきたい。	青少年会館	
					R7	実施回数	1					実施内容： 評価：					
追加3	食文化の体験と継承	教室	南湖公民館	事業名：料理教室 実施内容：簡単で美しく、見た目も華やかな料理をつくり、異文化のメニューを加えることで日常の食卓に彩りを添える。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：「おうちフレンチ 秋の味覚ポルチーニ煮 煮る手打ちタリアテッレ」身近な食材で簡単おうちフレンチを作る。 評価：手軽に作れるフレンチの魅力を知ることができ、意外に知らない料理の基本も学ぶことができた。	4	8	異なる食文化について学ぶ機会を設け、発信していく。	南湖公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：「ホノルル気分でおノリヤス！！THE ハワイごはん」ハワイの代表的な料理を作り、ハワイを身近に感じる。簡単で美しく、見た目も華やかな異文化のメニューを加えることで日常の食卓に彩りを添える。 評価：普段、作らないような料理にチャレンジすることで、料理の知識が増え、料理が楽しいと感じることができた。ハワイ料理が家庭での食卓を彩るメニューのレパートリーのひとつとなった。	4	8	異なる食文化について学ぶ機会を設け、発信していく。	南湖公民館	
					R7	実施回数	1					実施内容： 評価：					

【施策3】生きる力としての食生活の基礎づくり

【行政の主な取組】

- ・生きる力としての食生活の基礎づくり※に関するイベントや教室、体験を通した普及啓発
- ・学校・保育所での生きる力としての食生活の基礎づくり※に関する取組

※生きる力としての食生活の基礎づくりとは、食と健康に関する取組
例)朝食の摂取やバランスのとれた食事などの健全な食生活の基本を身につける取組、栄養バランスに配慮した食事の目安等についての情報提供等を行う取組、健康と食事の関係に関心を持てるような取組、生活習慣病予防につながる食生活の実践が可能となるような情報及び機会提供の取組 など

指標の達成状況に対する評価	3. 8 / 4	取組内容に対する評価	3. 7 / 4	7. 5 / 8
---------------	----------	------------	----------	----------

通し 番号	取組 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
34	生きる力としての食生活の基礎づくり	イベント	こども政策課	事業名:子育て支援センターにおける食育相談 実施内容:市内4か所の子育て支援センターにおいて、栄養士相談を実施する。	R5	実施回数	24	24	100	4	無	実施内容:市内4か所の子育て支援センターで栄養士相談を実施。 評価:離乳食や偏食等に悩んでいる保護者の悩みを相談できる機会を提供することができ、信頼できる食の提供に関する情報提供ができた。	4	8	より多くの方が利用できるよう、相談事業の周知活動に努める。	茅ヶ崎駅北口子育て支援センター、茅ヶ崎駅南口子育て支援センター、香川駅前子育て支援センター、浜竹子育て支援センターのびのび	
					R6	実施回数	24	24	100	4	無	実施内容:市内4か所の子育て支援センターで栄養士相談を実施。 評価:離乳食や偏食、アレルギーに悩んでいる保護者が多く、個別に悩み相談できる機会を提供することができ、信頼できる食の提供に関する情報提供ができた。	4	8	・より多くの方が利用できるよう、相談事業の周知活動に努める。 ・2ヶ月に1回行っていた栄養士相談を、令和7年度以降は、月1回行えるよう相談体制の強化を図る。	茅ヶ崎駅北口子育て支援センター、茅ヶ崎駅南口子育て支援センター、香川駅前子育て支援センター、浜竹子育て支援センターのびのび	
					R7	実施回数	48					実施内容: 評価:					
35	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	高齢福祉課	事業名:介護予防講演会(栄養) 実施内容:高齢者の健康状態等を踏まえてテーマを決め、介護予防に関する講演等を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:管理栄養士より、フレイルとその予防ポイントを解説。またグループでカードを使った食事メニューを作成した。最後に呼吸筋体操を実施し、終了した。 評価:アンケートから参加者のほとんどが大変参考になったのと、今後も自身で続けられそうという回答があったことから、今回の講演会をきっかけにフレイル予防のきっかけ作りができた。	4	8	健康増進課の栄養教室のテーマと開催時期が同時期になってしまったので、次年度は連携を取って、被らないテーマで実施していく。また過去にやっていた調理実習の実施を含め、次年度の実施内容を検討していく。	地域医療センター	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:市販のお惣菜を活用して簡単にできる健康レシピの紹介。フレイル、たんぱく質の摂取量等の話を語り交ぜながら、実際にデモ調理を実施。作ったおかずを試食した。 評価:アンケートでは自宅で作れるかという問いに全員がとても活かせると回答しており、継続性のある講演会となったと評価できる。	4	8	申し込み者16名に対して、当日参加者は8名と、当日キャンセルが多かった。事業の周知が早かったこともあり、参加までに期間がある中で忘れてしまっていた可能性もある。直前で連絡をするなど、工夫が必要だと感じた。	男女共同参画推進センターいこりあ	
					R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
36	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	こども育成相談課	事業名：離乳食講習会 事業内容：離乳食についての基本的な知識の普及と10倍がゆの実演、離乳食の見本の展示を行う。	R5	参加組数	220	201	91	4	有	実施内容：離乳食についての基本的な知識の普及と10倍がゆの実演、離乳食の見本の展示を行った。 評価：離乳食についての基本的な知識の普及を行った。実演や見本の展示により、離乳食の進め方や乳児期の発達を理解につながった。	4	8	引き続き離乳食についての基本的な知識の普及に取り組んでいく。	地域医療センター	
					R6	参加組数	220	213	100	4	有	実施内容：離乳食についての基本的な知識の普及と10倍がゆの実演、離乳食の見本の展示を行った。 評価：離乳食についての基本的な知識の普及を行った。実演や見本の展示により、離乳食の進め方や乳児期の発達を理解につながった。	4	8	引き続き離乳食の基本的な知識の普及に取り組んでいく。	地域医療センター	
					R7	参加組数	220					実施内容： 評価：					
37	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	健康増進課	事業名：栄養改善教室 実施内容：健康づくりや生活習慣病予防のため、高血圧、高血糖予防等、テーマに合わせた講話を実施する。 (講義のみ、調理実施つき、親子食育教室)	R5	実施回数	8	9	100	4	有	実施内容：各テーマ(血圧、血糖値、フレイル、夏バテなど)に合わせた講話と1日分の食事チェックを実施した。実施回数の内1回をセミナーとして開催した。 評価：アンケートより、改善点が見つかったとの声が多く、参加者の食生活改善のきっかけとすることができた。	4	8	1食分(主食・主菜・副菜が揃った食事)の調理実習だけでなく、副菜などの1品料理の調理実習を新たに実施し、減塩のコツなどを伝えていく。	保健所、市役所、男女共同参画推進センターいこりあ	
					R6	実施回数	6	7	100	4	有	実施内容：各テーマ(血圧、血糖値、貧血など)に合わせた講話と1日分の食事チェック、調理実習(1食分の調理を1回、1品料理を2回実施)を実施した。 評価：開催時間や内容の検討を行い、より多くの方の申込みにつながることができた。アンケートより、改善点が見つかったとの声が多く、参加者の食生活改善のきっかけとすることができた。	4	8	定期的に栄養教室を開催し、栄養改善への取組を行う。1品料理の調理実習は開催時間や内容を見直し、次年度も継続して実施していく。	保健所、市役所、男女共同参画推進センターいこりあ	
					R7	実施回数	12					実施内容： 評価：					
38	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	健康増進課	事業名：ちがさき健康づくり講座(食生活改善推進員養成講座) 実施内容：自らの健康づくりと地域での市民による食生活改善活動を推進するため、食生活と健康に関する養成講座を実施する	R5	受講生	20	19	95	4	有	実施内容：全11回とグループ毎の自主企画講座を3回実施した。講義や調理実習、運動、施設見学、グループワークなどにより、健康について多角的に学ぶ講座を開催した。 評価：健康を多角的な視点から学ぶ講座とすることができ、自ら及び周囲の健康について改めて見直すきっかけとすることができた。受講生の社会参加を促すこともできた。	4	8	食生活改善推進団体の会員数減少が課題である。受講生に活動の枠子が分るよう、団体が関与する調理実習を1回から2回とする予定である。	保健所等	
					R6	受講生	20	20	100	4	有	実施内容：全11回とグループ毎の自主企画講座を3回実施した。講義や調理実習、運動、施設見学、グループワークなどにより、健康について多角的に学ぶ講座を開催した。 評価：健康を多角的な視点から学ぶ講座とすることができ、自ら及び周囲の健康について改めて見直すきっかけとすることができた。受講生の社会参加を促すこともできた。	4	8	食生活改善推進団体の会員数減少が課題である。講座修了後の団体への入会者を増やすため、受講対象者に「食育や生活習慣病予防を学び、地域で健康づくりの活動をしたい方」を追加して募集を行う予定である。地域で活動を行う上で必要な知識を身につけられるよう講座内容についても見直しを行っていく。	保健所、男女共同参画推進センターいこりあ等	
					R7	受講生	20					実施内容： 評価：					

通し 番号	取組 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
39	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	小和田公民館	事業名:夏野菜尽くし 実施内容:公民館の庭で栽培した野菜の収穫体験と夏野菜カレーの調理実習	R5	延べ参加者数	20	12	60	2	有	実施内容:公民館で栽培したじゃがいも、トマト、ズッキーニなどを収穫し、調理した。 評価:調理だけでなく野菜の栽培収穫も体験することで、生きる力としても食生活の基礎作りにつながる取組となった。	4	6	野菜の収穫時期と日程を合わせることで、栽培に必要な人手をボランティア等で確保することも検討している。	小和田公民館	
					R6	延べ参加者数	20	16	80	3	有	実施内容:公民館で栽培したじゃがいも、トマト、ズッキーニ等を収穫し調理した。 評価:調理だけでなく野菜の栽培収穫も体験することで、生きる力としても食生活の基礎作りにつながる取組となった。	3	6	野菜の収穫時期と日程を合わせることで、栽培に必要な人手をボランティア等で確保することも検討している。	小和田公民館	
					R7	参加人数	20					実施内容: 評価:					
40	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	鶴嶺公民館	事業名:夏休み親子料理教室 実施内容:管理栄養士による食事と健康に関する講義を受け、親子で料理を作る。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:健康増進課の管理栄養士による食事と健康に関する講義の後に、茅ヶ崎市食生活改善推進団体からの指導のもとビザと2色ゼリーを作る。 評価:「栄養士さんのお話をきいて、苦しい野菜へのチャレンジする姿が見られました。」などの意見をいただき、またアンケート回答者全員が「楽しかった」と回答した。楽しみながら、健康と食事の関係に関心を持っていたく機会を作ることができた。	4	8	今後、食生活の基礎づくりに関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:こども育成相談課の管理栄養士による食事と健康に関する講義の後に、茅ヶ崎市食生活改善推進団体からの指導のもと料理(ドライカレー、ハワイ風トロピカルゼリー)を作る。今年度は、姉妹都市友好協定締結10周年事業として、デザートメニューを決定した。 評価:「家では食べない野菜も全部食べました。とてもうれしく感じました。みんなで料理をする楽しさを知ることができたようでとても良かったです。」などの意見をいただき、健康と食事の関係に関心を持っていたく機会を作ることができた。	4	8	今後、食生活の基礎づくりに関する事業として、継続して開催する。	鶴嶺公民館	
					R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					
41	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	松林公民館	事業名:献立のない料理教室 実施内容:買い物から献立まで自分たちで考えて料理を行う。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:買い物、献立を考える、調理すること全てを子どもたちが行うことによって、自ら考える力を養った。 評価:自分たちで考えて作ることで、自主性を育むことが出来た。また、食生活の大切さを知ることが出来た。	4	8	買い物に時間がかかるため、時間配分の調整が必要。	松林公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:買い物、献立を考える、調理すること全てを子どもたちが行うことによって、自ら考える力を養う。 評価:自分たちで考えて作ることで、自主性を育むことが出来た。また、食生活の大切さを知ることが出来た。	4	8	買い出しに時間がかかるため、時間調整が必要である。	松林公民館	
					R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
42	生きる力としての食生活の基礎づくり	教室	南湖公民館	事業名: RAKURAKUキッチン 事業内容: 減塩料理、栄養学、地産地消等をテーマに料理講座を実施。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 野菜摂取についての栄養講座と野菜たっぷりのエスニック調理実習 評価: 一日の塩分摂取量と野菜摂取量は常に周知している。	3	7	11月実施の場合は酷暑の時期にリハールになってしまったため、食中毒対策として次回は2月後半に実施する。	南湖公民館	
					R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 管理栄養士より体の内から元気になれる食事のポイントを伝える栄養教室と、「ヘルシー中華～薬膳風～」の調理実習、試食交流。 評価: 一日の塩分摂取量、野菜接種目標量を周知し、日常から意識を高める必要性を再確認することができた。毎日の食事に「薬膳」の知恵を取り入れ、健康的な食生活を目標にしたいという気持ちを持ってもらうことができた。	4	8	昨年度の反省を生かし、リハール・本書を下半期に実施できたことはよかったが、一方で直前に南湖公民館の給湯器が故障しお湯が使用できなくなったため利用者から不満の声があった。事業のスムーズな運営のためにも日ごろから施設維持管理を徹底する。	南湖公民館	
					R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					
43	生きる力としての食生活の基礎づくり	普及啓発	こども政策課	事業名: 食に関する情報提供 実施内容: 幼児が作れる料理や、離乳食やおやつレシピ等を掲載し、食に関する情報を提供する。	R5	事業数	1	1	100	4	無	実施内容: 「子育てガイドブック愛」に離乳食レシピを掲載する。 評価: 「子育てガイドブック愛」に食事だけでなくおやつとしても楽しめる月齢別の4種類の離乳食レシピを掲載した。	4	8	より多くの方へ情報発信ができるよう周知活動に努める。乳幼児全戸訪問事業にて情報提供を行う。	子育てガイドブック愛	
					R6	事業数	1	1	100	4	無	実施内容: 「ちがさき子育てガイドブック 2024年度版」に離乳食レシピを掲載する。 評価: 月齢別の4種類の離乳食レシピ及び料理のイメージがつきやすいよう、写真を交えて掲載した。	4	8	より多くの方へ情報発信ができるよう周知活動に努める。	ちがさき子育てガイドブック	
					R7	事業数	1					実施内容: 評価:					
44	生きる力としての食生活の基礎づくり	普及啓発	こども育成相談課	事業名: 妊婦の食生活改善に関する普及啓発 (YouTubeを含む) 実施内容: 妊婦期の食生活の改善を目的に、ホームページやYouTubeを活用し、妊娠中に必要な栄養素についてやおすすめのメニュー等の発信を実施する。→ YouTube等動画配信による普及啓発はR5年度で終了し、R6年度以降は対面での開催を行う。	R5	実施回数	4	4	100	4	無	実施内容: 妊婦期の食生活の改善を目的に、ホームページやYouTubeを活用し、妊娠中に必要な栄養素についてやおすすめのメニュー等の発信を実施することが出来た。 評価: ホームページやYouTubeを活用し、妊娠中に必要な栄養素についてやおすすめのメニュー等の発信を実施することが出来た。	4	8	来年度からは、対面での開催を目標に取り組む。		
					R6	参加組数	12	6	50	2	有	実施内容: 妊婦期の食生活の改善を目的に、マタニティクリニックを年3回開催した。 評価: 妊婦期は体調が不安定であることや、産休に入るまで仕事を続けている妊婦の増加等の理由から参加者集めに苦慮した。参加された方からは、改めて食事について考えるいい機会になったと好評を得た。	1	3	R7年度以降中止	男女共同参画推進センターいこりあ	
					R7	事業内容の変更のため実施なし	0					実施内容: 評価:					中止 【(健増)施策1通し番号追加7妊婦対象栄養相談事業に内容を変更するため。】

通し 番号	取組 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
45	生きる力としての食生活の基礎づくり	普及啓発	健康増進課	事業名:食育(食育月間)の啓発 実施内容:6月の食育月間やその他期間において、展示や広報紙等を活用し、食育に関する普及啓発を実施する。	R5	実施回数	2	3	100	4	無	実施内容:展示、サイネージ、LINE配信を活用して、食事の基本などについて周知した。 評価:さまざまな媒体を活用し、食生活の見直しを促すことができた。展示では、食生活などに関する資料を配架し、自宅での食育推進を促した。	4	8	今後もさまざまな媒体を用いて啓発し、目を引くような媒体を作成し、周知する。	市役所	
					R6	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:展示を通して、食事の基本などについて周知した。エレベーター、ロビーサイネージを活用して、果物の摂取目標量を周知した。 評価:健康日本21(第3次)で果物の摂取量改善が目標の一つとして掲げられ、重点的に周知をした。果物の摂取目標量をテーマとしたYouTube動画を作成し、合わせて周知した。	4	8	今後も新たな情報を盛り込みながら、周知する。知識の定着を図るため、各媒体等を活用して周知を実施していく必要がある。	市役所	
					R7	実施回数	2					実施内容: 評価:					
46	生きる力としての食生活の基礎づくり	普及啓発	健康増進課	事業名:食生活改善(食生活改善普及運動月間)の普及啓発 実施内容:9月の食生活改善普及運動月間やその他の期間において、展示や広報紙等を活用し、健全な食生活の基本が身につくための普及啓発を実施する。	R5	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:野菜の摂取目標量に関する動画を作成し、YouTubeにアップした。広報9/1号にて動画の周知と、野菜を食事に取り入れる4つのポイントを紹介した。展示も実施した。 評価:野菜の1日の摂取目標量を周知することができた。1食分の望ましい野菜の量について、写真で伝えた。	4	8	今後もさまざまな媒体を用いて啓発し、目を引くような媒体を作成し、周知する。	市役所	
					R6	実施回数	2	3	100	4	無	実施内容:ホームページで月間の重点目標に関する項目を周知した。広報9/1号にて、果物の摂取目標量を周知した。展示では、健康増進普及月間と合わせて、食生活に関するパネル展示を行った。 評価:果物の摂取目標量は、食育月間に引き続き周知を行い、情報が多くの方に伝わるようにした。展示期間中に市民ふれあいプラザの140インチモニターを活用し、広く周知できた。	4	8	今後も新たな情報を盛り込みながら、周知を行っていく。	市役所	
					R7	実施回数	2					実施内容: 評価:					
47	生きる力としての食生活の基礎づくり	普及啓発	学校教育指導課	事業名:食習慣の改善に向けた取組1 事業内容:食について考える場を設けるために、毎月19日を「食育の日」と定め、教師用解説付きの食育啓発ポスターを各小中学校に配付する。	R5	実施回数	6	6	100	4	無	実施内容:食育ポスターの掲示 評価:市内の児童・生徒が描いた食育ポスターを各小中学校に掲示することにより、食について考えるきっかけとなった。	4	8	食育ポスターに選ばれた児童・生徒への通知をしっかりと行う。	市立小学校19校 市立中学校13校	
					R6	実施回数	5	5	100	4	無	実施内容:食育ポスターの掲示 評価:市内の児童・生徒が描いた食育ポスターを各小中学校の実情に合わせて昼食時間に黒板に掲示することにより、食について考えるきっかけとなった。	4	8	中学校給食が段階的にスタートしたため、食育ポスターの周知を図る。	市立小学校19校 市立中学校13校	
					R7	実施回数	7					実施内容: 評価:					
48	学校・保育所での生きる力としての食生活の基礎づくり	その他	保育課	事業名:保育園給食や弁当を活用した食育の実施 実施内容:給食だよりによる食に関する情報の提供や、調理員や保育士による食育活動を通して食に関する基礎を学ぶ場を設ける。	R5	実施施設数	79	72	91	4	無	実施内容:外部講師を派遣した食育講座を実施した。食育の絵本や栄養に関するパネルで講義を実施。 評価:食育後の園児の給食への意識が向上したことから、保育士や栄養士、調理員も食育の大切さを改めて意識する機会となった。	3	7	食育の講座について、申込み人数が少なかったため、興味を持ってもらえるような働きかけを保護者へしていく必要がある。食育の絵本の紹介の機会を増やしていく。	保育所、幼稚園	
					R6	実施施設数	79	76	96	4	無	実施内容:外部講師を派遣した食育講座を実施した。園で食育の絵本や栄養に関するパネルでの講義の実施や、畑を活用し親子収穫体験を行った。 評価:食育後の園児の給食への意識が向上したことから、保育士や栄養士、調理員も食育の大切さを改めて意識する機会となった。	3	7	食育の講座について、申込み人数が少なかったため、興味を持ってもらえるような働きかけを保護者へしていく必要がある。年間食育計画や指導案を考え、茅ヶ崎市全体で共有できるとよい。	保育所、幼稚園	
					R7	実施施設数	79					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	取組の分類 ※リストから選 択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
						指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
49	学校・保育 所での生き る力としての 食生活の基 礎づくり	その他	学務課	事業名:学校給食を活用した 食育の実施	R5	延べ実施回 数	209	209	100	4	無	実施内容:学校栄養士が作成する「給食だより」等を通じ て、食材や食文化等の情報提供や、授業等を通じた指導 を通して、食育を実施した。 評価:当初定めた目標値どおり、実施することができた。	4	8	SNSを中心に根拠に乏しい食情報や 健康情報が溢れている現状において、 給食ニュースや給食だより等を通して、 子ども達自ら「正しい食生活」を身に 着けられるよう指導を行っていく。	市立小学校19校	
				実施内容:学校栄養士による 給食ニュースや給食だより による食に関する情報の提 供や、授業や給食指導を通 じて食に関する指導を実施 する。	R6	延べ実施回 数	209	209	100	4	無	実施内容:学校栄養士が作成する「給食だより」等を通じ て、食材や食文化等の情報提供や、授業等を通じた指導 を通して、食育を実施した。 評価:当初定めた目標値どおり、実施することができた。	4	8	SNSを中心に根拠に乏しい食情報や 健康情報が溢れている現状において、 給食ニュースや給食だより等を通して、 子ども達自ら「正しい食生活」を身に 着けられるよう指導を行っていく。	市立小学校19校	
					R7	延べ実施回 数	209					実施内容: 評価:					
50	学校・保育 所での生き る力としての 食生活の基 礎づくり	その他	学務課	事業名:中学校給食実施事 業	R5	調理事業者 の決定	R6.3まで	決定	100	4	有	実施内容:関係職員により構成される企画提案者選考会 議において、参加事業者より提出のあった提案書等の書 査を行い、優先交渉権者を決定した。 評価:当初定めた目標値どおり、実施することができた。	4	8	より良い給食の提供に向け調理事業者 との協議・連携を密に図るとともに、生 徒・保護者に対する周知を強化し給食 の利用を促す。		
				実施内容:デリバリー方式に よる中学校給食を新たに実 施し、安全で安心な栄養バ ランスのとれた給食を提供す る。給食の献立や食材等を 題材に、栄養バランスや食 の安全、地産地消の推進、 食文化の継承など幅広い食 に関する指導を実施する。	R6	給食を実施 する中学校 数	6	6	100	4	有	実施内容:令和6年10月17日から市内6中学校でデリバ リー方式で選択制の給食を開始しました。 評価:令和6年10月から令和7年2月までの生徒の喫食率 は、約62%となっています。開始前のアンケート調査によ る利用ニーズは、喫食率75%程度でしたので、それを下回 る結果となっています。学校によっては、70%を超えるこ ろもあるため、学校ごとの取組分析し、今後の喫食率の 向上につなげていきたいと考えています。	3	7	喫食率の向上に向けて、各学校で取 組んでいる好事例を展開するととも に、魅力のある献立づくりを研究しま す。 地元の農業従事者とコミュニケーション をとるなどして、地産地消を推進してい きます。	市内6中学校(梅田、鶴が 台、 浜須賀、中島、円蔵、萩 園)	
					R7	給食を実施 する中学校 数	13					実施内容: 評価:					
51	学校・保育 所での生き る力としての 食生活の基 礎づくり	その他	学校教育指 導課	事業名:食習慣の改善に向 けた取組2	R5	実施学校数	32	32	100	4	無	実施内容:栄養教諭が学校訪問して、学校の食育担当者 に食育推進や年間計画の指導、児童・生徒に向けた講 演会等の開催を実施した。 評価:栄養教諭を中心としたネットワーク構築につなが った。	4	8	栄養教諭が増員されることにより栄養 教諭の負担軽減と、各小中学校におけ る食育推進の充実を図る。		
				事業内容:食に関する指導 の全体計画の充実と活用を 図るため、栄養教諭を中心 としたネットワークによる食育 の推進を行う。	R6	実施学校数	32	32	100	4	無	実施内容:栄養教諭が学校訪問して、学校の食育担当者 に食育推進や年間計画の指導、児童・生徒に向けた講 演会等の開催を実施した。 評価:栄養教諭を中核としたネットワーク構築につなが った。	4	8	栄養教諭が増員されたことから、栄養 教諭の負担軽減、各小中学校における 食育推進の充実を図る。	市立小学校19校 市立中学校13校	
					R7	実施校数	32					実施内容: 評価:					
追加1	生きる力と しての食生 活の基礎づくり	教室	高齢福祉課	事業名:頭と体の元気アップ 教室	R5												実施なし
				実施内容:地域支援事業の 一般介護予防事業普及啓発 事業として、虚弱傾向及び認 知機能の低下が生じやすい 高齢者を対象に、おおむね4 か月で柔軟体操や筋力の向 上に向けた運動、及び認知 機能の低下の予防にかかる プログラムなど、複合的な機 能の向上を目指す教室	R6												実施なし
					R7	実施回数	20					評価:					10会場×各2回(1 会場全13回の予 定)

【施策1】【一次予防】生活習慣の改善、心身機能の維持・向上

【行政の主な取組】

- ・健康に関するイベントや教室、学校教育などを通じた普及啓発
- ・健康に関する相談体制の充実
- ・妊娠期～乳幼児期の健康管理体制の整備
- ・子どもから高齢者までの予防接種の実施
- ・健康づくりのための環境整備

指標の達成状況に対する評価

3. 6 / 4

取組内容に対する評価

3. 7 / 4

7. 3 / 8

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
1	健康に関するイベントや 教室	高齢福祉課	事業名：介護予防講演会	R5	実施回数	4	4	100	4	有	実施内容：歯科、栄養、お出かけ、心の健康の4つの テーマで実施。 評価：各回で、定員に対し、半数以上の参加があり、 またアンケート結果からほとんどの参加者から参考にな ったと回答があり、介護予防に関する知識の普及 や取組のきっかけづくりにつながった。	4	8	高齢者のこころの健康をテーマにしたところ、多くの参加希望があり、ニーズが高いように感じた。次年度もこころの健康に関するテーマを検討していく。	地域医療センター	
			実施内容：介護予防に関する知識の普及啓発のため、講演会等を行う。(高齢者の健康に関する内容、栄養、歯科)	R6	実施回数	4	4	100	4	有	実施内容：歯科、栄養、お出かけ、心の健康の4つの テーマで実施。 評価：“耳の聞こえ”に関する講演会(テーマではおで かけ)と、“心の健康”の講演会は定員を超える申し込み があり、急速増員対応するなどニーズに沿ったテーマ になったと考えられる。	4	8	昨年度ニーズの高かった心の健康、今年度初めて挑戦した耳の聞こえ等、ニーズに沿った事業展開ができたと考えられるので、次年度も引き続き市民にとって魅力のあるテーマを設定していきたい。	地域医療センター 男女参画推進センターい こりあ	
				R7	実施回数	4					実施内容： 評価：					
2	健康に関するイベントや 教室	高齢福祉課	事業名：フレイル予防教室	R5	実施回数	10	10	100	4	無	実施内容：フレイルサポーターによるイレブンチェック と深堀チェック、フレイルについての説明、介護予防 体操を実施。 評価：コロナ禍明けで、今年度から深堀チェックまで すべてのフレイルチェックを実施し、参加者へのフレ イル予防への啓発ができた。フレイルチェックの結果か ら他の事業等へつなげる取組ができなかったことが 課題。	3	7	参加者数が少ないことが課題であり、周知方法や関係する事業との連携を図っていく。またフレイルチェックの結果から他への事業や包括などの地域資源などにつなげる取組を強化していく必要がある。	公民館やコミュニティセン ター等の公共施設	
			実施内容：早期に虚弱の兆候に気づき、予防するために、フレイルサポーターによる簡易的なチェックを実施する。	R6	実施回数	10	10	100	4	無	実施内容：フレイルサポーターによるイレブンチェック と深堀チェック、フレイルについての説明、介護予防 体操を実施。 評価：昨年度と同じ事業内容だが、周知方法を健康増進課と連携した結果、参加者が大幅に増加した。また7割近くが新規参加者のため多くの市民にフレイルの啓発ができた。また測定結果からフレイルハイリスク者への電話かけを行い、必要に応じて介護予防事業や包括支援センターなどの相談先などにつなげた。	4	8	令和7年度にフレイルサポーターの養成講座を実施予定。サポーターの増員に伴い、会場を増やし、さらに参加者数を増加を目指す。また早期にハイリスク者を見つけ、個別対応を進めていく。また講演会や市内ショッピングセンターでのイベントなどを通じてフレイルの普及と事業の周知を進めていく。	公民館やコミュニティセン ター等の公共施設	
				R7	実施回数	13					実施内容： 評価：					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当しない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価を 記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
3	健康に関するイベントや教室	高齢福祉課	事業名:転倒予防教室 実施内容:介護が必要とならないように転倒骨折予防の運動と、高齢者支援リーダーによる介護予防体操の普及を行う。	R5	実施回数	209	209	100	4	無	実施内容:介護予防のために、身体機能の向上を目的とした運動や介護予防に関する情報提供などを行う。 評価:会場によっては、定員を上回る参加希望者があり、一部の会場で定員を引き上げた。しかし参加者が定員の半数程度しか参加しない会場もあった。	3	7	会場の環境や委託事業者の実施内容によって参加者に偏りが見られる。事業者による実施内容の大きな差がないよう、事業者説明会での説明や適宜会場の順かいを行い、提供内容の質が落ちないよう努める。また参加希望者が増えるよう周知等を強化していく。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設及び事業者会場2か所	実績値の算出:19会場×11か月分
				R6	実施回数	220	220	100	4	無	実施内容:介護予防のために、身体機能の向上を目的とした運動や介護予防に関する情報提供などを行う。 評価:会場によっては、定員を上回る参加希望者があり、2会場で定員を引き上げた。しかし参加者が定員の半数程度しか参加しない会場もあった。	3	7	事業者による実施内容の差は依然としてあるものの、昨年度問題視していた体力測定の実施方法については今年度事業者説明会での説明を徹底したことと改善していると評価できる。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設及び事業者会場2か所	実績値の算出:20会場×11か月分
				R7	実施回数	220					実施内容: 評価:					
4	健康に関するイベントや教室	高齢福祉課	事業名:歌体操教室 実施内容:主に介護予防とした、歌体操ボランティアによる体操教室で、曲を歌いながら体操を行う。	R5	実施会場数	21	22	100	4	無	実施内容:歌体操ボランティアによる歌体操「ねぼし」を身近な会場(自治会館など)で実施する。 新規会場として、ハマミーナ(4月)茅ヶ崎地区コミセン(9月)、身体障害者福祉協会(農協ビル)(9月)で実施した。 評価:継続して参加している方が多く、介護予防につながっていると考え。またボランティアの健康増進にもつながっている。	4	8	キャンセル待ちの会場も多くなっており、新設会場の増設のためボランティアの養成を実施する予定。ニーズの高い地区から会場を開拓していく。	自治会館など身近な会場	
				R6	実施会場数	23	24	100	4	無	実施内容:歌体操ボランティアによる歌体操「ねぼし」を身近な会場(自治会館など)で実施する。 新規会場として、室田自治会館(9月～)で実施した。 評価:継続して参加している方が多く、介護予防につながっていると考え。またボランティアの健康増進にもつながっている。	4	8	ボランティアが不足している会場や、参加者が満員でキャンセル待ちとなっている会場、未開設地区もある。既存会場のボランティアを増やすことや、新規会場開設のため、ボランティアの養成を実施していく必要がある。	自治会館など身近な会場	
				R7	実施会場数	25					実施内容: 評価:					
5	健康に関するイベントや教室	高齢福祉課	事業名:公園体操 実施内容:高齢者ボランティアによる事業で、市内の公園でらがさき体操等の体操を行う。	R5	実施回数	12	9	75	3	無	実施内容:茅ヶ崎中央公園にて、月1回、高齢者支援リーダーによる準備体操、呼吸筋体操、軸つが体操、ちがさき体操を実施した。 評価:実施したすべての回で、予定されていたすべての体操を高齢者支援リーダーによって実施し、参加者への介護予防の取組を行うことができた。	4	7	昨今の夏季における気温の上昇から安全確保のために、次年度は8月の実施を控える。また2月は祝日のため中止とするため、実施回数が10回となる。	第一カッターきいろ公園(中央公園)	
				R6	実施回数	10	17	100	4	無	実施内容:当初予定していた年間開催予定は10回(8月は猛暑で休みに、2月は祝日で休みにした)だが、実績は8回。雨天や熱中症警戒アラートの発令により中止した。 天候の影響を鑑み、令和7年1月より屋内版の公園体操事業を開始。3会場、各3回開催実績がある。 評価:天候により実施可否を左右されてしまうという課題について、柔軟に対応することができたと評価する。	4	8	新規会場での参加者の確保が課題となっている。引き続き周知を徹底していく。	第一カッターきいろ公園(中央公園) 小出支所 ハマミーナ 浜須賀会館	実績値の内訳 ①公園体操(中央公園)8回/10回 ②公園体操IN屋内3回×3会場=9回
				R7	実施回数	44					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
6	健康に関するイベントや教室	こども育成相談課	事業名:たまごクラス 実施内容:(ママの日)妊娠中の生活、食事、口腔ケア等についての基本的な知識の普及を行う。 (パパママの日)父母でのグループワーク、オムツ替え等の体験を通して、子育ての基本的な知識の普及を行う。	R5	参加者数	485	593	100	4	有	実施内容: (ママの日)妊娠中の生活、食事、口腔ケア等について、保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士から講義を行い、基本的な知識の普及をした。 (パパママの日)保健師による指導を中心とした、父母でのグループワーク、オムツ替え等の体験を通して、子育ての基本的な知識の普及を行った。 評価:妊娠期の過ごし方や育児のイメージについて知識を普及することができた。	3	7	人気な講座のため、キャンセル待ちが多く発生している。今年度は対応策を検討しつつ、引き続き実施する予定である。	地域医療センター	目標値の内訳 (ママの日)85人 (パパママの日)200組 実績値の内訳 (ママの日)102人 (パパママの日)248組 (ママ247人、付き添い244人)
				R6	参加者数	485	656	100	4	有	実施内容: 令和6年8月開催までは平日開催はママのみ、土曜日開催はパパママを対象としていた。9月開催からは平日、土曜日共に参加者を絞らずママのみ、パパママどちらでも可とした。 (平日の日)妊娠中の生活、食事、口腔ケア等について、保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士から講義を行い、基本的な知識の普及をした。 (土曜日の日)保健師による指導を中心とした、父母でのグループワーク、オムツ替え等の体験を通して、子育ての基本的な知識の普及を行った。 評価:妊娠期の過ごし方や育児のイメージについて知識を普及することができた。平日、土曜日共にパパママの参加可としたことや申込方法を電子にしたことで参加希望者が参加できる機会が増加した	4	8	引き続き妊娠中の生活、食事、口腔ケア等についての基本的な知識の普及を行う。	地域医療センター	
				R7	参加者数	600					実施内容: 評価:					
7	健康に関するイベントや教室	健康増進課	事業名:骨の健康度測定会 実施内容:骨の健康度の測定と専門職(管理栄養士または保健師)による測定結果の解説と骨粗しょう症予防のための講話を実施する。	R5	延べ参加者数	96	87	91	4	有	実施内容:骨ウェーブ(手首)を用いた測定と結果説明、骨の健康を保つための講話を実施した。 評価:食事・運動・日光浴等、測定会に参加して取り組みたい改善ポイントが見つかったとの声が多く、日常生活を見直す機会を提供することができた。	4	8	参加者の更なる行動変容を促すために、現在の測定メインの教室から講話メインの教室を企画・実施していく。	保健所	
				R6	延べ参加者数	100	115	100	4	有	実施内容:骨ウェーブ(手首)を用いた測定会、管理栄養士と保健師による骨の健康を保つための講話を実施した。 評価:アンケート結果より、自身で取り組みたい食事や運動などの改善ポイントが見つかった方が91%であり、生活習慣を見直すきっかけを提供することができた。	4	8	参加者の更なる行動変容を促すために、専門職から具体的な対策についての講話を企画・実施していく。	保健所	
				R7	延べ参加者数	110					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
8	健康に関するイベントや教室	健康増進課	事業名:高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施(ポピュレーションアプローチ) 実施内容:「高齢者のいきいき健康教室」を13圏域でそれぞれ1回ずつと通いの場からの依頼により実施する。保健師・管理栄養士・健康運動指導士・歯科衛生士によるフレイル予防や高齢者の健康に関する健康講話や運動、各職種による健康相談、測定を実施する。	R5	実施回数	18	23	100	4	有	実施内容:保健師・管理栄養士・健康運動指導士・歯科衛生士による「高齢者のいきいき健康教室」を市内13圏域でそれぞれ1回ずつ実施。さらに、地域サロン等通いの場からの依頼による健康教室を実施。 評価:市民活動サポートセンター等への事業周知を行い、地域サロン等からの依頼が10件となり、フレイル予防を広く普及啓発することができた。	4	8	より多くの市民にフレイル予防を普及啓発するため、13圏域でそれぞれ1回開催することに加え、市役所本庁舎での開催を1回増やし、商業施設での開催も実施していく。	市内13圏域の公共施設 市内商業施設(そよら湘南茅ヶ崎) 地域サロン等の活動場所	
				R6	実施回数	25	27	100	4	有	実施内容:保健師・管理栄養士・健康運動指導士・歯科衛生士による「高齢者のいきいき健康教室」を市内13圏域で実施すると共に、市内商業施設で「健康長寿のための講話と測定会」を開催した。さらに、食生活に課題を抱えている高齢者がいることを鑑み、高齢者向け「食生活見直しセミナー」を開催した。それに加え、地域サロン等通いの場からの依頼による健康教室を実施。 評価:75歳以上の市民に通知するがん検診等の受診券に事業の案内チラシを同封することで、13圏域で開催する事業への参加者数も向上した。さらに、13圏域で各1回ずつ開催することに加え茅ヶ崎地区(市役所本庁舎)での開催を1回増やしたことや、商業施設で「健康長寿のための講話と測定会」を開催、高齢者向け「食生活見直しセミナー」を開催することで、実施回数が向上した。地区社会福祉協議会や茅ヶ崎市民活動サポートセンターへ事業説明を行ったことにより、地域サロン等の既存の高齢者の通いの場からの依頼件数が向上した。	4	8	各種検診の受診券に事業の案内チラシを同封することや地区社会福祉協議会等への事業説明を継続していく。高齢者の健康づくりをより推進することのできる内容を検討していく。	市内13圏域の公共施設 市内商業施設(そよら湘南茅ヶ崎) 地域サロン等の活動場所	
				R7	実施回数	25					実施内容: 評価:					
9	健康に関するイベントや教室	健康増進課	事業名:糖尿病予防イベント 実施内容:糖尿病予防に関する講演会等を実施する。	R5	参加者数	50	49	98	4	有	実施内容:茅ヶ崎市立病院と共催で講演会、血糖値測定、健康相談などを実施した。 評価:各専門職(医師、歯科口腔外科医・歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士、薬剤師)から糖尿病予防に関する講演を聞くことができ、参加者の満足度が高かった。	4	8	イベント周知に合わせて、その他期間でも糖尿病予防に関する周知を実施していく。	市役所	
				R6	参加者数	50	50	100	4	有	実施内容:茅ヶ崎市立病院、保険年金課と連携し、各医療専門職による講演会(医師、歯科口腔外科医・歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士)、血糖測定、健康相談などを実施した。 評価:各専門職からの講演により、糖尿病の理解を深める機会を提供できた。医師等による個別相談により、日頃の疑問を解消する機会を提供できた。	4	8	3課での事前打合せ等を密に行い、講演内容の更なる充実を目指していく。	市役所	
				R7	参加者数	50					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
—	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名: スキンケア、メイク講座 実施内容: 花王との連携事業として、南湖公民館をメイン会場として小和田公民館はZOOM参加	R5	参加者数	10	0	0	—	無	実施内容: 評価:	—	—			変更(ZOOMでの実施では伝わりにくい内容であったため、テーマを変更した(通し番号10: おでかけ応援フレイル頻尿予防講座))
				R6	実施予定なし						実施内容: 評価:					削除(他事業実施のため)
				R7	他事業開催のため実施なし	0					実施内容: 評価:					
10	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名: おでかけ応援フレイル頻尿予防講座(スキンケア、メイク講座から変更) 実施内容: 花王との連携事業として、南湖公民館をメイン会場として小和田公民館はZOOM参加	R5	参加者数	20	6	30	1	有	実施内容: 頻尿、尿漏れの原因と自分でできる予防体操、いざというときの尿もれパッドの使い方 評価: 小和田公民館では、4月にも開催し、体操を実践した方から効果があったとの声もいただいた。	3	4	ZOOMでの5館連携に合わせた講座内容とすることが難しいため、来年度以降はテーマを変えて実施予定。	小和田公民館	
				R6	実施予定なし						実施内容: 評価:					削除(他事業実施のため)
				R7	他事業実施のため実施なし	0					実施内容: 評価:					
11	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名: 健康ハイキング 実施内容: 歩く楽しさとマナーを学び、ウォーキングで健康増進を図る	R5	参加者数	15	18	100	4	有	実施内容: 鎌倉の3大緑地を巡るハイキング 評価: 鎌倉の穴場的な緑地を歩くことで、参加者が今後の生活でも活用できるコースを紹介し健康づくりにつながる取組ができた。	4	8	希望者が多く定員を増やして実施、一部参加者にはアップダウンきつく、途中リタイアも出たため、予めコースの歩数だけでなくアップダウンについても情報提供をしていく必要がある。	鎌倉	
				R6	参加者数	15	12	80	3	有	実施内容: 海老名駅に集合し、遺跡も含めて周辺を散策した。 評価: 他市について知れて楽しかった、いい運動になったなどの感想があった。 普段あまりわざわざ行かない場所を選んだことで、参加者の満足度の高い講座となった。	3	6	定員に満たなかったため、引き続き積極的な広報をします。	海老名	
				R7	参加人数	15					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
12	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名:尿意切迫・頻尿の悩み改善と予防講座 実施内容:花王との連携事業として実施、尿漏れの原因、予防改善の体操、対処方法など	R5	参加者数	20	28	100	4	有	実施内容:尿漏れの原因と種類、予防の体操、対策として尿もれパッドの使い方など。 評価:定員を増やして実施、アンケートでも約8割の方が生活に取り入れてみたいことがあったと回答。	4	8		小和田公民館	
				R6	実施予定なし						実施内容: 評価:					削除(他事業実施のため)
				R7	他事業開催のため実施なし	0					実施内容: 評価:					
13	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名:元気アップ体操 実施内容:楽しい体操で健康増進を図る。年11回開催	R5	延べ参加者数	200	220	100	4	無	実施内容:5月から月1回、年11回実施、筋トレと音楽に合わせた体操を隔月で実施。 評価:申し込み無し、定員30名としたところ雨の日以外は20名以上の参加があった。コロナで外出が減っていたため体操教室の再開を待っていたという方が多い。	4	8	6年度は12回の開催としたい。	小和田公民館	
				R6	延べ参加者数	220	182	83	3	無	実施内容:4月から月1回、年12回実施、筋トレと音楽に合わせた体操を隔月で実施。 評価:固定化された参加者により一定数参加はあった。	3	6	新規参加者の開拓が課題である。広報の方法を検討します。	小和田公民館	
				R7	延べ参加者数	220					実施内容: 評価:					
14	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名:安全に家庭介護 実施内容:腰を痛めない安全な介護を学ぶ	R5	参加者数	15	19	100	4	有	実施内容:介護事業者を講師に実際にベッドを使用して、体位の交換、立ち上がりや、車いすへの異動など、介護者に負担の無い動きについて指導。 評価:参加者の満足度は80%以上、介護を実際にしている方が多いが、これからのための受講も促したい。	4	8	女性が9割、介護実施者が多いため、男性にも参加いただくよう工夫したい。	小和田公民館	
				R6	参加者数	15	0	0	1	無	実施内容: 評価:	1	2	中止		中止(他事業実施のため)
				R7	他事業実施のため予定なし	0					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
15	健康に関するイベントや教室	小和田公民館	事業名:脳トレコグニサイズ 実施内容:認知症予防や改善に効果のあるといわれるコグニサイズを学ぶ	R5	参加者数	20	0	0	1	無	実施内容: 評価:	1	2			中止(講師都合のため)
				R6	実施予定なし						実施内容: 評価:					削除(講師を確保できなかったため)
				R7	講師の確保が難しいため実施なし	0					実施内容: 評価:					
16	健康に関するイベントや教室	鶴嶺公民館	事業名:簡単エクササイズ講座 実施内容:シニアを対象に、老化防止(アンチエイジング)を目的とした運動や、肩こりや腰痛を予防する運動など、継続しやすいトレーニングやエクササイズを学ぶ講座を実施する。	R5	実施回数	2	1	50	2	有	実施内容:シニアを対象に、老化防止(アンチエイジング)を目的とした運動や、肩こりや腰痛を予防する運動など、継続しやすいトレーニングやエクササイズを学ぶ講座を4週連続で実施した。 評価:アンケートの「これからも自分の体の状態を自覚し運動を続けていきますか」という問いに対し、全員が「続ける」「できるだけ続ける」と回答し、シニアがフレイル予防に取り組める実践的な講座を実施することができた。	3	5	今後も、シニアの実践的な運動習慣の習得に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	実施回数減少の理由(講師の都合)
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:シニアを対象に、老化防止(アンチエイジング)を目的とした運動や、肩こりや腰痛を予防する運動など、継続しやすいトレーニングやエクササイズを学ぶ講座を3週連続で実施した。 評価:アンケートの「これからも自分の体の状態を自覚し運動を続けていきますか」という問いに対し、全員が「これからも続ける」「続けるよう努力する」と回答し、シニアがフレイル予防に取り組める実践的な講座を実施することができた。	4	8	今後も、シニアの実践的な運動習慣の習得に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					
17	健康に関するイベントや教室	鶴嶺公民館	事業名:肩こり・腰痛予防改善講座 実施内容:生活習慣の改善を目的に、肩こり・腰痛のメカニズムを知り、実際に身体を動かしてセルフケアのポイントを知る講座を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:生活習慣の改善を目的に、肩こり・腰痛のメカニズムを知り、実際に身体を動かしてセルフケアのポイントを知る講座を実施した。 評価:「不調なところは無理せず行うことが出来て良かったです。身体の一部は色々な所に通っていることが分かりました。」などの意見をいただき、自身の身体と向き合い、生活習慣による不調を予防する講座を実施することができた。	4	8	今後も、生活習慣の改善・予防に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:生活習慣の改善を目的に、腰痛・肩こり・腰痛のメカニズムを知り、実際に身体を動かしてセルフケアのポイントを知る講座を実施した。昨年実施後のニーズを踏まえ、腰痛についても内容に盛り込んだ。 評価:「家で続けていきたい」などの意見をいただき、自身の身体と向き合い、生活習慣による不調を予防する講座を実施することができた。	4	8	今後も、生活習慣の改善・予防に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

【施策1】【一次予防】生活習慣の改善、心身機能の維持・向上

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
18	健康に関するイベントや教室	鶴嶺公民館	事業名:体幹を鍛えるピラティス講座 実施内容:コロナ禍の運動不足解消を目的に、ピラティスの基本動作や、インナーマッスルを鍛え、姿勢の改善する動作を習得する講座を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:運動不足解消を目的に、ピラティスの基本動作や、インナーマッスルを鍛え、姿勢の改善する動作を習得する講座を実施した。 評価:「楽しくできたので、自宅で続けたい。」などの意見をいただき、運動習慣の契機となる講座を実施することができた。	4	8	今後も、運動不足解消に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:運動不足解消を目的に、ピラティスの基本動作や、インナーマッスルを鍛え、姿勢の改善する動作を習得する講座を実施した。 評価:「普段、全く運動をしていないので、とてもためになりました。」などの意見をいただき、運動習慣の契機となる講座を実施することができた。	4	8	今後も、運動不足解消に関する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					
19	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:演歌ビクス 実施内容:演歌のリズムに合わせて軽いエアロビクスを行う。	R5	実施回数	1	2	100	4	有	実施内容:高齢者を対象に演歌のリズムに合わせて軽いエアロビクス運動を行う。 評価:リズムに合わせての声出しもOKな内容であったため、参加者の評価が高かった。	4	8	内容に変化を持たせながら、引き続き開催予定。	松林公民館	
				R6	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:高齢者を対象に演歌のリズムに合わせて、軽いエアロビクス運動を行う。 評価:高齢者に合わせた内容であったため評価が高かった。	4	8	内容に変化をもたせるようにする。	松林公民館	
				R7	実施回数	2					実施内容: 評価:					
20	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:親子で体操 実施内容:親子でエアロビクス体操を行う。	R5	実施回数	1	0	0	1		実施内容: 評価:	1	2		松林公民館	中止(予定していた講師の都合がつかず、開催条件にある会場が確保できないことにより、開催継続は難しいと判断)
				R6	実施なし						実施内容: 評価:					削除(開催事業に選定されなかったため)
				R7	選定されなかったため実施なし	0					実施内容: 評価:					
21	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:シニアのためのチェアヨガ 実施内容:椅子に座ったまま無理のないヨガ運動を行う。	R5	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:椅子に座ったまま、自分の呼吸で自分の身体と向き合い、無理のないヨガを体験する。 評価:サークル化の話が出るくらい評価が高かった。	4	8	連日の猛暑続きだったため、開催時期の精査が必要。	松林公民館	
				R6	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:椅子に座ったまま、自分の呼吸で自分の身体と向き合い、無理のないヨガを体験する。 評価:定員を超える申し込みがあり、非常に人気の講座である。	4	8	6月開催でも非常に暑かったため、もう少し涼しい時期に移行予定。	松林公民館	
				R7	講師の都合により実施なし	0					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当しない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
22	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:鍼灸師が教える簡単ストレッチ 実施内容:中医学に基づき、鍼灸師によるストレッチを学ぶ。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:中医学に基づき、鍼灸師によるツボ押し、血行を良くするストレッチを学んだ。 評価:慢性的な不調をそのままにすることなく、自分の身体に向き合い、健康意識を高めることが出来た。	4	8	簡単なストレッチなので、講師と内容を精査していく。	松林公民館	
				R6	実施回数	1	0	0	1	無	実施内容: 評価:	1	2	中止		中止(講師の都合のため)
				R7	選定されなかったため実施なし	0					実施内容: 評価:					
23	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:健康ハイキング 実施内容:協力団体のガイドによる、山等へのハイキングを行う。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:森林の澄んだ空気や、美しい眺めを堪能し、歩くことで有酸素運動による健康作りを行った。 評価:歩く楽しさを感じながら、有酸素運動による運動不足解消につながった。	4	8	天候の影響を受けるため、開催時期等の精査が必要。	秦野市 震生湖周辺	
				R6	実施なし						実施内容: 評価:					削除(開催事業に選定されなかったため)
				R7	選定されなかったため実施なし	0					実施内容: 評価:					
24	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:健康講座 実施内容:シニア世代に特化した健康講話。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:睡眠と健康についての正しい知識を学び、各種健康測定機器を体験して自分の健康状態を知ることが出来た。 評価:健康チェックで自分の状態を知ることにより、生活習慣病等の予防につながった。	4	8	血管年齢測定に時間がかかり、講演時間が短くなってしまった。	松林公民館	
				R6	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:乳がん、骨密度、血管年齢について学ぶ 評価:参加者の多くが大変興味を示され、質問も多数行われ、大変好評であった。	4	8	内容が重ならないように講座内容の検討が必要	松林公民館	
				R7	実施予定	1					実施内容: 評価:					
25	健康に関するイベントや教室	松林公民館	事業名:親子パフォーマンスアップ準備運動講座 実施内容:元トライアスロン選手に学ぶ親子での運動講座。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:運動のパフォーマンスを向上させ、怪我をしないようにするための準備運動を学ぶ。 評価:運動が苦手な子どもでも、楽しんでスポーツが出来るよう、親子で正しいストレッチを学んだ。	4	8	バランスゲームをするにあたり、部屋が少し狭かった。	松林公民館	
				R6	実施回数	1	0	0	1	無	実施内容: 評価:	1	2	中止		中止(講師の都合のため)
				R7	選定されなかったため実施なし	0					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
26	健康に関するイベントや教室	香川公民館	事業名:かがわ健康ウォーク 実施内容:ウォーキングの楽しさを知り健康増進を図る。	R5	実施回数	3	3	100	4	有	実施内容:市内の文化人の軌跡をたどる街歩き(2回)と市外でスケッチを目的とした街歩き(1回) 評価:ウォーキングの楽しさを知り健康増進を図るとともに市内の文化に触れることができた。	4	8	延期が難しい事業のため、雨天時などの中止の有無など判断に迷うことがある。	香川公民館	
				R6	実施回数	3	2	67	2	有	実施内容:身近な運動として歩くことを習慣化できるきっかけをつくるため、ゆかりの地を散策する。 評価:文化や歴史を学びながら運動不足の解消を図り、健康意識の向上につながった。	4	6	歴史や文化の知識を深めるために次年度は座学を取り入れることを検討する。	松下政経塾周辺、汐見台、小田原市	今回は座学を実施しなかったため、実施回数が2回となった。
				R7	実施回数	3					実施内容: 評価:					
27	健康に関するイベントや教室	香川公民館	事業名:シニアのための保健体育 実施内容:高齢者の健康づくりと交流、高齢者支援リーダーの活躍の場。	R5	実施回数	10	10	100	4	有	実施内容:高齢者の健康づくりと交流の場の提供 評価:体操を通じて、高齢者の健康づくりを行い、また、交流の場として実施ができた。	4	8	リピーターが多く参加いただいているが、毎回の参加人数が限られているため、需要に対してどこまで対応できるかが課題となる。	香川公民館	
				R6	実施回数	10	10	100	4	有	実施内容:高齢者の健康づくりと交流の場の提供 評価:体操を含む体を動かす運動を行い、高齢者の健康づくり推進や交流の場とすることができた。	4	8	毎回参加者がほぼ変わらないため、新規の参加者が少ない。募集の方法や周知の方法を検討が必要。	香川公民館	
				R7	実施回数	10					実施内容: 評価:					
28	健康に関するイベントや教室	香川公民館	事業名:くらしの中の血流改善講座(5館連携) 実施内容:健康、衛生等分野における課題解決にむけた講座。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:血流改善が健康に及ぼす影響について学ぶ。 評価:血流改善の重要性を学んだ。	4	8	公民館5館をつないでの講座であったが、Wi-Fi環境がよくなく、通信が不安定となり、サテライト会場で一部講座が見れないことがあった。通信機器の確認を徹底する。	香川公民館	
				R6	実施予定なし						実施内容: 評価:					削除(毎年実施内容を変更するため)
				R7	実施予定なし	0					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
29	健康に関するイベントや教室	体験学習センター	事業名：歩き方教室 実施内容：姿勢・歩き方の基本を学び健康寿命を延ばすことを目的に講座を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：シニアの方々が美しい姿勢や正しい歩き方を日常生活に取り入れることにより、身体に必要な筋力や持久力がつきアンチエイジング効果が得られ、健康寿命を延ばすことが期待できる内容で、講習前と後にビデオ撮影し自分のスタイルを確認できる講座スタイルで実施した。 評価：「事前、事後の違いを実感できてとても満足」と多くの参加者からの意見があり、成果は上がった。	4	8	講師が受講生の質問を一人ずつ丁寧に受けてくださったため、時間がかなり10分程延長してしまっ。質問時間を早めに切り上げていただき終了後、個別に受けていただくなどお願いすれば良かったと思う。	体験学習センター	
				R6												施設の指定管理制度導入のため実施なし
				R7												
30	健康に関するイベントや教室	体験学習センター	事業名：3B体操教室 実施内容：気軽に楽しめる「3B体操」を体験することで、身体能力の向上や健康意識を高めることを目的に講座を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：体力的、身体的に不安を抱えている方もいたが、各自のペースで無理なく行うことができ、途中で体調不良を訴えることもなく無事に終了した。 評価：これを機に本格的に始めてみたい、また有意義な時間だったと意見が多く主体的な継続性が見込まれ成果は高かった。	4	8	シニアの方が対象なので、スローペースでまめに休憩を取り水分補給しながら実施したが、2時間が長いと感じる方もいたので、体験と称するのであれば1時間位の方が気軽に参加でき妥当であったと思う。	体験学習センター	
				R6												施設の指定管理制度導入のため実施なし
				R7												
31	健康に関する普及啓発(学校教育などを含む)	保健企画課	事業名：禁煙サポート事業 実施内容：喫煙の健康影響について考えるきっかけづくりとして、相手の求めに応じて喫煙防止教育を行う。	R5	-	-	-	-	-	無	実施内容：健康教育開催の依頼は無かった。 評価：禁煙教育に対するニーズが低下しているため、今後も事業手法の検討が必要。	-	-	健康教育の依頼が到達した場合は実施できるような体制を継続していく。		指標ないため、評価なし
				R6	依頼に対する実施率	100	0	0	1	無	実施内容：健康教育開催の依頼はなかった。 評価：禁煙教育に対するニーズが低下しているため、開催依頼がなかった。	1	2	令和5年度「国民健康・栄養調査」の結果から、現在習慣的に喫煙している者の割合は15.7%であり、この10年間で男女ともに有意に減少している。このことから、事業の継続についてを検討する時期に来ている。		全国的な喫煙者の減少から一定の教育効果はあったとして、令和7年度以降の事業実施は見合わせる。
				R7												

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
32	健康に関する普及啓発 (学校教育 などを含む)	地域保健課	事業名:栄養表示等普及啓 発及び活用推進事業 実施内容:消費者に対し栄養 成分表示の活用推進を実施 する。	R5	指導リーフ レット配架部 数	270	270	100	4	無	実施内容:消費者に対し栄養成分表示の活用推進を 実施した。 評価:活用推進のリーフレットについて新たに他の テーマの物2種類(①たべすぎた②どれにしようかな) を作成し、過去に作成した物と共に配布することで普 及啓発をした。また、リーフレットについては、ホーム ページにも掲載があり、必要に応じてダウンロードで できるようにした。	4	8	現在の配架場所は市政情報コーナ ーのみのため、公民館等へ配架場所拡 大をするともに、実地調査時には事 業所へ配付し、更なる活用推進を図 る。	市政情報コーナー	
				R6	指導リーフ レット配架部 数	420	676	100	4	無	実施内容:消費者に対し栄養成分表示の活用推進を 実施した。 評価:配架場所を増やし、より多くの市民がリーフレ ットを目にする機会を作った。6種類のリーフレットを配 架することでそれぞれの興味に合わせた内容で栄養 成分表示の活用の普及啓発ができるようにした。ま た、市民を対象とした栄養成分表示の活用の講話も 実施できた。リーフレットについては、ホームページに も掲載があり、必要に応じてダウンロードできるように した。	4	8	リーフレットの配架に加え、講話依頼時 にも内容によっては栄養成分表示の活 用も絡めた話をし、より広く普及啓発を 図る。また、必要に応じて、実地調査時 に事業所等へ配付し、更なる活用推進 を図る。	市政情報コーナー 公民館5施設(小和田、鶴 橋、松林、南湖、香川) 市体育館 男女共同参画推進セン ターいごりあ	
				R7	指導リーフ レット配架部 数	420					実施内容: 評価:					
33	健康に関する普及啓発 (学校教育 などを含む)	保健予防課	事業名:自殺対策推進事業 実施内容:自死(自殺)に対 する偏見や誤解をなくし、正 しい理解を深めることを目的 に、キャンペーンなどを実施 する。	R5	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:市民ふれあいプラザにおける自殺対策の 展示、市民祭りにおける普及啓発 評価:令和5年9月ティッシュ付き普及啓発物品を約3 00部配布できたため一定の普及啓発はできたと考え る。	4	8	展示の他、講演会などを実施し、幅広 い世代に向けて普及啓発を実施してい く。	市役所	
				R6	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:9月「自殺予防週間」、3月「自殺対策強化 月間」では、市のホームページ、本庁舎1階のデジ タルサイネージ、SNS配信を活用して、自殺への誤解や 偏見を無くすため、正しい知識の普及啓発を行った。 評価:本庁舎1階のデジタルサイネージ、SNS配信に より幅広い世代に普及啓発ができた。	4	8	展示の他、講演会などを実施し、幅広 い世代に向けて普及啓発を実施してい く。	市役所	
				R7	実施回数	2					実施内容: 評価:					
34	健康に関する普及啓発 (学校教育 などを含む)	健康増進課	事業名:健康増進普及月間 の啓発 実施内容:展示やホーム ページ、広報紙等を活用し、 健康増進に関する普及啓発 を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容:健康増進に関するポスター展示及び資料 を配架した。 評価:運動、睡眠、生活習慣病などさまざまなテーマ を扱うことができた。9月は食生活改善普及運動月間 でもあるため、食事に関するポスターも合わせて展示 し、健康増進を図ることができた。	4	8	今後もさまざまな媒体を用いて啓発し、 目を引くような媒体を作成し、周知す る。	市役所	
				R6	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容:健康増進に関するポスター展示及び資料 を配架した。 評価:運動、睡眠、生活習慣病、禁煙、食生活改善な どさまざまなテーマを扱うことができた。ガイドライン の公表に伴い、新たなポスターを作成し、新しい情報 を周知することができた。	4	8	今後もさまざまな媒体を用いた啓発し、 目を引くようなポスター等を作成し、周 知する。	市役所	
				R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
35	健康に関する普及啓発 (学校教育 などを含む)	健康増進課	事業名:健康に関する普及 啓発(項目:熱中症、女性の 健康、休養/心、禁煙、糖尿 病) 実施内容:各項目において展 示やサインージ等を活用し、 普及啓発を実施する。	R5	実施項目数	5	5	100	4	無	実施内容:女性の健康、休養/心、禁煙、糖尿病につ いて、展示を実施した。熱中症は、予防の啓発、職員 向け熱中症対策研修を実施した。 評価:ポスター展示と合わせて、資料を配架し、健康 情報を持ち帰ることができるようにした。協定を締結し ている大塚製薬株式会社と連携し、熱中症予防に関 する啓発、研修を実施できた。	4	8	熱中症対策研修については、市民、地 域で活動されている方、施設管理関係 者などを主な対象とし、更なる熱中症対 策・対応の知識定着を目指す。	市役所 地域医療センター	
				R6	実施項目数	5	5	100	4	無	実施内容:女性の健康、休養/心、禁煙、糖尿病につ いて、展示を実施した。熱中症は、予防の啓発、市 民、地域で活動されている方、施設管理関係者など 向けに熱中症対策研修を実施した。女性の健康週間 では、更年期をテーマとしたセミナー、血圧測定・健康 相談会を実施した。 評価:ポスター展示と合わせて、資料を配架し、健康 情報を持ち帰ることができるようにした。協定を締結し ている大塚製薬株式会社と第一生命保険株式会社と 連携し、普及啓発を実施できた。	4	8	熱中症対策研修については、一般市民 を対象とする。また、前年度の研修受 講者を対象に熱中症対策スキルアップ 講座を開催し、スキル維持、活動を支 援し更なる熱中症対策の普及啓発を目 指す。	市役所	
				R7	実施項目数	5					実施内容: 評価:					
36	健康に関する普及啓発 (学校教育 などを含む)	学校教育指 導課	事業名:生活習慣の改善に 向けた取組 実施内容:「生きる力を育む 健康教育～早寝早起き朝こ はん～」というスローガンを掲 げ、「毎日朝食を食べる子10 0%」を目指した取組を推進 する。	R5	実施学校数	32	32	100	4	無	実施内容:「早寝早起き朝ごはんアンケート調査」対 象児童・生徒(小学校4年生・中学2年生) 評価:アンケートでは、朝食の喫食率や食事の内容に ついて状況を把握し、各家庭で「食」におけるコミュニ ケーションのきっかけになる資料を各家庭に配布し た。	3	7	Googleフォームを活用して、アンケート 調査を行う。学校に負担をかけないよ うな日程で調整する。	市立小学校19校 市立中学校13校	
				R6	実施学校数	32	32	100	4	無	実施内容:「早寝早起き朝ごはんアンケート調査」対 象児童・生徒(小学4年生・中学2年生) 評価:アンケートでは、朝食の喫食率や食事の内容に ついて状況を把握し、各家庭で「食」におけるコミュニ ケーションのきっかけになる資料を各家庭に配布し た。	3	7	Googleフォームを活用して、アンケート 調査を行うとともに、学校に負担をかけ ないような日程で調整する。	市立小学校19校 市立中学校13校	
				R7	実施学校数	32					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
37	健康に関する相談体制の充実	地域保健課	事業名：専門的栄養指導・食生活支援事業 実施内容：各種疾病に伴う個別食生活相談及び訪問食生活相談を実施する。	R5	実施件数	10	7	70	3	無	実施内容：各種疾病に伴う個別食生活相談を実施した。各種疾病に伴う個別食生活相談について、電話及び対面で実施した。訪問食生活相談については令和5年度は、依頼がなかった。 評価：個別の食生活相談を実施することで、相談者の食生活支援を行うことが出来た。	4	7	生活習慣病についての相談以外にも、歯科の食事相談や保健予防課（バーキンソン等）から相談依頼があるため、他職種連携の上、取り組む。また、より専門性の高い相談に備え栄養士間で相談内容を共有することや個々の準備を行う。	保健所	
				R6	実施件数	10	4	40	1	無	実施内容：各種疾病に伴う個別食生活相談を実施した。各種疾病に伴う個別食生活相談について、電話及び対面で実施した。訪問食生活相談については令和6年度は、依頼がなかった。 評価：個別の食生活相談を実施することで、相談者の食生活支援を行うことが出来た。	4	5	生活習慣病についての相談以外にも、歯科の食事相談や保健予防課（バーキンソン等）から相談依頼があるため、他職種と連携し取り組む。また、より専門性の高い相談に備え栄養士間で相談内容を共有することや個々の準備を行う。	保健所	
				R7	実施件数	10					実施内容： 評価：					
38	健康に関する相談体制の充実	保健予防課	事業名：酒害相談員によるアルコール個別相談 実施内容：アルコール問題を抱える本人及び家族が早期に支援機関につながり、アルコール依存に対する知識、理解を深め、正しい対応について学ぶことを目的として酒害相談員による個別相談を実施する。	R5	個別相談件数	12	5	42	1	無	実施内容：酒害相談員によりアルコール問題を抱える本人及び家族の個別相談を実施した。 評価：アルコール問題を抱える本人及び家族に対して、アルコール依存症に関する知識、家族としての正しい接し方、対応方法を伝え、個別相談を実施できたと考える。	2	3	周知方法を工夫して、更に対象者に相談の機会を周知できるよう、改善する。	保健所	
				R6	個別相談件数	12	10	83	3	無	実施内容：酒害相談員によりアルコール問題を抱える本人及び家族の個別相談を実施した。また、「アルコール問題啓発週間」について、今年度初めてSNS媒体を活用し個別相談の周知を行った。 評価：個々の状況に応じて臨時相談で対応を行い、相談日まで待たせず必要な支援を家族等に提供できた。	4	7	特になし。	保健所	
				R7	事業周知件数	6					実施内容： 評価：					
39	健康に関する相談体制の充実	保健予防課	事業名：こころの健康相談 実施内容：こころの健康に関して相談に応じ、相談体制の充実を図る。	R5	相談件数	1000	871	87.1	3	無	実施内容：精神科医師によるこころの健康相談について、広報ちがさきに記事を掲載、相談の機会を広く周知し実施した。 評価：精神保健福祉士、保健師で相談者個々に応じた相談対応を行うことが出来たと考える。	3	6	周知方法や時期を工夫して、更に幅広い対象者に相談の機会を周知できるよう、改善する。	保健所	
				R6	相談件数	1000	1019	100	4	無	実施内容：精神科医師によるこころの健康相談について、広報ちがさきに記事を掲載し、相談の機会を広く周知し実施した。また、今年度は、メール、SNSを活用した周知も行った。 評価：医師、精神保健福祉士、保健師で相談者個々に応じた相談対応を行うことが出来たと考える。	4	8	特になし。	保健所	
				R7	事業周知件数	12					実施内容： 評価：					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
40	健康に関する相談体制 の充実	保健予防課	事業名:包括相談会 実施内容:自死(自殺)は 様々な問題を抱えた末に起 こることを踏まえ、多職種連 携による相談会を行う。	R5	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容:3月13日に「こころとくらしの相談会」と称し て、当保健所管内住民の様々な困りごと、悩みごとに関 する相談を「相談員による相談」と「精神科医師に よる相談」で対応した。 評価:参加者2名に対して、「相談員による相談」と「精 神科医師による相談」をそれぞれ実施し、個々の悩 みに応じた相談対応ができたと考ええる。	3	7	周知方法や時期を工夫して、更に幅広い 対象者に相談の機会を周知できるよう 、改善する。	保健所	
				R6	実施回数	1	2	100	4	有	実施内容:様々な困りごと、悩みごとを抱える方に対 して、多職種の専門相談員が相談を行い、必要に応 じて適切な支援に繋げる相談会を2回実施した。(神 奈川県主催、本市共催で1回。本市主催で1回) 評価:相談者の困りごとに応じた相談員を配置するこ とができ、適切な相談対応を多職種で行う事ができ た。	4	8	特になし。	茅ヶ崎市地域医療セン ター、保健所	
				R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					
41	健康に関する相談体制 の充実	保健予防課	事業名:難病相談会 実施内容:難病患者や家族 に対して療養に関する相談 会を行う。	R5	実施回数	1	7	100	4	無	実施内容:茅ヶ崎市:7月10日～7月14日、7月18 日(6日間)9:00～16:00。集中更新と合わせて、 希望のある方や困っていることや不安のある方を対 象に、保健師が面接を実施した。 評価:難病相談については、6日間で51名の相談を 保健師が伺った。昨年度よりも相談件数は少なかつ たが、1名あたり30分程度の時間をかけて相談を伺 うことが多く、相談のニーズがある方については、全 員お話しを聞くことができた。実際に疾患や治療、生 活習慣、食事のこと、災害時のこと、サービス利用に ついて等、様々なご相談があり、必要時健康指導や 助言を行った。今年度も更新の申請時に質問票の記 載をしていただき、困りごとがないかを伺っているた め、相談につながりやすくなったと考ええる。継続的に 支援が必要な方については情報共有を行い、支援を 継続していく予定である。	3	7	今後も、多くの方が来所する機会であ る集中更新と同時に開催していく。ま た、質問票を活用し、不安のある方 に対しては、面接を実施していく。	保健所	
				R6	実施回数	7	7	100	4	無	実施内容:7月8日～7月12日、7月16日、7月18日 (7日間)。集中更新と合わせて、質問票を活用し、希 望のある方や困っていることや不安のある方を対象 に、保健師が面接を実施した。 評価:難病相談会では、7日間で保健師が46名の方 の面接を実施した。相談は1名あたり30分程度の時 間をかけることが多く、相談のニーズのある方につ いては、相談を受けることができた。実際に、「疾患 や治療」、「生活習慣」、「食事のこと」、「災害のこ と」、「サービス利用のこと」、「経済的な問題」など、 様々なご相談があり、必要に応じて、健康指導や助 言、関係機関の紹介などを行った。	4	8	今後も、多くの方が来所する機会とな る「特定医療費(指定難病)受給者証」の 集中更新時に難病相談会を開催してい く。質問票で「困っていること」や「心配 なこと」がある場合に、保健師の面接に つながるよう質問票の見直しを行って いく。	保健所、寒川町役場	
				R7	実施回数	7					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
42	健康に関する相談体制の充実	健康増進課	事業名:禁煙サポート 実施内容:禁煙希望者に対し、個別面接と呼気中一酸化炭素濃度測定、その後約3か月間禁煙指導を実施する。	R5	事業周知回数	1	1	100	4	無	実施内容:広報紙(6月1日号)にて事業の周知を実施した。 評価:広報紙を活用した周知が実施できた。	4	8	相談窓口があることを市民に周知していく。		
				R6	事業周知回数	1	2	100	4	無	実施内容:6月1日号の広報紙による周知及びCOPD教室にて周知を行った。 評価:広報紙を活用して周知したことに加え、COPD教室内でも周知活動を実施できた。	4	8	今後も、禁煙週間に合わせて6月1日号の広報での周知を継続していく。	広報紙、保健所	
				R7	事業周知回数	1					実施内容: 評価:					
43	健康に関する相談体制の充実	健康増進課	事業名:保健衛生相談 実施内容:電話及び面談により、保健師、管理栄養士が生活習慣の改善に向けた個別相談を実施する。	R5	延べ相談者数	50	50	100	4	無	実施内容:保健師、管理栄養士が電話及び来所による健康相談に対応した。 評価:生活習慣病に関する相談等に対応できた。相談者の状況に応じて医療機関の受診を勧めた。	4	8	相談方法が電話の場合、明確に聞き取りを行うことが重要である。対象者の希望に応じて、資料の送付も継続実施していく。	電話、保健所	
				R6	延べ相談者数	50	84	100	4	無	実施内容:保健師、管理栄養士が電話及び来所による健康相談に対応した。手紙での相談にも対応した。 評価:生活習慣病等に関する相談に対応できた。相談者の状況に応じて医療機関の受診を勧めた。	4	8	相談方法が電話の場合、明確に聞き取りを行うことが重要である。対象者の希望に応じて、資料の送付も継続実施していく。また、気軽に相談できる環境づくりを目指して、地域で出張相談を企画する。	電話、保健所	
				R7	延べ相談者数	60					実施内容: 評価:					
44	健康に関する相談体制の充実	健康増進課	事業名:高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施(ハイリスクアプローチ) 実施内容:75歳以上で健診結果より低栄養予防が必要な方と健診未受診等で健康状態不明な方に対し、フレイル、疾病予防、疾病の早期発見のため、それぞれ個別に文書通知と健康相談を実施する。	R5	健康相談実施率	75	84	100	4	有	実施内容:KDBシステムを活用して、低栄養状態または健康状態不明の75歳以上の者を抽出し、電話または対面(訪問、来所)での面談で保健指導を実施する。 評価:低栄養状態の実施率は減少したものの、健康状態不明では訪問での保健指導を取り入れたことで実施率が向上した。	4	8	低栄養状態のアンケートの返信率が減少したことが実施率の減少につながったため、ナッジ理論等を活用した通知内容を検討する。	電話、保健所 対象者の自宅	実施率の算出方法 低栄養状態と健康状態不明の指導実施者数÷各対象者合計
				R6	健康相談実施率	85	88	100	4	有	実施内容:KDBシステムを活用して、低栄養状態または健康状態不明の75歳以上の者を抽出し、電話または対面(訪問、来所)での面談で保健指導を実施する。 評価:各通知にナッジ理論を活用したり保健指導を受けるメリットを記載することで、昨年度と比較して低栄養状態・健康状態不明共に実施率が向上した。	4	8	より多くの対象者に保健指導を実施するため、アンケートの返信率を向上させる対策を講じる必要がある。	電話、保健所 対象者の自宅	実施率の算出方法 低栄養状態と健康状態不明の初回指導実施者数÷各対象者合計
				R7	健康相談実施率	85					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
45	妊娠期～乳 幼児期の健康 管理体制の整備	こども政策 課	事業名：子育て支援センター における食育相談 実施内容：実施内容：市内4 か所の子育て支援センター において、栄養士相談を実施 する	R5	実施回数	24	24	100	4	無	実施内容：市内4カ所の子育て支援センターで栄養 士相談を実施。 評価：離乳食や偏食等に悩んでいる保護者の悩みを 相談できる機会を提供することができ、信頼できる食 の提供に関する情報提供ができた。	4	8	より多くの方が利用できるよう、相談事 業の周知活動に努める。	茅ヶ崎駅北口子育て支援 センター、茅ヶ崎駅南口 子育て支援センター、香 川駅前子育て支援セン ター、浜竹子育て支援セ ンターのびのび	
				R6	実施回数	24	24	100	4	無	実施内容：市内4カ所の子育て支援センターで栄養 士相談を実施。 評価：離乳食や偏食、アレルギーに悩んでいる保護 者が多く、個別に悩み相談できる機会を提供すること ができ、信頼できる食の提供に関する情報提供がで きた。	4	8	より多くの方が利用できるよう、相談 事業の周知活動に努める。 ・2ヶ月に1回行っていた栄養士相談 を、令和7年度以降は月1回行えるよう 相談体制の強化を図る。	茅ヶ崎駅北口子育て支援 センター、茅ヶ崎駅南口 子育て支援センター、香 川駅前子育て支援セン ター、浜竹子育て支援セ ンターのびのび	
				R7	実施回数	48					実施内容： 評価：					
46	妊娠期～乳 幼児期の健康 管理体制の整備	こども育成 相談課	事業名：乳幼児相談事業（乳 幼児健康相談、すくすく7か 月児育児相談、のびのび2 歳児歯と遊びと育児の相談） 実施内容：乳幼児の保健、栄 養、育児の相談を実施する。	R5	参加者数	1550	1725	100	4	無	実施内容：保健師・栄養士・歯科衛生士による乳幼児 の保健、栄養、育児、歯科の相談を実施した。 評価：保護者の不安を軽減し、乳幼児の発達確認を 行うことができた。	4	8	引き続き保護者の不安を軽減し、乳幼 児の発達確認を行うことができるよう取 組んでいく。	保健所	目標値の内訳 (乳幼児健康相談)350人(保健 所実施分) (すくすく7か月育児相談)750人 (のびのび2歳児歯と遊びと育 児の相談)450人 実績値の内訳 (乳幼児健康相談)275人(保健 所実施分) (すくすく7か月育児相談)788人 (のびのび2歳児歯と遊びと育 児の相談)662人
				R6	参加者数	1700	1643	89	4	無	実施内容：保健師・栄養士・歯科衛生士による乳幼児 の保健、栄養、育児、歯科の相談を実施した。 評価：保護者の不安を軽減し、乳幼児の発達確認を 行うことができた。	4	8	開催会場や回数を精査したうえで、引 き続き保護者の不安を軽減・乳幼児の 発達確認を行うことができるよう取り 組んでいく。	保健所	(令和6年度実績の内訳) 乳幼児健康相談(保健所 実施分) 639人 すくすく7か月育児相談 714人 のびのび2歳児歯と遊びと 育児の相談 290人
				R7	参加者数	1700					実施内容： 評価：					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
47	妊娠期～乳 幼児期の健 康管理体制 の整備	こども育成 相談課	事業名:妊産婦健康診査 実施内容:妊産婦健康診査 の費用を助成し、妊産婦の 健康管理の推進を図る。	R5	受診率	90	84	93	4	無	実施内容:妊産婦健康診査費用補助券を交付すること で、健診の費用を助成し、妊産婦の健康管理の推 進を図った。 評価:産婦健康診査費用の助成を開始し、産婦期の 心身の回復状況を確認し、必要時は産後ケア事業等 の支援につなげることができた。	4	8	引き続き妊産婦の健康管理の推進に 取り組んでいく。	実施医療機関	
				R6						実施内容: 評価:						変更(【健増】施策2通し番 号追加2健康診断等の実 施の取組とするため)
				R7						実施内容: 評価:						
48	妊娠期～乳 幼児期の健 康管理体制 の整備	こども育成 相談課	事業名:乳幼児健康診査事 業(4か月児健康診査、10～ 11か月児健康診査、1歳6 か月児健康診査、3歳6か月 児健康診査) 実施内容:乳幼児の身体測 定及び発育・発達の確認等 を行い、必要に応じて保健指 導の実施、精密健診のため の医療機関紹介を行う。	R5	受診率	97	92	95	4	無	実施内容:小児科医師・歯科医師による診察と看護 師による乳幼児の身体測定、保健師や心理士による 発育・発達の確認等を行い、必要に応じて保健指導 の実施、精密健診のための医療機関紹介を行った。 評価:適切な時期に受診していただけるよう勧奨する とともに、乳幼児の身体測定及び発育・発達の確認 等で市内の乳幼児の健康状態を確認することが出来 た。	4	8	引き続き適切な時期に受診していただ けるよう取り組んでいく。	4か月児健康診査、10～ 11か月児健康診査:実 施医療機関 1歳6か月児健康診査、3 歳6か月児健康診査:保 健所	
				R6						実施内容: 評価:						変更(【健増】施策2通し番 号追加3健康診断等の実 施の取組とするため)
				R7						実施内容: 評価:						

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
49	妊娠期～乳 幼児期の健 康管理体制 の整備	こども育成 相談課	事業名：マタニティクッキング 実施内容：母親の健康及び 乳児の健全な発育のための 基本的な栄養知識と調理技 術の普及、調理指導、試食を 実施する。	R5												変更(令和5年度はyoutubeに て妊婦の食生活改善に関する 普及啓発に変更。食育推進計 画施策3、通し番号44:妊婦の 食生活改善に関する普及啓 発)
				R6	実施回数	1	3	100	4	有	実施内容：妊娠期の食生活の改善を目的に、マタニ ティクッキングを年3回開催した。 評価： 妊娠期は体調が不安定であることや、産休に入るま で仕事を続けている妊婦の増加等の理由から参加者 集めに苦慮した。 参加された方からは、改めて食事について考えるい い機会になったと好評を得た。	4	8	実習方式の妊婦への教育には課題が あるが、食生活の普及についてこれか ら生まれてくる子どもの為にも妊娠期か ら行っていくことは重要と考えることか ら、SNSやホームページを活用した妊婦 期の食生活改善の普及啓発は引き続 き行っていく。 また、妊娠期の食事についての悩みは が多様化していることから個別での栄 養相談の普及も併せて行っていく。	男女共同参画センターい こりあ	
				R7	事業変更の ため実施な し	0					実施内容： 評価：					
50	妊娠期～乳 幼児期の健 康管理体制 の整備	小和田公民 館	事業名：こわだ乳幼児健康相 談 実施内容：乳幼児の心身の 健康と育児について保健師、 管理栄養士による相談を実 施(こども育成相談課と共催) 年4回開催	R5	延べ参加者 数	16	10	63	2	無	実施内容：子ども育成相談課保健師、管理栄養士に よる個別相談、身体測定 評価：コロナより予約制となっていたが、今年度途中 から予約なしとしたところ、参加者微増	3	5	更に周知を進める。	小和田公民館	
				R6	延べ参加者 数	16	30	100	4	有	実施内容：子ども育成相談課保健師、管理栄養士に よる個別相談、身体測定 評価：コロナも落ち着き、参加者は増加した。	4	8	担当課と協議し、来年度は小和田公民 館と松沼地区社会福祉協議会共催の 「子育てひろば」に保健師が隔月で参 加する形に変更して開催する。	小和田公民館	
				R7	変更のため 実施なし	0					実施内容： 評価：					
51	妊娠期～乳 幼児期の健 康管理体制 の整備	松林公民館	事業名：乳幼児健康相談 実施内容：保健師や栄養士 による身体計測や育児・栄養 相談を行う。(健康増進課と の共催)	R5	実施回数	1	4	100	4	有	実施内容：保健師及び栄養士により、健康に関する 指導・助言を行う。 評価：各種相談や助言への満足度は高かった。	4	8	参加者が少し少なかったため、来年度 は案内を充実させる。	松林公民館	
				R6	実施回数	4	4	100	4	有	実施内容：保健師及び栄養士により、健康に関する 指導・助言を行う。 評価：各種相談や助言への満足度は高かった。	4	8	参加者が少なかったため、開催案内方 法を改善する。	松林公民館	
				R7	実施回数	1					実施内容： 評価：					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
52	妊娠期～乳 幼児期の健康 管理体制の整備	松林公民館	事業名: Relaxままヨガ 実施内容: 子育て中のママ が、自分の体をリラックスさ せるヨガを学ぶ。	R5	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容: 出産後のお母さんにヨガを通してケアを行 う。 評価: 講座後のアンケートにおいて満足度が100%で あった。新しくサークルを立ち上げることが出来た。	4	8	乳幼児がいても自宅でもできるヨガの実 践ができた。子育て中のママ同士の繋 がりできた。 サークルを立ち上げたが、存続・継続 が課題。伴走支援が必要。	松林公民館	
				R6	実施なし						実施内容: 評価:					削除(令和6年度事業に選 定されなかったため)
				R7	実施回数	2					実施内容: 評価:					
53	妊娠期～乳 幼児期の健康 管理体制の整備	松林公民館	事業名: スマイリングままサ ロン 実施内容: 産後ケアとして、 体操や栄養、ホルモンバランス について学ぶ。	R5	実施回数	3	3	100	4	有	実施内容: 産後ケアとして、栄養学やホルモ ンバランスを学び、産後体操を習得す る。 評価: 栄養学、ホルモンバランス、産後体 操を習得し、満足度も高かった。	4	8	こどもの夏風邪によるお休みが多か ったため、開催時期の精査が必要。	松林公民館	
				R6	実施回数	2	3	100	4	有	実施内容: 産後ケアとして、栄養学やホル モンバランスを学び、産後体操を習得 する。 評価: 栄養学、ホルモンバランス、産後体 操を習得し、満足度も高かった。	4	8	昨年度の課題を踏まえて、開催時期を 秋へと変更した。	松林公民館	
				R7	実施回数	3					実施内容: 評価:					
54	妊娠期～乳 幼児期の健康 管理体制の整備	南湖公民館	事業名: 乳幼児健康相談 実施内容: 保健師・栄養士 が、乳幼児の身体測定や栄養・ 発育発達等、育児相談を行う。 健康増進課との共催事業	R5	実施回数	4	4	100	4	無	実施内容: 保健師及び栄養士が、乳幼児 及び保護者の健康に関する指導及び 助言を行う。 評価: 利用促進のため、年度途中から 予約なしで相談を受けられることに した。	3	7	周知をしつかり行い、参加人数を増 やす。	南湖公民館	
				R6	実施回数	4	4	100	4	無	実施内容: 保健師および栄養士が健康 (育児・栄養相談)に関する指導及び 助言を行った。 評価: 一人ひとりの時間をかけてゆ っくりと対応することができたため、 参加者の心配事や問題を解消する ことができていた。	3	7	参加人数が少ないため、翌年度は乳 幼児向けの他事業・イベント等と同 日開催し、周知する機会を増やして いく。	南湖公民館	
				R7	参加者数 (のべ組数)	20					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点を記入)	評価点 ②				
55	子どもから 高齢者まで の予防接種 の実施	健康増進課	事業名: こども予防接種事業 に係る周知 実施内容: 予防接種を必要 な時期に適切に受けられるよ う予診票の個別送付やホー ムページ等を活用し、周知を 図る。	R5	予診票年間 送付回数	12	12	100	4	無	実施内容: 予診票を年間12回送付するとともに、接 種勧奨ハガキの個別送付やホームページ、こどもの 健康だより等を活用し、周知した。 評価: 国の動向に注視し、対象者が予防接種の機会 を逃してしまうことのないよう、適切な情報を周知する ことができた。	4	8	令和6年度より新たな予防接種が定期 接種化されるため、周知方法及び周知 内容を検討し、わかりやすい情報提供 に努める。	—	
				R6	予診票年間 送付回数	12	12	100	4	無	実施内容: 予診票を年間12回送付するとともに、接 種勧奨ハガキの個別送付やホームページ、こどもの 健康だより等を活用し、周知した。 評価: HPVキャッチアップ接種の最終年度にあたるた め、LINE配信や市内の高等学校等へらしを配布す るなど、新たな手法による周知を実施することで、対 象者が予防接種の機会を逃してしまうことのないよ う、適切な情報を周知することができた。	4	8	接種率の低い予防接種の対象者やHP Vキャッチアップ接種条件付き期間延長 に該当する対象者等への周知方法及 び周知内容を検討し、わかりやすい情 報提供に努める。	—	
				R7	予診票年間 送付回数	12					実施内容: 評価:					
56	子どもから 高齢者まで の予防接種 の実施	健康増進課	事業名: おとな予防接種事業 に係る周知 実施内容: 高齢者インフルエ ンザ、高齢者肺炎球菌等の 予防接種について、ちらしや ホームページ、広報紙等を活 用し、周知を図る。	R5	実施回数	4	9	100	4	無	実施内容: 接種勧奨ハガキの個別送付やちらし、 ホームページ、広報紙、エレベーターホールデジタル サイネージ等を活用し、周知した。 評価: インフルエンザの感染者が高い水準であったた め、今年度は新たにメール配信を活用し、接種期間 延長について周知するなど、対象者が予防接種の機 会を逃してしまうことのないよう、適切な情報を周知す ることができた。	4	8	令和6年度より高齢者肺炎球菌ワクチ ン予防接種の対象者が変更となるた め、周知方法及び周知内容を検討し、 わかりやすい情報提供に努める。	—	
				R6	実施回数	9	9	100	4	無	実施内容: 接種勧奨ハガキの個別送付やちらし、 ホームページ、広報紙、エレベーターホールデジタル サイネージ等を活用し、周知した。 評価: 高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種が 今年度より定期接種に位置づけられたため、自治会 回覧で事業の周知を行うなど、対象者が予防接種の 機会を逃してしまうことのないよう、適切な情報を周知 することができた。また、高齢者帯状疱疹予防接種が 令和7年度より定期接種に位置づけられるため、タウ ンニュースを活用し、事業開始前の周知を行うことが できた。	4	8	令和7年度より高齢者帯状疱疹予防接 種が定期接種に位置づけられ、対象者 が複雑でわかりにくいため、周知内容 を検討し、ハガキの個別送付を行うな ど、わかりやすい情報提供に努める。	—	
				R7	実施回数	9					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
57	健康づくり のための環 境整備	鶴嶺公民館	事業名:卓球開放 実施内容:健康づくりに対する意識の醸成を目的に、毎月第2・第4日曜日に、自由に卓球を楽しめる場を提供する。	R5	実施回数	24	24	100	4	有	実施内容:健康づくりに対する意識の醸成を目的に、毎月第2・第4日曜日に、自由に卓球を楽しめる場を提供した。 評価:小学生から80歳代まで幅広い世代が参加した。参加者に実施したアンケートで、「現在、健康づくりの行動をしていますか。これから健康づくりをしようと思いますか」という設問に対し、80%以上が「している・しようと思う」という回答があり、自身の健康に対する意識の醸成を図ることができた。	4	8	今後も、健康づくりの場を提供する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R6	実施回数	24	24	100	4	有	実施内容:健康づくりに対する意識の醸成を目的に、毎月第2・第4日曜日に、自由に卓球を楽しめる場を提供した。 評価:小学生から80歳代まで幅広い世代が参加した。参加者に実施したアンケートで、「日常生活で健康づくりの行動をしていますか。またはこれから意識して実践しますか。」という設問に対し、80%近くが「している・しようと思う」という回答があり(回答作成時点)、自身の健康に対する意識の醸成を図ることができた。	4	8	今後も、健康づくりの場を提供する事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R7	実施回数	22					実施内容: 評価:					
58	健康づくり のための環 境整備	香川公民館	事業名:卓球開放 実施内容:小学生以上を対象に体力向上と仲間づくり。	R5	実施回数	10	10	100	4	有	実施内容:小学生以上を対象に体力の向上と仲間づくり 評価:卓球を通じ、体力作りや交流を行った。	4	8	開催する月によって参加者にばらつきはあるものの、一定の参加があり、交流の場となっている。参加者が固定化している部分もあり、周知方法の改善が必要と考える。	香川公民館	
				R6	実施回数	10	12	100	4	有	実施内容:小学生以上を対象に体力の向上と仲間づくり 評価:卓球を通じて、小学生と地域住民の交流の場となった。また、体力の向上にもつながった。	4	8	昨年度と同様に参加者が固定化されている部分がある。引き続き周知方法の改善を検討する。	香川公民館	
				R7	実施回数	12					実施内容: 評価:					
59	その他	保健予防課	事業名:ゲートキーパー養成講座 実施内容:自死(自殺)に傾く人に気づき、耳を傾け、つなぎ、見守ることを学ぶ。	R5	講座受講人数	100	160	100	4	有	実施内容:ゲートキーパー講義 評価:目標値を大幅に超えた人数を養成できた。	4	8	市民向けのみならず行政職員、相談支援職を対象とした研修の実施。	保健所	
				R6	講座受講人数	100	116	100	4	有	実施内容:自殺対策の一環としてゲートキーパー養成研修を年6回、対面とオンラインのハイブリット開催で実施した。 評価:市民向けゲートキーパー養成研修は、開催回数を年3回から年5回に増加したことにより、受講者数が増加した。加えて、新採用職員向けゲートキーパー養成研修を行い、目標値を達成することができた。	4	8	受講者が気軽に時間を気にせずに研修を受けられるように、厚生労働省のオンデマンド研修の動画を周知する。また、本市独自のオンデマンドの研修動画を作成する予定。	保健所	
				R7	講座受講人数	100					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
追加1	健康に関するイベントや教室	南湖公民館	事業名:健康講演会 実施内容:地域の方々へ病 気・介護予防の知識普及の ため南湖地区社会福祉協議 会と共催で健康にまつわる 講演会を実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:高齢福祉課保健師、健康増進課管理栄養士、歯科衛生士によるフレイル予防についての講演会 評価:栄養・運動・社会参加の3つの視点から測定なども実施し、自身のからだやこころの健康状態を確認することができた。	4	8	4年ぶりの開催となり、講座の認知度が下がっているため翌年度は早めに周知する。	南湖公民館	R6に新たに提出された事業のため、R5の評価点は反映しません。 【健増】施策1通し番号8の高齢者の保険事業と介護予防の一体的実施に含んでいます。
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:頻尿・尿もれについて泌尿器科医師による講演 評価:夜間頻尿対策や漢方の効果、膀胱訓練等頻尿・尿漏れについて症状や治療等の医学的な視点からさまざまな知識の習得ができた。	4	8	今後も南湖地区社会福祉協議会と協議のうえ、地域のニーズにあった健康講演会を年1回開催していく。講義だけではなく、実践も交えた講座が可能かどうか検討していく。	南湖公民館	
				R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					
追加2	健康に関するイベントや教室	南湖公民館	事業名:シニア体操 実施内容:家庭の事情により外出が出来ない方の運動不足、筋力の低下を防ぐ為、自宅でも出来る筋力アップのトレーニングやストレッチなどを学ぶ。	R5	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容:元氣もりもり体操、ストレッチ & 簡単ダンスで運動不足解消 評価:体操やストレッチを学び、楽しく体を動かし日頃の運動不足解消と共にリフレッシュすることができた。また、自宅で継続的に行うことでフレイル予防を目指すきっかけとすることができた。	4	8	定期的な実施や継続希望の声が多いため、回数を増やして実施する。	南湖公民館	R6に新たに提出された事業のため、R5の評価点は反映しません。
				R6	実施回数	3	3	100	4	有	実施内容:元氣もりもり体操、ストレッチ & 簡単ダンスで運動不足解消 評価:男性の方の参加もあり好評であった。進行が上手な講師で楽しく気持ちよく身体を動かす事が出来た。継続を望む声も多く聞かれた。	4	8	次年度も継続して定期的に実施し、地域のシニアのフレイル予防につなげていく。	南湖公民館	
				R7	実施回数	3					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
追加3	健康に関するイベントや教室	南湖公民館	事業名: バレトン体験会 実施内容: 住民同士の交流 機会のため、また、フレイル 予防、生きがいづくりのため に講座を行う。 バレトンという聞き慣れない 新たなエクササイズを経験 し、その楽しさを知る。	R5							実施内容: 評価:					R5の実施無し
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: フィットネス・ヨガ・バレエを含んだエクササイズを行う。 評価: 初心者でも気軽に運動することができた。	4	8	今年度は体験会とするが、来年度以降は数回の講座開催も検討する。	南湖公民館	
				R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					
追加4	健康に関するイベントや教室	南湖公民館	事業名: はじめてのお灸 ～ お灸で身体を整える～ 実施内容: お灸について理解 を深め、自分自身の体と向き 合い、健康な体作りを目指 す。	R5							実施内容: 評価:					R5の実施無し
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容: 一人ではツボの取り方がわからない方、お灸の効能で身体を整えたいという方へ、お灸について実践を交えて学ぶ講座 評価: ツボの取り方を学び、お灸についての知識を得ることができ、家庭でも継続できる良い学習の機会となった。	4	8	R7実施予定なし	南湖公民館	
				R7	実施なし						実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
追加5	健康に関するイベントや教室	鶴嶺公民館	事業名:40歳からのヨガ教室 実施内容:加齢による運動器機能不全を防ぐためヨガ特有の呼吸等で、筋力の維持、向上につながる運動習慣を学ぶ。	R5	実施回数						実施内容: 評価:					R5の実施無し
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:加齢による運動器機能不全を防ぐためヨガ特有の呼吸等で、筋力の維持、向上につながる運動習慣を学ぶ。 評価:「楽しく学ばせていただいて体も動かし健康になれてうれしく思います。」などの意見をいただき、40歳代から運動習慣を身につける一助となれたと考える。	4	8	今後も、運動習慣を身につける事業として継続して開催する。	鶴嶺公民館	
				R7							実施内容: 評価:					
追加6	健康に関するイベントや教室	高齢福祉課	事業名:頭と体の元気アップ教室 実施内容:地域支援事業の一般介護予防事業普及啓発事業として、虚弱傾向及び認知機能の低下が生じやすい高齢者を対象に、おおむね4か月で柔軟体操や筋力の向上に向けた運動、及び認知機能の低下の予防にかかるプログラムなど、複合的な機能の向上を目指す教室	R5												R5の実施無し
				R6												R6の実施無し
				R7	実施回数	90					実施内容: 評価:					10会場×各9回(1会場全13回の予定)
追加7	健康づくりのための環境整備	こども育成相談課	事業名:妊婦対象栄養相談 実施内容:妊娠届出時に妊娠期の食生活に関するアンケートを実施し、不安や疑問について管理栄養士と個別で相談できる環境を整える。	R5							実施内容: 評価:					R5の実施無し
				R6							実施内容: 評価:					R6の実施無し
				R7	回答率	50					実施内容: 評価:					

【施策2】【二次予防】生活習慣病の早期発見・早期治療と重症化予防対策の推進

- 【行政の主な取組】
- ・健康診断等の実施
 - ・かかりつけ医の推進
 - ・健康づくりの体制整備

指標の達成状況に対する評価	3.5 / 4	取組内容に対する評価	3.7 / 4	7.2 / 8
---------------	---------	------------	---------	---------

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
60	健康診断等の 実施	保険年金課	事業名：特定健康診査・特定 保健指導 実施内容：国民健康保険加入 者を対象に生活習慣病や 重症化予防を目的として、特 定健康診査・特定保健指導 を行う。	R5	特定健康診 査実施率	36	32.5	90	4	無	実施内容：通知や電話による受診勧奨等を強化した(前期はがきの送付 件数を前年度1万1379件から3万3493件、電話勧奨の件数を前年度 312件から約7500件に拡大した)。 評価：特定健診実施率(令和6年1月暫定値)が昨年度の同時点より向 上したため、受診勧奨強化の効果があつた。	4	8	引き続き通知や電話による受診勧奨 等を行っていく。特に受診率の低い40 歳代に対して、健診の必要性をわかり やすく伝える取組を進める。また、実 施医療機関からの受診勧奨を強化す る。	実施医療機関	・令和5年度の実績値 32.5%は令和6年1月暫定 値(※確定するのは、翌 年度の11月) ・令和4年度特定健康診 査実施率30.6%(令和5年1 月暫定値)
				R6	特定健康診 査実施率	38	33.5	88	3	有	実施内容：通知および電話による受診勧奨を実施。2月追加健診は対象 者に送付した受診勧奨はがきがそのまま受診券として使用できるよう にして受診希望者の利便性を図った。 評価：令和5年度特定健診実施率(令和6年1月速報値)より1%高い状況 であつた。	4	7	受診勧奨はがき作成については、レセ プトデータ分析も取り入れて対象者の 状況に応じた受診勧奨を実施予定。 引き続き、医師会・実施医療機関と受 診率向上に向け連携協力を依頼す る。	実施医療機関	令和6年度実績値 33.5%は令和7年1 月現在の速報値(確 定は令和7年11月)
				R7	特定健診実 施率	39					実施内容： 評価：					
61	健康診断等の 実施	保育課	事業名：健康診査等の実施 実施内容：児童福祉施設の 設備及び運営に関する基準 に基づき、年2回の全園児へ の健康診断と、新入園児へ の健康診断を実施する。	R5	受診率	100	100	100	4	無	実施内容：春と秋に年2回の児童健康診断を実施した。健康診査の日が 休みの児童は保育園が直接連れて行った。 評価：定期的な健康診断を実施することで喘息など早期に発見できる病 気があつた。保育園によって、嘱託医への質問を保護者から直接もら い、嘱託医から回答を貰うなどして日々の中での困りごとなどについて相 談に乗ってもらう機会を設けた。	4	8	健康診断の日に休んだ児童を別日に 病院まで連れていく人員、時間の捻 出を今後も行っていく。	保育所、幼稚園	
				R6	受診率	100	100	100	4	無	実施内容：春と秋に年2回の児童健康診断を実施した。健康診査の日が 休みの児童は保育園が直接連れて行った。 評価：定期的な健康診断を実施し、共有することで病院の受診などにつ ながつた。保育園によって嘱託医への質問を保護者から直接もら い、嘱託医から回答を貰うなどして日々の中での困りごとなどについて相 談に乗ってもらう機会を設けた。	4	8	健康診断の日に休んだ児童を別日に 病院まで連れていく人員や時間の捻 出を今後も行っていく。	保育所、幼稚園	
				R7	実施施設数	100					実施内容： 評価：					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
62	健康診断等 の実施	保健予防課	事業名：特定感染症検査・相談事業 実施内容：エイズ及び性感染症対策として、HIV即日検査及びウイルス性肝炎検査を行う。	R5	検査件数	24	42	100	4	無	実施内容：月に一回保健所内で、HIV即日検査とウイルス性肝炎検査を実施した。12月には、世界エイズデーに合わせて、市役所内において、パネル展示を実施した。 評価：月により、HIVの検査件数は異なるが、ほぼ毎月受検者もいて、目標値は達成出来た。しかし、ウイルス性肝炎検査においては、検査数が少なかった。	4	8	ウイルス性肝炎に関しては、検査件数が少ないため、今後はLINE配信等を実施し、さらなる普及啓発を図る。	保健所	
				R6	検査件数	48	107	100	4	無	実施内容：月に一回保健所内で、HIV・梅毒即日検査とウイルス性肝炎検査を実施した。12月には、世界エイズデーに合わせて、市役所内において、パネル展示を実施した。 評価：受付時間の見直し、電子申請を開始したことによりHIV・梅毒・ウイルス性肝炎の受検者数が増加し、目標値を達成出来た。	4	8	検査数を月2回に変更する。受検者が気軽に受検できるようにSNS等により普及啓発を行っていく。	保健所	
				R7	検査件数	160					実施内容： 評価：					
63	健康診断等 の実施	保健予防課	事業名：風しん抗体検査事業 実施内容：妊婦周り等の対象者及び特定年齢の男性等に対して無料の風しん抗体検査を実施するにあたり、広報紙等で普及啓発を行う。	R5	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容：妊婦周り等の対象者に対して医療機関で無料で風しん抗体検査を実施した。また、特定年齢の男性に対して医療機関で風しん抗体検査を実施した。広報紙掲載、委託による検査受診券の適切な発送により普及啓発を行った。 評価：風しんの感染予防やまん延防止を図ることができたと考える。	4	8	新たな周知啓発手法の検討。	実施医療機関	
				R6	実施回数	1	1	100	4	無	実施内容：妊婦周り等の対象者に対して医療機関で無料で風しん抗体検査を実施した。また、特定年齢の男性に対して医療機関で風しん抗体検査を実施した。ホームページやSNS、広報紙等への掲載、委託による検査受診券はがきの適切な発送により普及啓発を行った。 評価：風しんの感染予防やまん延防止を図ることができたと考える。	4	8	特定年齢の男性等に対して行う無料の風しん抗体検査の終了に伴い、令和7年度は妊婦周り等の対象者に対する医療機関での無料の風しん抗体検査のみ実施。	実施医療機関	
				R7	実施回数	1					実施内容： 評価：					
64	健康診断等 の実施	健康増進課	事業名：高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（ハイリスクアプローチ） 実施内容：75歳以上で健診結果により糖尿病（糖尿病性腎症）が疑われる方とレセプトにより糖尿病の治療中断が疑われる方へ、重症化予防、疾病の早期発見のため、個別に文書通知や健康相談を実施する。	R5	健康相談実施率	75	46	61	2	有	実施内容：KDBシステムを活用して対象者を抽出し、通知または電話での受診勧奨を実施。 評価：委託契約の仕様上架電回数が2回に留まり、電話が繋がらなかったことで健康相談実施率が低くなった。	4	6	アンケートの返信率の低さが実施率の減少につながっている。まずは返信率向上のためナッジ理論等を活用した通知内容を検討する。	—	実施率算出方法 対象者BDEのうち電話が繋がった者÷対象者BDEのうちアンケートの返信があった者
				R6	健康相談実施率	75	82	100	4	有	実施内容：KDBシステムを活用して対象者を抽出し、通知または電話での受診勧奨を実施。通知文について、検査数値を放置することで重症化・合併症を招く危険性を伝えるとともに、ナッジ理論等を活用した通知を行った。 評価：通知内容を工夫することで、アンケートの返信率が向上した。また、架電回数の仕様を変更したことで、架電率が向上した。	4	8	アンケートの返信率をより向上させるための工夫。 保健指導の実施が対象者の健康づくりにつなげられるような、保健指導の内容・体制の検討。	—	実施率算出方法 対象者BDEのうち電話が繋がった者÷対象者BDEのうちアンケートの返信があった者
				R7	健康相談実施率	75					実施内容： 評価：					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
65	健康診断等の 実施	健康増進課	事業名：健康診査事業 実施内容：心身の健康状態を 自覚し、健康の保持増進を 図るため、後期高齢者医療 保険加入者及び40歳以上の 生活保護受給者を対象者とし、 9月から11月まで健康診 査を実施する。	R5	受診率	43	40	93	4	無	実施内容：対象者全員に受診券・案内チラシ発送し、受診勧奨。医師会 委託により9月～11月に健診を実施した。受診にかかる自己負担は無 料。 評価：新型コロナウイルス感染症が収束してきたため、受診控えの反動 があるのではと思われたが、目標値には到達しなかった。	4	8	周知方法を見直す。 (ポスター、ホームページ等)	実施医療機関	
				R6	受診率	41	40	98	4	無	実施内容：対象者全員に受診券及び案内チラシを発送し受診勧奨。医師 会委託により9月～11月に健診を実施した。受診にかかる自己負担額 は無料。 評価：新型コロナウイルス感染症の収束により、前年比受診率は過去5 年間で一番増加したが、人口構成比上で厚みのある層の75歳到達によ り対象者も増加し、受診率が目標値に達しなかった。	4	8	前年に引き続き広報媒体を利用し受 診を促す取組を実施したが、受診率は 微増にとどまった。対象年齢に効果的 な広報媒体について検討していき たい。	実施医療機関	
				R7	受診率	41					実施内容： 評価：					
66	健康診断等の 実施	健康増進課	事業名：肝炎ウイルス検診事 業 実施内容：肝炎による健康被 害を回避し、または症状を軽 減し、進行を遅延させること を目的とし、40歳以上を対象 に肝炎ウイルス検診を実施 した。	R5	受診率 (40歳クー ポン受診率)	6	5	83	3	無	実施内容：対象者全員に受診券・案内チラシ発送し、受診勧奨。医師会 委託により4月～翌年2月に検診を実施した。受診にかかる自己負担は 無料。 評価：令和2年度に受診率が上がり、その後も同水準の受診率を見込ん だが、目標値には到達しなかった。	3	6	周知方法を見直す。 (ポスター、ホームページ等)	実施医療機関	
				R6	受診率 (40歳クー ポン受診率)	5	3	60	2	無	実施内容：対象者全員に受診券・案内チラシ発送し、受診勧奨。医師会 委託により4月～翌年2月に検診を実施した。受診にかかる自己負担は 無料。 評価：昨年度に引き続き同水準の受診率を見込んだが、目標値には到 達しなかった。	3	5	ポスターや市のホームページ等の周 知方法を見直す。	実施医療機関	
				R7	受診率(40 歳クーポン 受診率)	4					実施内容： 評価：					
67	健康診断等の 実施	健康増進課	事業名：がん検診事業 実施内容：がんの早期発見・ 早期治療につながることを目 的として、さらなる受診率向 上を目指して積極的な広報 活動を行い、胃・大腸・肺・ 乳・子宮のがん検診を実施 する。	R5	乳がん検診 受診率	9.6	9.5	99	4	無	実施内容：がんの早期発見・早期治療につながることを目的として、さら なる受診率向上を目指して積極的な受診勧奨を行い、乳がん検診を実 施する。 評価：対象者に受診券を個別通知し、受診勧奨を行った。また、受診券 再発行や集団検診の申込方法に電子申請を導入し利便性を高めた。ロ ビーサイネージ、ふれあいプラザ、ライン配信等で普及啓発を行った。	3	7	引き続き検診対象者への個別受診勧 奨を行うとともに、受診券の再発行 等、集団検診申込を電子申請を用い て利便性を確保する。また、ピンクリ ボン運動としてライトアップやライン配 信等を活用しがん検診の周知・受診率 向上に努める。	実施医療機関	
				R6	乳がん検診 受診率	9.6	9.57	100	4	無	実施内容：がんの早期発見・早期治療につながることを目的として、さら なる受診率向上を目指して積極的な受診勧奨を行い、乳がん検診を実 施する。 評価：対象者に受診券を個別通知し、受診勧奨を行った。また、受診券 再発行や集団検診の申込方法に電子申請を導入し利便性を高めた。ピ ンクリボン運動としてのライトアップ、ロビーサイネージ、ふれあいプラザ、 ライン配信等で普及啓発を行った。	4	8	引き続き検診対象者への個別受診勧 奨を行うとともに、受診券の再発行 等、集団検診申込を電子申請を用い て利便性を確保する。また、ピンクリ ボン運動としてライトアップやライン配 信等を活用し、がん検診の周知・受診率 向上に努める。	実施医療機関、保健所	
				R7	乳がん検診 受診率	9.7					実施内容： 評価：					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実施 者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
68	その他	香川公民館	事業名：現役世代のがん防 災 実施内容：がんを告知された ときに慌てないためにも事前 にがんに関する情報について 学ぶ。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容：がんを告知されたときに慌てないためにも事前になんかに関する情報について学ぶ。 評価：誰もがなる可能性のある病気に対しての事前の心構え、準備など、講師の実体験なども含めた講座で参加者の学びの機会となった。	4	8	対面とZOOMでの講座となり、通信環境が不安定だったため、ZOOMの設定に時間がかかった。	香川公民館	
				R6	実施回数	1	0	0	1	無	実施内容： 評価：	1	2	中止		中止（新規事業実施による予算不足のため）
				R7	予算不足のため実施予定なし	0					実施内容： 評価：					
追加1	かかりつけ医の推進	地域保健課	事業名：かかりつけ医の推進 実施内容：かかりつけ医の必要性や探し方を周知することで、病気の早期発見、早期治療、重症化予防をはかる。	R5	実施回数	4	5	100	4	無	実施内容：ホームページ、広報ちがさき、タウンニュース、本庁舎ロビーデジタルサイネージ、国保リーフレットにかかりつけ医の記事等を記載し普及啓発を実施した。 評価：様々な方法によりかかりつけ医の普及啓発を行うことができた。広報の記事を読んだ市民からの相談があった。	4	8	幅広い世代が情報を得られるよう普及啓発の方法を検討する必要がある。	市役所等	
				R6	実施回数	4	4	100	4	無	実施内容：ホームページ、広報ちがさき、本庁舎ロビーデジタルサイネージ、国保リーフレットにかかりつけ医の記事等を記載し普及啓発を実施した。 評価：昨年度に引き続き、かかりつけ医の普及啓発を行うことが出来た。様々な媒体で周知することにより少しでも多くの市民の目に触れることができた。	4	8	引き続き、幅広い世代が情報を得られるように普及啓発の方法を検討する必要がある。	市役所等	
				R7	実施回数	4					実施内容： 評価：					
追加2	健康診断等の実施	こども育成相談課	事業名：妊産婦健康診査 実施内容：妊産婦健康診査の費用を助成し、妊産婦の健康管理の推進を図る。	R5	受診率	90	84	93	4	無	実施内容：妊産婦健康診査費用補助券を交付することで、健診の費用を助成し、妊産婦の健康管理の推進を図った。 評価：産婦健康診査費用の助成を開始し、産褥期の心身の回復状況を確認し、必要時は産後ケア事業等の支援につなげることができた。	4	8	引き続き妊産婦の健康管理の推進に取り組んでいく。	実施医療機関	
				R6	受診率	90	84	91	4	無	実施内容：妊産婦健康診査費用補助券を交付することで、健診の費用を助成し、妊産婦の健康管理の推進を図った。 評価：産婦健康診査費用の助成を開始し、産褥期の心身の回復状況を確認し、必要時は産後ケア事業等の支援につなげることができた。	4	8	引き続き妊産婦の健康管理の推進に取り組んでいく。	実施医療機関	実績内訳 妊婦健康診査 84.6% 産婦健康診査 84.0%
				R7	受診率	82					実施内容： 評価：					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
追加3	健康診断等 の実施	こども育成 相談課	事業名:乳幼児健康診査事 業(4か月児健康診査、10 ～11か月児健康診査、1歳 6か月児健康診査、3歳6か 月児健康診査) 実施内容:乳幼児の身体測 定及び発育・発達の確認等 を行い、必要に応じて保健指 導の実施、精密健診のため の医療機関紹介を行う。	R5	受診率	97	92	95	4	無	実施内容:小児科医師・歯科医師による診察と看護師による乳幼児の身体測定、保健師や心理士による発育・発達の確認等を行い、必要に応じて保健指導の実施、精密健診のための医療機関紹介を行った。 評価:適切な時期に受診していただけるよう勧奨するとともに、乳幼児の身体測定及び発育・発達の確認等で市内の乳幼児の健康状態を確認することが出来た。	4	8	引き続き適切な時期に受診していただけるよう取り組んでいく。	4か月児健康診査、10～11か月児健康診査: 実施医療機関 1歳6か月児健康診査、 3歳6か月児健康診査: 保健所	
				R6	受診率	97	96	99	4	無	実施内容:小児科医師・歯科医師による診察と看護師による乳幼児の身体測定、保健師や心理士による発育・発達の確認等を行い、必要に応じて保健指導の実施、精密健診のための医療機関紹介を行った。 評価:適切な時期に受診していただけるよう勧奨するとともに、乳幼児の身体測定及び発育・発達の確認等で市内の乳幼児の健康状態を確認することが出来た。	4	8	引き続き適切な時期に受診していただけるよう取り組んでいく。	4か月児健康診査、10～11か月児健康診査: 実施医療機関 1歳6か月児健康診査、 3歳7か月児健康診査: 保健所	実績内訳 4か月児健康診査 97.9% 10～11か月児健康診査 96.8% 1歳6か月児健康診査 96.8% 3歳6か月児健康診査 91.2%
				R7	受診率	97					実施内容: 評価:					

【施策1】【一次予防】生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進

【行政の主な取組】

- ・歯と口に関するイベントや教室、学校教育などを通じた普及啓発
- ・歯と口に関する相談体制の充実

指標の達成状況に対する評価	3. 6 /4	取組内容に対する評価	3. 7 /4	7. 4 /8
---------------	---------	------------	---------	---------

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合は その他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
1	歯と口に関するイベント や教室	保険年金課	事業名：歯と口腔の健康づくり事業 実施内容：R5特定健診結果説明会で歯科コーナーを設け、歯科健康づくりの啓発や希望者に歯科保健指導や測定等を実施	R5	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容：健診結果説明会で歯科コーナーを設け、歯科医師及び歯科衛生士が歯科健康づくりに関する啓発や相談、舌圧測定を実施した。 評価：口腔ケアについて考える良い機会となったという参加者からの意見も複数あり、生活習慣病と関連のある歯と口腔の健康づくりについて周知することができた。	4	8	歯科医師会との連携を強化し、歯と口腔の健康づくりについて普及啓発を行っている。	市役所	
				R6	実施回数	2	2	100	4	有	実施内容：健診結果説明会で歯科コーナーを設け、歯科医師及び歯科衛生士による歯の健康づくりに関する啓発や相談、舌圧測定を実施した。 評価：アンケート結果から、歯周病と生活習慣病の関連性について理解している人は少ないため、今後も継続して啓発していく。 舌圧測定では、飲み込む力や噛む力の大切さを知ること、歯の健康づくりの意識づけにつながった。	4	8	歯の健康づくり(歯周病と生活習慣病の関連性)について、継続して周知していく。	地域医療センター	
				R7	実施回数	1					実施内容： 評価：					
2	歯と口に関するイベント や教室	こども育成 相談課	事業名：1歳児の食事と歯の教室 実施内容：1歳児の生活習慣や口腔衛生、食事、遊び等に関する知識の普及を行う。	R5	参加組数	220	146	66	2	有	実施内容：栄養士・歯科衛生士・保健師からの講義による、1歳児の生活習慣や口腔衛生、食事、遊び等に関する知識の普及。 評価：離乳完了期の食事の進め方や口腔ケア、生活リズムに関する知識を普及することができた。	3	5	引き続き、歯と口腔の健康づくりの重要性について普及啓発を実施するとともに、参加人数を増やせるよう工夫する。	地域医療センター	
				R6	参加組数	220	138	63	2	有	実施内容：栄養士・歯科衛生士・保健師からの講義による、1歳児の生活習慣や口腔衛生、食事、遊び等に関する知識の普及。 評価：離乳完了期の食事の進め方や口腔ケア、生活リズムに関する知識を普及することができた。	3	5	令和7年10月より開催回数を月1回から月2回に、1回あたりの定員を12組から16組に変更した。年間の参加可能数は減となるが、開催時間を参加しやすい時間に変更したことで参加率は高まると考えられる。引き続き歯と口腔の健康づくりの重要性について普及啓発を実施する。	地域医療センター	
				R7	参加組数	173					実施内容： 評価：					

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画

【施策1】【一次予防】生涯を通じた歯と口の健康づくりの推進

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
3	歯と口に関 するイベント や教室	健康増進課	事業名:歯と口の健康週間イ ベント「歯っぴいデー」 実施内容:歯科保健に関す る普及啓発のため、講演会 や歯科医師による個別相 談、くち体操、歯磨き指導、 お口チェックなど市民参加の イベントを実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:歯科医師による講演会と個別相談会、8020 体操、歯科衛生士によるブラッシング教室、顕微鏡を 使用した歯周病検査、協定締結企業による健康測定 会 評価:歯科医師会や協定締結企業と協力して、歯科保 健に関する普及啓発を実施できた。	4	8	翌年度は「食育フェスタ」との同時開催 を予定。歯と口の健康づくりと食育とを 連携させた実施体制を検討する。	市役所	
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:歯科医師による講演会と個別相談会、8020 体操、歯科衛生士によるブラッシング教室、顕微鏡を 使用した歯周病検査、協定締結企業による健康測定 会を実施。アンケート結果より、イベントの満足度の高 さや、オールフレイル・食育の認知度を把握するこ とができた。また、「食育フェスタ」との同時開催し、歯と 口の健康づくりと食育とを連携させた実施体制とす ることができた。 評価:歯科医師会や協定締結企業と協力して、歯科保 健に関する普及啓発を実施できた。さらに、歯と口の 健康づくりと食育とを連携させた普及啓発とすることが できた。	4	8	市民の関心や課題に応じた実施内容 の検討。 より効果的な歯と口の健康づくりと食 育とを連携させた普及啓発方法の検 討。	市役所	
				R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					
4	歯と口に関 するイベント や教室	鶴嶺公民館	事業名:親子歯みがき教室 実施内容:子どもが歯みがきの 習慣を身に着けることがで きる講座を実施する。(花王 グループカスタマーマーケ ティング(株)協力)	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:3～6歳の子とその保護者と対象に、正しい 歯みがきの仕方を学ぶ講座を実施した。 評価:「子どもが楽しそうに歌をうたいながら歯みがきの 練習をしていて良かったです。」などの意見をいた だき、子どもが楽しく歯みがきの習慣を身に着ける機会 を作ることができた。	4	8	近隣小学校の運動会の雨天延期日と 重なり、当日キャンセルが多かった。近 隣小中学校の行事に配慮する。	鶴嶺公民館	
				R6	実施なし						実施内容: 評価:					削除(令和6年度事 業に選定されな かったため)
				R7	選定され なかったため 実施なし	0					実施内容: 評価:					
5	歯と口に関 するイベント や教室	鶴嶺公民館	事業名:口腔ケア講座 実施内容:シニアを対象に、 正しい口腔ケアを学ぶ講座。 (花王グループカスタマー マーケティング(株)協力)	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:歯周病・歯が抜ける原因とメカニズムや歯 と歯ぐき・舌のケアを学び、各自持参した歯ブラシで、 正しい歯磨きの仕方を学ぶ講座を実施した。 評価:「必要とは思っていたが、毎日の手入れが不足 していたと思った。今日から学んだ事を実践していきた い。」などの意見をいただき、歯と口の健康づくりの普 及啓発を図る機会を作ることができた。	4	8	「シニアのための口腔ケア講座」という 講座名で実施したが、高齢者には、「シ ニア」という表記に抵抗があるようだっ たので、シニアを対象とした事業に、 「シニア」という表記は使用しない。	鶴嶺公民館	公民館5館による 連携講座の他、鶴 嶺公民館単独で 行っている事業。令 和6年度以降の実 施は未定。
				R6	実施なし						実施内容: 評価:					削除(令和6年度事 業に選定されな かったため)
				R7	選定され なかったため 実施なし	0					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意見 を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
6	歯と口に関するイベント や教室	松林公民館	事業名:シニアの口腔ケア 実施内容:シニアのための正しい口腔ケアを学ぶ講座。 (花王と公民館5館による連携講座)	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:正しい歯磨きの仕方や、舌体操等の口腔ケアを学ぶ。 評価:歯磨き粉の使い方や、磨き方の方法等が学べ評価が高かった。	4	8	関心の高い参加者が多かったため、時間が足りなかった。	松林公民館	
				R6	実施なし						実施内容: 評価:					
				R7	選定されなかったため 実施なし	0					実施内容: 評価:					
7	歯と口に関する普及啓 発(学校教育などを含む)	高齢福祉課	事業名:フレイル予防教室 実施内容:早期に虚弱の兆候に気づき、予防するため、簡易的なチェックを実施する。	R5	実施回数	10	10	100	4	無	実施内容:フレイルサポーターによるイレブンチェックと深掘りチェック、フレイルについての説明、介護予防体操を実施し、その中でオーラルフレイルに関するチェックを行う。 評価:コロナ禍明けで、今年度から深掘りチェックまですべてのフレイルチェックを実施し、参加者へのオーラルフレイルを含めたフレイル予防への啓発ができた。しかしフレイルチェックの結果から他の事業等へつなげる取組ができなかったことが課題。	3	7	参加者数が少ないことが課題であり、周知方法や関係する事業との連携を図っていく。またフレイルチェックの結果から他への事業や包括などの地域資源などにつなげる取組を強化していく必要がある。	公民館やコミュニティセンター等の公共施設	
				R6	実施回数	10	10	100	4	無	実施内容:フレイルサポーターによるイレブンチェックと深掘りチェック、フレイルについての説明、介護予防体操を実施し、その中でオーラルフレイルに関するチェックを行う。 評価:昨年度と同じ事業内容だが、周知方法を健康増進課と連携した結果、参加者が大幅に増加した。また7割近くが新規参加者のため多くの市民にオーラルフレイルを含めたフレイル予防への啓発ができた。またフレイルハイレスク者への電話かけを行い、必要に応じて介護予防事業や包括支援センターなどの相談先などにつなげた。	4	8			
				R7	実施回数	13					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
8	歯と口に関 する普及啓 発(学校教育 などを含む)	高齢福祉課	事業名:介護予防講演会(歯 科講演会) 実施内容:茅ヶ崎歯科医師 会に委託し、歯科医師による 講演や口腔機能に関する簡 易チェックなどを実施する。	R5	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:歯科医師会に委託し、歯科医師による講演 会を実施。今回のテーマはオーラルフレイルをテーマ とし、パタカテスト(オーラルディアドコネシス)や舌圧 テストなどを実施した。 評価:アンケート結果から参加者の満足度が高く、 オーラルフレイルへの認識及び進行予防へのきっか けづくりにつながった。	4	8	測定など体験しながら、受講できる講 演会は人気があり、満足度が高い。次 年度も測定など体験できる内容を踏ま え、歯科医師と相談しながら、内容を 検討して進めていく。	地域医療センター	
				R6	実施回数	1	1	100	4	有	実施内容:歯科医師会に委託し、歯科医師による講演 会を実施。今回は心の健康と歯の健康の関連をテー マとして講演を行った。パタカテスト(オーラルディアド コネシス)や舌圧テストなど、計測も実施した。 評価:心と歯の健康ということで、珍しい切り口だった こともあり、また聞きたいと声をかけてくださる方もい た。毎年楽しみにしているという参加者もあり、引き続 きよいテーマ選択をしていきたい。	4	8	参加者の満足度が高い割に、参加申 し込みが伸び悩む印象がある。計測等 ができることは参加者にとっては参加 意欲につながるもので、広報周知の方法 を検討していきたい。	地域医療センター	
				R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					
9	歯と口に関 する普及啓 発(学校教育 などを含む)	高齢福祉課	事業名:介護予防講演会(転 倒予防教室) 実施内容:茅ヶ崎歯科医師 会に委託し、転倒予防教室 において歯科医師等による 講話を実施する。	R5	実施回数	6	6	100	4	無	実施内容:歯科医師会への委託にて、転倒予防教室 19会場のうち5会場で開催された歯科講演(15分程 度)を行った。受講者には、歯科医師会が用意し た配布資料(冊子)を元に説明を実施した。 評価:転倒予防教室には常連の参加者があり、歯科 講演会の聴講者のうち半分近くが他の会場でも受講し ていた。講師は、各会場で別々の歯科医師が担当し、 配布資料に沿って説明することで、不変的に分かりや すく実施をすることができた。	3	7	転倒予防教室において、常連の参加 者ではなく、新規の参加者に話すこ とで多くの人へ知ってもらうための対策 が必要。次年度は同じ地区にならない よう、なるべく地区がばらけるよう、委 託先と調整していく。	公民館やコミュニティーセン ター等の公共施設及び事 業者会場1か所	
				R6	実施回数	6	6	100	4	無	実施内容:歯科医師会へ委託にて、転倒予防教室20 会場のうち6会場で開催された歯科講演(15分程 度)を行った。 受講者には、歯科医師会が用意した配布資料(冊子) を元に説明を実施した。 評価:転倒予防教室には常連の参加者があり、歯科 講演会の聴講者のうち半分近くが他の会場でも受講し ていた。講師は、各会場で別々の歯科医師が担当し、 配布資料に沿って説明することで、不変的に分かりや すく実施をすることができた。	3	7	歯科医師の休診日と事業の日程の関 係で、例年と同じ会場での開催となっ たため、昨年度の課題解決には至らな かった。 事業の見直しをし、次年度は【歯科】施 策1通し番号追加2の”支援者向け介 護予防講演会”として、介護予防ボラン ティアに対してオーラルフレイルの教育 を行い、ボランティア活動から市民へ オーラルフレイルの普及を進めていく。	公民館やコミュニティーセン ター等の公共施設及び事 業者会場1か所	
				R7	事業の見直 しのため実 施なし	0					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
10	歯と口に関 する普及啓 発(学校教育 などを含む)	保育課	事業名:口腔衛生について の基礎づくり 実施内容:保育の中で食後の うがいや歯磨き等に関する 基礎を学ぶ場を設ける。	R5	実施施設数	79	73	92	4	無	実施内容:食事後のうがい又は歯磨きの習慣化を行っ た。歯磨き時の園児へ個別での声掛けや歯ブラシをく わえたまま歩かないよう指導した。 評価:食後の歯ブラシの習慣がついている。	3	7	コロナ禍で一度中止した歯磨きと復活 できていない保育園が複数あったた め、復活できる保育士の体制をとる。	保育所、幼稚園	
				R6	実施施設数	79	76	96	4	無	実施内容:食事後のうがい又は歯磨きの習慣化を行っ た。虫歯予防デー(6月4日)を設け歯垢チェック液を使 用して歯磨きの大切さを伝えた。 絵本「はみがきあそび」を読み聞かせた。 評価:コロナが明けたことで去年よりも実施園が増え たと考える。食後の歯ブラシの習慣がついている。子 どもにわかりやすい伝える工夫をしていることでより学 べている。	3	7	指導内容に各園で温度差があるため、 最低限抑えるポイントは今後共有して いきたい。	保育所、幼稚園	
				R7	実施施設数	79					実施内容: 評価:					
11	歯と口に関 する普及啓 発(学校教育 などを含む)	地域保健課	事業名:8020運動推進員育 成事業 実施内容:8020運動やオー ラルフレイル予防対策を普及 推進する歯及び口腔の健康 づくりのボランティアの養成、 育成を行う。	R5	実施回数	2	3	100	4	有	実施内容:コロナ禍で、書面研修となっていたが3年振 りに対面による養成、育成の研修会を開催した。研修 内容は口腔の機能、健口体操の意義、8020運動推進 員の役割、災害に向けて唾液の重要性等について講 義、実習を行った。また、8020運動推進員の活動支援 及び、健口体操の普及を図るため、ミニディサロンで の健口体操のモデル事業を7か所実施した。 評価:コロナ禍で書面研修となった育成研修(2回開 催)対象者のうち、76.9%の推進員が対面受講し た。3回の養成・育成研修内容の理解度の平均は 98.8%、活用可能度の平均は100%だった。また、モデ ル事業にて6か所のミニディサロンが自主的に実施可 能となった。	4	8	ミニディサロンのモデル事業の実施の 中で、新たな8020運動推進員の養成、コ ロナ禍で活動休止となっていた推進員 の掘り起こしを行ない、推進員の拡充 を図り、オーラルフレイル対策(健口体 操の推進)に務める。	保健所、地域医療セン ター	
				R6	実施回数	3	2	67	2	有	実施内容:昨年に引き続き、対面形式の研修会を開催 し新人及び現8020運動推進員の養成と活動支援を 行った。健口体操普及モデル事業で介入したミニディ サロンへ事業評価のアンケートを実施した 評価:新人8020運動推進員(4名)の養成。サロンで 健口体操を継続実施した参加者の変化についてアン ケートでは、積極性の向上66.7%、普段の表情が豊 かになった83.3%、口腔ケアを含めた口腔への意識 の向上66.7%と概ね高結果が得られた。	4	6	新人及び現8020運動推進員の養成 及び活動支援。 「ミニディサロン等での健口体操普及 モデル事業」について庁内関係課と情 報共有等の連携。社協と連携した新規 実施ミニディサロンの拡大。	保健所、地域医療セン ター、市内のミニディサロ ン等	
				R7	実施回数	2					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
12	歯と口に関する普及啓発(学校教育などを含む)	地域保健課	事業名:在宅歯科衛生士活動支援事業 実施内容:歯科保健事業従事者等に対する研修を行い、資質の向上、地域における歯科保健指導内容の充実及び標準化を図る。	R5	実施回数	4	4	100	4	有	実施内容:地域の歯科保健の状況や課題についての研修(講義)を行った。また、市の事業や地域からの健康教育等の依頼について会員間で情報共有し、知識の向上や活動の支援を行った。 評価:市の事業や地域で活動できる歯科衛生士が増えた。	4	8	引続き、地域における歯科保健の現状を共有し、歯科保健指導内容の充実及び標準化を図る。	保健所	
				R6	実施回数	4	4	100	4	有	実施内容:市や歯科医師会等の事業に従事した会員の活動内容についての情報交換や地域の歯科保健の現状や課題について共有する連絡会や研修会を通じ活動支援を行った。 評価:新規会員の加入。市等から継続した従事依頼がある。	4	8	地域における歯科保健の現状を共有し、歯科保健指導内容の充実及び標準化を図る。	保健所	
				R7	実施回数	4					実施内容: 評価:					
13	歯と口に関する普及啓発(学校教育などを含む)	健康増進課	事業名:歯と口の健康週間の啓発 実施内容:広報紙やサイネージ、展示、ラジオでの歯周病や歯間部清掃用具などに関する普及啓発を実施する。	R5	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:歯と口の健康週間に合わせた展示(6/1～6/15)を実施。さらに、歯科医師会監修のもと、FMラジオにて「定期的な歯科健診」の必要性の普及啓発を11/1に実施。 評価:歯と口の健康週間に合わせた普及啓発に加え、歯科医師会と協力して普及啓発を実施できた。	4	8	市民の関心等に応じて、普及啓発の内容を検討する必要がある。	市役所	
				R6	実施回数	2	2	100	4	無	実施内容:歯と口の健康週間に合わせた展示(6/6～6/14)を実施。さらに、歯科医師会監修のコメントを、ホームページにて掲載し「歯周病と全身の健康」の関連性の普及啓発を実施。 評価:歯と口の健康週間に合わせた普及啓発に加え、歯科医師会と協力して普及啓発を実施できた。	4	8	市民の関心・課題に応じて、普及啓発の内容を検討する必要がある。	市役所	
				R7	実施回数	2					実施内容: 評価:					
追加1	歯と口に関する普及啓発(学校教育などを含む)	高齢福祉課	事業名:歌体操教室 実施内容:主に介護予防とした、歌体操ボランティアによる体操教室で、曲を歌いながら全身運動及びお口の体操を行う。	R5	実施会場数	21	22	100	4	無	実施内容:歌体操ボランティアによる歌体操「ねぼし」を身近な会場で実施し、その中でお口の体操を実施した。 新規会場として、ハマミナ(4月)茅ヶ崎地区コミセン(9月)、身体障害者福祉協会(農協ビル)(9月)で実施した。 評価:全会場でお口の体操を実施することができ、お口への健康意識を高めることができた。	4	8	キャンセル待ちの会場も多くなっており、新設会場の増設のためボランティアの養成を実施する予定。ニーズの高い地区から会場を開設していく。	自治会館など身近な会場	
				R6	実施会場数	23	24	100	4	無	実施内容:歌体操ボランティアによる歌体操「ねぼし」を身近な会場(自治会館など)で実施する。 新規会場として、室田自治会館(9月)で実施した。 評価:継続して参加している方が多く、介護予防につながっていると考え。またボランティアの健康増進にもつながっている。	4	8	ボランティアが不足している会場や、参加者が満員でキャンセル待ちとなっている会場、未開設地区もある。既存会場のボランティアを増やすことや、新規会場開設のため、ボランティアの養成を実施していく必要がある。	自治会館など身近な会場	
				R7	実施会場数	25					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選択 (該当ない場合 はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成果が あったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
追加2	歯と口に関する普及啓発(学校教育などを含む)	高齢福祉課	事業名: 支援者向け介護予防講演会(歯科講演会) 実施内容: 主に介護予防とした、ボランティアに対するオーラルフレイルの普及を目的とした研修会や講演会を行う。	R5												R5の実施無し
				R6												R6の実施無し
				R7	実施回数	1					実施内容: 評価:					
追加3	歯と口に関する普及啓発(学校教育などを含む)	高齢福祉課	事業名: 頭と体の元気アップ教室 実施内容: 地域支援事業の一般介護予防事業普及啓発事業として、虚弱傾向及び認知機能の低下が生じやすい高齢者を対象に、おおむね4か月で柔軟体操や筋力の向上に向けた運動、及び認知機能の低下の予防にかかるプログラムなど、複合的な機能の向上を目指す教室	R5												R5の実施無し
				R6												R6の実施無し
				R7	実施回数	20					実施内容: 評価:					10会場×各2回(1会場全13回の予定)

【施策2】【二次予防】歯科口腔保健対策の推進

【行政の主な取組】

- ・歯科健康診査等の実施
- ・かかりつけ歯科医の推進
- ・歯科保健の体制整備

指標の達成状況に対する評価	3. 8 / 4	取組内容に対する評価	3. 9 / 4	7. 6 / 8
---------------	----------	------------	----------	----------

通し 番号	取組 ※リストから選 択(該当ない場 合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成 果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
14	歯科健康診 査等の実施	こども育成 相談課	事業名: 幼児歯科健康診査 事業(1歳6か月児歯科健康 診査、3歳6か月児歯科健康 診査) 実施内容: 幼児期における 口腔内の状況を確認し、う蝕 の早期発見と予防等に関す る指導を行う。	R5	受診率(%)	97	95	98	4	無	実施内容: 幼児期における口腔内の状況を確認し、う蝕の早期発見と予防等に関する指導を行った。 評価: 幼児期における口腔内の状況を確認し、母親を中心とした養育者が育児の一環として歯科保健の保持増進に継続的に努めることができるよう支援した。	4	8	引き続き乳幼児の歯科保健の保持増進に継続的に努めることができるよう取り組んでいく。	保健所	
				R6	受診率(%)	97	94	97	4	無	実施内容: 幼児期における口腔内の状況を確認し、う蝕の早期発見と予防等に関する指導を行った。 評価: 幼児期における口腔内の状況を確認し、母親を中心とした養育者が育児の一環として歯科保健の保持増進に継続的に努めることができるよう支援した。	4	8	引き続き乳幼児の歯科保健の保持増進を継続的にやっていく。	保健所	
				R7	受診率	97					実施内容: 評価:					
15	歯科健康診 査等の実施	こども育成 相談課	事業名: 妊婦歯科(歯周病) 健康診査 実施内容: 妊娠期における 口腔内の状況を確認し、う蝕 の早期発見と予防等に関す る指導を行う。	R5	受診率(%)	35	9	26	1	無	実施内容: 早流産や低出生体重児の原因の一つに歯周病が挙げられていることから、歯周病の予防・早期発見を行い、適切な治療に結びつけることで、妊娠・出産が安心してできるように支援する。 評価: 歯周病の予防・早期発見を行い、適切な治療に結びつけることで、妊娠・出産が安心してできるように支援した。	3	4	引き続き受診率を延ばせるよう周知等取り組んでいく。	実施医療機関	実績値は令和5年度7月(事業開始月)～3月実施分まで。(133件)
				R6	受診率(%)	35	28	80	3	無	実施内容: 早流産や低出生体重児の原因の一つに歯周病が挙げられていることから、歯周病の予防・早期発見を行い、適切な治療に結びつけることで、妊娠・出産が安心してできるように支援する。 評価: 妊娠届出時に専門職から検査を行うよう、周知した。歯周病の予防・早期発見を行い、適切な治療に結びつけることで、妊娠・出産が安心してできるように支援した。	4	7	受診率が高まり、必要な方が適切な治療に結びつけるよう、妊娠届出時や事業等で引き続き周知を行っていく。	実施医療機関	
				R7	受診率	35					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選 択(該当しない場 合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成 果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
16	歯科健康診 査等の実施	保育課	事業名：嘱託歯科医による 定期的な歯科検診の実施 実施内容：児童福祉施設の 設備及び運営に関する基準 に基づき、嘱託歯科医の設 置、定期的な歯科検診を行 う。	R5	実施施設	80	80	100	4	無	実施内容：年2回の園医による歯科検診を実施し た。治療が必要と診断された園児については保 護者へ情報共有した。 評価：虫歯等の早期発見ができた。	4	8	受診の勧めをした後、受診・治療に至っ たかの確認が取れていないため、確認 を行っていく。	保育所、幼稚園	
				R6	実施施設	80	80	100	4	無	実施内容：年2回の園医による歯科検診を実施 した。治療が必要と判断された園児については 保護者へ情報共有した。 評価：虫歯等の早期発見ができた。	4	8	受診の勧めをした後、受診・治療に至っ たかの確認が取れていないため、確認 を行っていく。	保育所、幼稚園	
				R7	実施施設数	80					実施内容： 評価：					
17	歯科健康診 査等の実施	地域保健課	事業名：重度う蝕ハイリスク 幼児予防対策事業 実施内容：口腔内診査、歯 科保健指導、フッ化物局所 応用によるう蝕予防処置等 を継続的に行い、必要に応じ て保健師・栄養士等による総 合的な保健指導・育児支援 を行う。	R5	開催回数	48	48	100	4	無	実施内容：各種感染症の感染リスク対策のた め、コロナ禍以降継続して個別の予約体制で 事業を実施。児及び保護者に対し口腔を通じて の育児支援を実施した。また、市町の母子保健 担当課との連携強化のため、年度当初にヒアリ ングを行い、課題の共有を行った。 評価：個別予約により、受診者は待つ時間もな く他の受診者との接触リスクもなく受診可能とな った。	4	8	管内の母子歯科保健状況を把握し引き 続き母子保健担当課との連携強化に 努め、口腔を通じての育児支援を実施 していく。	保健所	
				R6	開催回数	48	48	100	4	無	実施内容：重度う蝕の要因を有する児及び保護 者に対し、口腔を通じて育児支援を実施した。ま た、市町の母子保健担当課との連携強化のため、 10月に母子保健連絡会を開催し課題の共有等 を行った。 評価：母子歯科保健連絡会を開催することで、連 携課の歯科保健推進状況や課題等の共有が 出来た。	4	8	管内の母子歯科保健状況を把握し引き 続き母子保健担当課との連携強化に 努め、口腔を通じての育児支援を実施 していく。	保健所	
				R7	開催回数	48					実施内容： 評価：					

通し 番号	取組 ※リストから選 択(該当ない場 合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成 果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
18	歯科健康診 査等の実施	地域保健課	事業名:障害児者等歯科保健事業 実施内容:口腔内診査、歯科保健指導、フッ化物所 応用による歯予防処置等、 摂食機能発達支援を継続的 に行い、必要に応じて保健 師・栄養士等による総合的な 保健指導・育児支援を行う。	R5	開催回数	10	10	100	4	無	実施内容:疾患を有する児や療育を必要とする 児の継続的な歯予防と共に摂食機能発達への サポートを実施。母子保健担当保健師の依頼 により同行家庭訪問も実施した。疾患を有する児 や療育を必要とする児への支援は(特に摂食機 能発達支援)、保健師、栄養士等の多職種と連 携が重要となるため、当該保健師と連携し摂食 機能発達の研修会を開催。また、摂食機能発達 支援有無のチェックシートの作成も行った。 評価:保健師からの相談・連携の流れが構築さ れつつある。	4	8	引き続き、支援が必要な児と保護者に対 し、母子保健担当課を始めとした多 職種との連携を強化し、総合的な歯科 保健の推進を図る。また、今年度の受 診者の予約状況等から事業実施回数 を見直す。	保健所	
				R6	開催回数	7	7	100	4	無	実施内容:疾患を有する児や療育を必要とする 児の継続的な歯予防と共に摂食機能発達への サポートを実施。特に摂食機能発達支援におい ては、児の保護者や支援者(保健師等)との連携 が重要であるため、「摂食機能発達相談の必要 性チェックシート」を作成し、支援の必要性を認識 するための資料を整備した。 評価:保健師からの相談や連携する機会が増 加。	4	8	引き続き、支援が必要な児と保護者に対 し、母子保健担当課を始めとした他 職種との連携を強化し、総合的な歯科 保健推進を図る。	保健所	
				R7	開催回数	5					実施内容: 評価:					
19	歯科保健の 体制整備	地域保健課	事業名:歯科保健推進会議 実施内容:関係機関、関係 団体と地域の歯科保健の課 題の共有や情報交換を行 い、効果的かつ円滑な歯科 保健の推進を図る。	R5	開催回数	1	1	100	4	有	実施内容:3年ぶりに対面での会議を実施。市町 の歯科保健担当部署の歯科保健事業につい ての情報共有や、摂食機能発達相談事業の連携、 オーラルフレイル対策等について意見交換を 行った。 評価:関係部署との連携した事業の足掛かり となった。	4	8	管内の歯科保健状況について、データ 等を基に課題を診断し、関係部署との 連携を図り、地域の歯科保健の推進に ついて引き続き取り組んでいく。	保健所、地域医療セン ター	
				R6	開催回数	1	1	100	4	有	実施内容:市町の歯科保健担当部署と管内の歯 科保健の現状、摂食機能発達支援相談、オー ラルフレイル対策、災害時の歯科保健等につ いて情報共有と意見交換を実施した。また、薬剤師 会に対しフッ化物洗口普及啓発事業における協 力薬局名簿の更新を依頼し事業の推進を図 った。 評価:関係部署や団体と歯科保健について確認 することで、継続的な連携を図る機会となった。	4	8	管内の歯科保健状況について、データ 等を基に課題を診断し、関係部署との 連携を図り、地域の歯科保健の推進に ついて引き続き取り組んでいく。	保健所、地域医療セン ター	
				R7	開催回数	1					実施内容: 評価:					

通し 番号	取組 ※リストから選 択(該当ない場 合はその他)	担当課	事業名と内容	年度	指標の達成状況に対する評価					実施内容に対する評価			取組 評価点 ①+②	課題及び翌年度へ向けた 改善点	実施場所	備考
					指標	目標値	実績値	指標の 達成状況 (%)	評価点 ①	参加者意見の有 無 ※「有」の場合は意 見を踏まえて評価 を記入 ※「無」の場合は実 施者の評価を記入	各計画の施策を進める取組として成 果があったかを評価 事業の実施過程や実施結果の評価 (工夫・改善した点等を記入)	評価点 ②				
20	歯科健康診 査等の実施	健康増進課	事業名：成人歯科歯周病検 診 実施内容：口腔内の健康を 保つため、歯科健康診査を 実施する。	R5	受診率(%)	1	0.77	77	3	無	実施内容：口腔内の健康を保つため、歯科健康 診査を実施した。 評価：受診を促すため、ライン配信やロビーサイ ネージ、ふれあいプラザでの歯科に関するイベ ント等での画像放映を行った。また、対象者には受 診券を個別送付し、受診勧奨を行った。	3	6	国の指針に合わせ、対象者を大幅に縮 小したため、受診率が前年度よりも低 下してしまった。次年度へ向け、受診勧 奨の方法等検討していきたい。	実施医療機関	
				R6	受診率(%)	1	0.77	77	3	無	実施内容：口腔内の健康を保つため、歯科健康 診査を実施した。歯科医師会委託により6月～1 1月に検診を実施。受診にかかる自己負担額は 500円。 評価：対象者全員に受診券及び案内チラシを発 送し受診勧奨。受診を促すため、LINE配信やエ レベーターサイネージ等で画像放映を行った。	3	6	前年に引き続き広報媒体を利用し受診 を促す取組を実施したが、受診率はほ ぼ横ばいとなった。対象年齢に効果的 な広報媒体について検討していきたい。	実施医療機関	
				R7	受診率	1					実施内容： 評価：					
21	歯科健康診 査等の実施	健康増進課	事業名：口腔がん検診 実施内容：口腔がんや前が ん病変を早期発見することを 目的に実施する。	R5	開催回数	2	2	100	4	無	実施内容：口腔がんや前がん病変を早期発見す ることを目的に実施する。 評価：委託先の茅ヶ崎歯科医師会が口腔がんの 専門医を招聘し、歯科医師会会員医師とチーム を組んで検診を行った。	4	8	申込者数を増加させるため、周知方法 や申込方法を改善させたい。	保健所	
				R6	開催回数	2	2	100	4	無	実施内容：口腔がんや前がん病変を早期発見す ることを目的に実施する。 評価：委託先の茅ヶ崎歯科医師会が口腔がんの 専門医を招聘し、歯科医師会会員医師とチーム を組んで検診を行った。	4	8	申込者数を更に増加させるため、周知 方法や申込方法を改善させたい。	保健所	
				R7	開催回数	2					実施内容： 評価：					